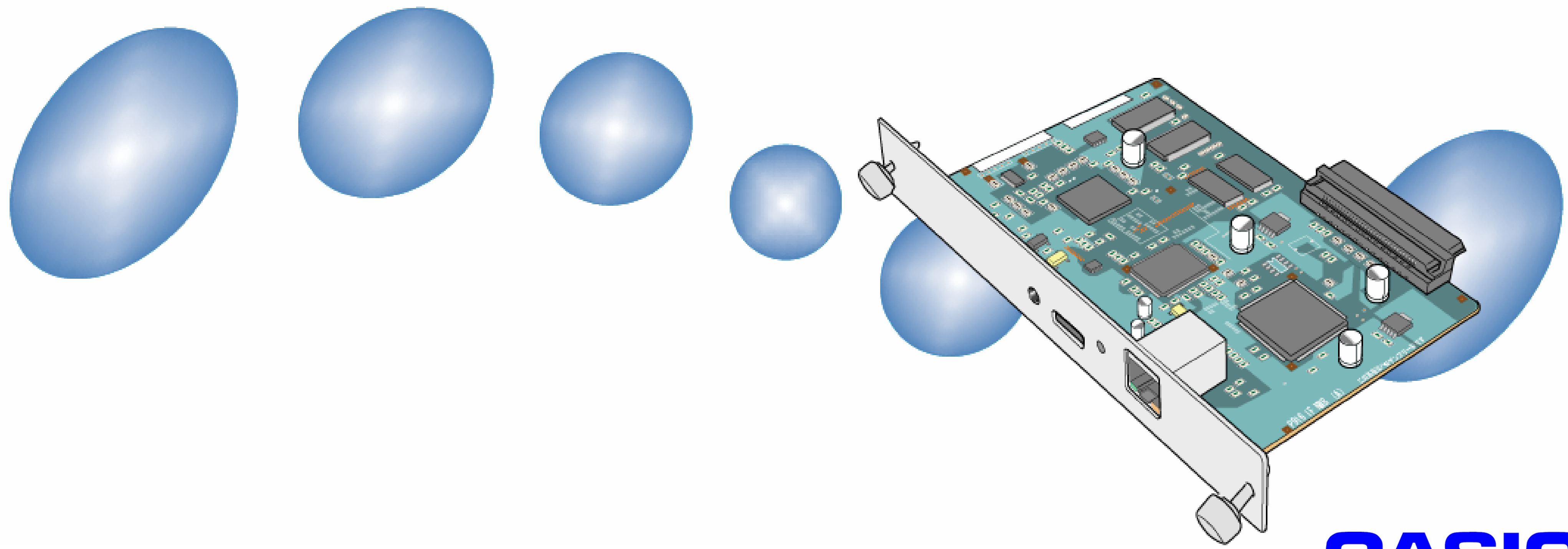
SPEEDIA

# CP-NW200T Ethernet Board マニュアル

**CP-NW200T** のセットアップ方法と操作方法について記載されています。



CASIO

**2005年6月21日　第2.1版発行**

# ～ ごあいさつ ～

この度は、CASIO Ethernet Board CP-NW200T をお買い求めいただきまして、誠にありがとうございます。
　本製品は、CASIO SPEEDIA N6000シリーズ，N5000シリーズ，SPEEDIA N5シリーズ，SPEEDIA N4-614シリーズ，SPEEDIA CP-E8500シリーズ，SPEEDIA CP-E8000シリーズ のプリンタを Ethernet へ直接接続するためのインターフェイスボードです。　これにより、Ethernetケーブルが敷設されている所であればどこにでもプリンタを設置することができます。(敷設されている10Base-T/100Base-TX規格のコンセントレータ(Hub)へ、10Base-T/100Base-TXケーブルで接続して使用します。)
　また、本マニュアルは「CASIO Ethernet Board CP-NW200T」を正しくご使用いただくための基本的な取り扱い方法等について記載してあります。
　本マニュアルの各機能を十分にご理解の上、「CASIO Ethernet Board CP-NW200T」を正しくお使いいただくようお願いいたします。
　なお、ご使用にあたっては、ネットワーク管理者の方の指導のもとに運用してください。

## ～ 電波障害自主規制について ～

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(**VCCI**)の基準に基づく クラスＡ 情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こす事があります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要請されることがあります。

## ～ 高長波対策について ～

本製品は、社団法人 ビジネス機械・情報システム産業協会 が定めた複写機及び類似の機器の高調波対策ガイドライン（家電・汎用品高調波抑制対策ガイドラインに準拠）に適合しています。

# ～　ご注意　～

（1）本マニュアルでは、「CASIO Ethernet Board CP-NW200T」を『LANボード』と呼称しています。また、「Ethernet」を『LAN』と呼称しています。
（2）本マニュアル及び、本マニュアルに記載のLANボード用ユーティリティソフトウェア(以下、単にソフトウェア)の著作権は、カシオ計算機株式会社およびカシオ電子工業株式会社の所有です。
（3）本ソフトウェアの一部または、全部を無断で使用、複製することは禁止します。
（4）本ソフトウェアの仕様ならびに、記載内容については、将来予告なしに変更することがあります。
（5）本マニュアルに記載されなかった最新の情報や各種ダウンロードサービスをインターネットでご提供しております。

http://www.casio.co.jp/ppr/

（6）本マニュアルでは、Microsoft Windows 95/98/MeをWindows 95/98/Meと表記しています。
（7）本マニュアルでは、Microsoft Windows NT Workstation 4.0 / Microsoft Windows NT Server 4.0をWindows NT 4.0と表記しています。
（8）本マニュアルでは、Microsoft Windows 2000 Professional / Microsoft Windows 2000 ServerをWindows 2000と表記しています。
（9）本マニュアルでは、Microsoft Windows XP Home Edition / Professional Edition をWindows XPと表記しています。
（10）Windows 95/98/Me, Windows NT 4.0/2000/XPに関する操作や概要につきましては、それぞれに付属のマニュアルをご覧ください。
（11）本ソフトウェアの内容については、万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り、記載もれなどお気付のことがありましたらご連絡ください。
（12）本ソフトウェアを運用した結果の影響につきましては、（11）項にかかわらず一切の責任を負いかねますのでご了承ください。
（13）ご利用いただく環境によって、実際の画面表示と本マニュアル中の画面の図とで差異が見られる場合があります。あらかじめご了承ください。
（14）CASIO、SPEEDIA は、カシオ計算機株式会社の登録商標です。
（15）Microsoft、Windows、Windows NT は米国Microsoft Corporationの米国ならびに他の国における登録商標です。
（16）ノベル、Novell、NetWare は米国Novell,Inc.の米国ならびに他の国における登録商標です。
（17）本マニュアルに記載のその他の社名またはソフトウェア名、商品名は、一般に各社の商標もしくは登録商標です。

# 目　　次

# １. LANボードご利用の手順、およびハードウェアの設定

## １.１. LANボードご利用の手順

LANボードのご利用に際しては、以下に示す手順に従って行ってください。各手順に対応する詳細説明は、付記された指示ページを参照してください。

LANボードのインストールに関する作業は、お使いになるネットワークシステムのシステム管理者に委ねられるべきものです。作業を代行する場合においても、必ずシステム管理者の同意を得た後に行ってください。　現在運用中のネットワークシステム環境に深刻な影響を与える可能性がありますので、慎重な作業進行をお願いします。

① 開始

・LANボードは精密機器です。お取り扱いには十分に注意してください。

・濡れた手でLANボードに触れないでください。

・静電気による破損を防ぐため、LANボードに触れる前に身近な金属に手を触れて身体の静電気を取り除くようにしてください。

② LANボード装着

・プリンタ本体背面の拡張スロットにLANボードを装着します。　*（※固定用ネジを必ず締めてください。）*

・取り付け方法はプリンタ本体のマニュアルを参照してください。

＜ ご注意 ＞

下記プリンタ機種の場合、本LANボード(CP-NW200T)をご使用いただくためには、プリンタ本体のプリンタ制御ソフトウェアが以下のバージョンである必要があります。

■ N5serirs、N4-614series、CP-E8000series ・・・・・ プリンタ制御ソフトウェア Ver.1.73 以上

※ N6000series、N5000series、CP-E8500series は、初期バージョンよりご使用いただけます。

「ステータスシート」を印刷（「オンライン」ボタンを押しながら電源スイッチを ON にします）し、バージョンをご確認ください。　　例） I/F-Cont Ver:GV0K1.73/K4

最新のプリンタ制御ソフトウェアは、弊社インターネット・ホームページよりダウンロードすることが可能です。

カシオ ページプリンタ インターネット インフォメーション ホームページ　 http://www.casio.co.jp/ppr/

③ LANケーブルの接続

・LANケーブル（Ethernetケーブル）は、カテゴリー５ 以上の LANケーブルをお使いください。一般的にケーブルにはストレートケーブル／クロスケーブルの２種類がありますので、ご注意ください。

④ プリンタ本体電源投入

・電源投入方法はプリンタ本体のマニュアルを参照してください。

⑤ IPアドレスなど、LANボードの基本設定

LANボードをIP(Internet Protocol)環境でプリンタ本体の操作パネルにて、LANボードの基本設定項目の設定を行います。

設定に際しては、必ずシステム管理者の同意を得て行ってください。

なお、NetWare環境でのみご使用になる場合は、「通信速度」設定の確認のみプリンタ本体の操作パネルにて行ってください。NetWareにてご使用になる際に必要な設定は、「IPX版設定ユーティリティ(LANCONF.EXE)」にて行います。

■プリンタ本体へ本LANボード(CP-NW200T)を装着すると、操作パネルの設定メニューにて以下の項目が設定可能となります。

【H】Ｉ／Ｆ設定

| H6 Link Mode |
|---|
| ▼ ＊Automatic |
| ▼▲ 100M／Full |
| ▼▲ 100M／Half |
| ▼▲ 10M／Full |
| ▲ 10M／Half |

→

| H7 IP Config |
|---|
| ▼ ＊Memory |
| ▼▲ RARP |
| ▼▲ BOOTP |
| ▲ DHCP |

→

| H8 IP Address |
|---|
| ＊000. 000. 000. 000 |

→

| H9 Netmask |
|---|
| ＊000. 000. 000. 000 |

→

| HA Gateway |
|---|
| ＊000. 000. 000. 000 |

■プリンタ本体操作パネルの操作例　　（※詳しくはプリンタ本体のマニュアルを参照してください。）

＜ボタンの操作＞　　＜パネルの表示例＞

i)　［オンライン］ボタンを押してオフラインの状態にします。
（オンラインのランプが消えます。）

| オフライン |
|---|

ii)［メニュー］ボタンを８回押します。
（「＊」は現在設定されている内容です。）

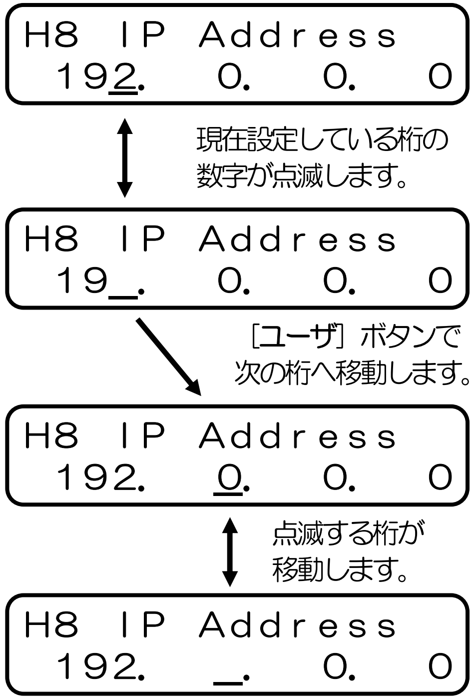
| H0 タイムアウト |
|---|
| ▼▲ ＊ 30ビョウ |

iii)［項目］ボタンを８回押し、「ＩＰ　Ａｄｄｒｅｓｓ」の設定にします。
（「＊」は現在設定されている内容です。）

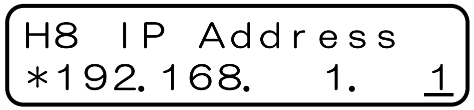
| H8 IP Address |
|---|
| ＊ 0. 0. 0. 0 |

iv) ［▼］［▲］ボタンを押して、数値を変更します。

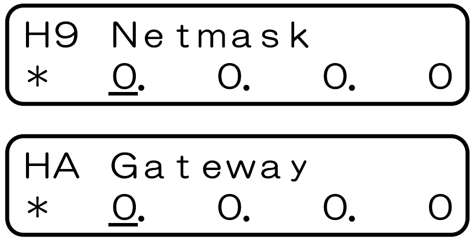
また、［ユーザ］ボタンで桁が変わります。




v) 最後の桁まで入力したら、［実行］ボタンを押してください。全桁の値が設定されます。　「＊」が表示され、設定値が確定したことを表します。




vi) ［項目］ボタンを押して、「Ｎｅｔｍａｓｋ」（サブネットマスク）の設定に進み、以降iv)～vi)の操作を行います。「Ｇａｔｅｗａｙ」（デフォルトゲートウェイ）も同様にiv)～vi)の操作で設定します。



vii) ［オンライン］ボタンを押して通常表示に戻し、少し待ちます。

| |
|---|
| インサツ　デ　キマス |

viii) 最後にLANボードの［リセットSW］を押下するか、プリンタ本体の電源を「切」→「入」してください。

※N４－６１４series をご利用いただいている場合、パネル設定項目は「Ｉ８　ＩＰ　Ａｄｄｒｅｓｓ」「Ｉ９　Ｎｅｔｍａｓｋ」「ＩＡ　Ｇａｙｅｗａｙ」となります。上記ⅱ) の手順で「メニュー」ボタンを「9回」押してください。
詳しくはプリンタ本体のマニュアルを参照してください。

※設定した内容は、操作パネルにて［オンライン］ボタンを押下して、オンライン状態へ移行する際に保存されます。設定変更後は必ずオンライン状態にしてください。　また、保存した設定内容は次回LANボードが正常に起動した後に有効になります。LANボードの［リセットSW］を押下するか、プリンタ本体の電源を「切」→「入」してください。

| メニュー項目名 | 操作パネル表示設定項目 | | 設定候補 | 概略・他 |
|---|---|---|---|---|
| | 設定項目記号 | 設定項目名称 | | |
| 通信速度 | H6<br>I6 ※(N4-614) | Link Mode | Automatic<br>100M/Full<br>100M/Half<br>10M/Full<br>10M/Half | 通信速度を設定します。<br>※Automatic･･･Auto Negotiation 機能を使用して、通信速度を決定します。<br>★通常は{Automatic}でお使いください。{Automatic}でコンセントレータ(Hub)とのLinkが確立しない場合に、他の設定をお試しください。 |
| IPアドレス決定方法 | H7<br>I7 ※(N4-614) | IP Config | Memory<br>RARP<br>BOOTP<br>DHCP | IPアドレスの決定方法を設定します。<br>※Memory･･･次項目[IPアドレス]へ設定したIPアドレスを使用します。<br>★{RARP},{BOOTP},{DHCP}をお使いの場合は、それぞれに対応したサーバが必要となります。 |
| IPアドレス | H8<br>I8 ※(N4-614) | IP Address | 0.0.0.0<br>～<br>255.255.255.255 | IPアドレスを設定します。<br>※前項目[IPアドレス決定方法]の設定が{Memory}の場合のみ、使用されます。<br>★{0.0.0.0},{255.255.255.255},{127.0.0.1}などの「特別な意味を持つIPアドレス」を設定しますと、正常な通信が行えません。 |
| サブネットマスク | H9<br>I9 ※(N4-614) | Netmask | 0.0.0.0<br>～<br>255.255.255.255 | サブネットマスクを設定します。<br>※0.0.0.0･･･決定したIPアドレスより、自動設定します。<br>★BOOTP/DHCPサーバより通知された場合は、サーバの通知が使用されます。 |
| ゲートウェイ | HA<br>IA ※(N4-614) | IP Gateway | 0.0.0.0<br>～<br>255.255.255.255 | ゲートウェイアドレスを設定します。<br>★BOOTP/DHCPサーバより通知された場合は、サーバの通知が使用されます。 |

※プリンタ本体操作パネルによる設定方法の簡単な説明を『5.1．プリンタ本体の操作パネルで設定可能な変数一覧』へ記載しています。

※設定した設定候補（値）が正しくない場合、正常に通信が行えない場合があります。正しい設定候補（値）に関しては『5.2．LANボードの設定変数一覧』を参照してください。

**★重要★**

**※本LANボードは、プリンタ本体の操作パネルに上記５項目の設定メニューが表示されないプリンタではお使いいただけません。**

（9ページ　＜ ご注意 ＞『プリンタ本体制御ソフトウェアのバージョン制限』参照）

詳しくは、弊社インターネットインフォメーション　http://www.casio.co.jp/ppr/　をご覧ください。

⑥　プリンタ本体の電源切断

⑦　セルフプリント出力の設定

・セルフプリントにてLANボードのハードウェアの状態やソフトウェアのバージョン、前項⑤で行いました基本設定の内容（設定内容が正しく保存されているか，通信速度の設定がHubの設定と合致し通信が行える状態にあるか，IPアドレス決定方法に対応したサーバからIPアドレスが正しく取得できたか、NetWareにて使用する際の設定内容、など）が確認できます。

・セルフプリントの印刷出力を行う場合は、SW1の4をONにします。

【1.3. 動作設定用スイッチ（SW1）の設定（17ページ）／1.7. セルフプリントについて（20ページ）参照】

⑧　プリンタ本体の電源再投入

・前項⑦にてセルフプリント出力の設定を行った場合は、セルフプリントが印刷出力されるまでしばらくお待ちください。

・前項⑦にてセルフプリント出力の設定を行った場合は、SW1の4を元のOFFの位置に戻してください。

【1.3. 動作設定用スイッチ（SW1）の設定（17ページ）／1.7. セルフプリントについて（20ページ）参照】

⑨　ソフトウェア設定

お使いのコンピュータからネットワーク経由で印刷を行うための設定を、お使いのオペレーティングシステム(OS)へ行います。

・お使いのオペレーティングシステム(OS)の種類に合った設定を行ってください。

・Windows 95 , Windows 98 , Windows Me の場合は、別途LPRソフトウェア(RFC1179に準拠)をインストールする必要があります。LANボードへ同梱されているCD-ROMより『スピーディアマネージャ for Network』または『CP-LPR』をインストールしてお使いください。

・WindowsNT 4.0 の場合は、『Microsoft TCP/IP印刷』を使用します。

・Windows 2000 , Windows XP の場合は、『標準 TCP/IP プリンタポート』にて『LPRプロトコル』を選択して使用します。

・NetWare 環境でのネットワークプリンタとしてご使用の場合は、NetWareのユーティリティ『PCONSOLE.EXE』(NetWare 4.x 以前のバージョンの場合)または『NetWareアドミニストレータ』(NetWare 5 以降のバージョンの場合)を使用して、NetWareサーバへ「リモートプリンタ」または「プリントサーバ」の追加を行って使用します。

⑩ LANボードの詳細設定

・お使いのコンピュータの TELNET , Webブラウザなどを使用して、LANボードの詳細設定を行うことができます。
LANボードを使用するネットワークが「NetWare のみを使用するネットワーク環境」の場合は、LANボードへ同梱されているCD-ROMより『IPX版設定ユーティリティ(LANCONF.EXE)』をインストールしてお使いください。

・LANボードを使用するネットワーク環境に合わせて、LANボードの詳細設定を変更してください。

・設定に際しては、必ずシステム管理者の同意を得て行ってください。

※設定した内容は、必ず保存を行ってください。 保存した設定内容は次回LANボードが正常に起動した後に有効になります。LANボードの［リセットSW］を押下するか、プリンタ本体の電源を「切」→「入」してください。

⑪ LANボードの詳細設定の確認

・プリンタ本体の操作パネルにて『LAN設定情報の印刷』を行うことにより、LANボードが起動時に参照した設定内容の確認ができます。

・『LAN設定情報の印刷』の出力は、プリンタ本体の操作パネルで［プリンタ情報印刷］のメニュー項目にて［ＬＡＮセッテイインサツ］を選択し[実行]すると印刷出力されます。詳しくはプリンタ本体のマニュアルを参照してください。

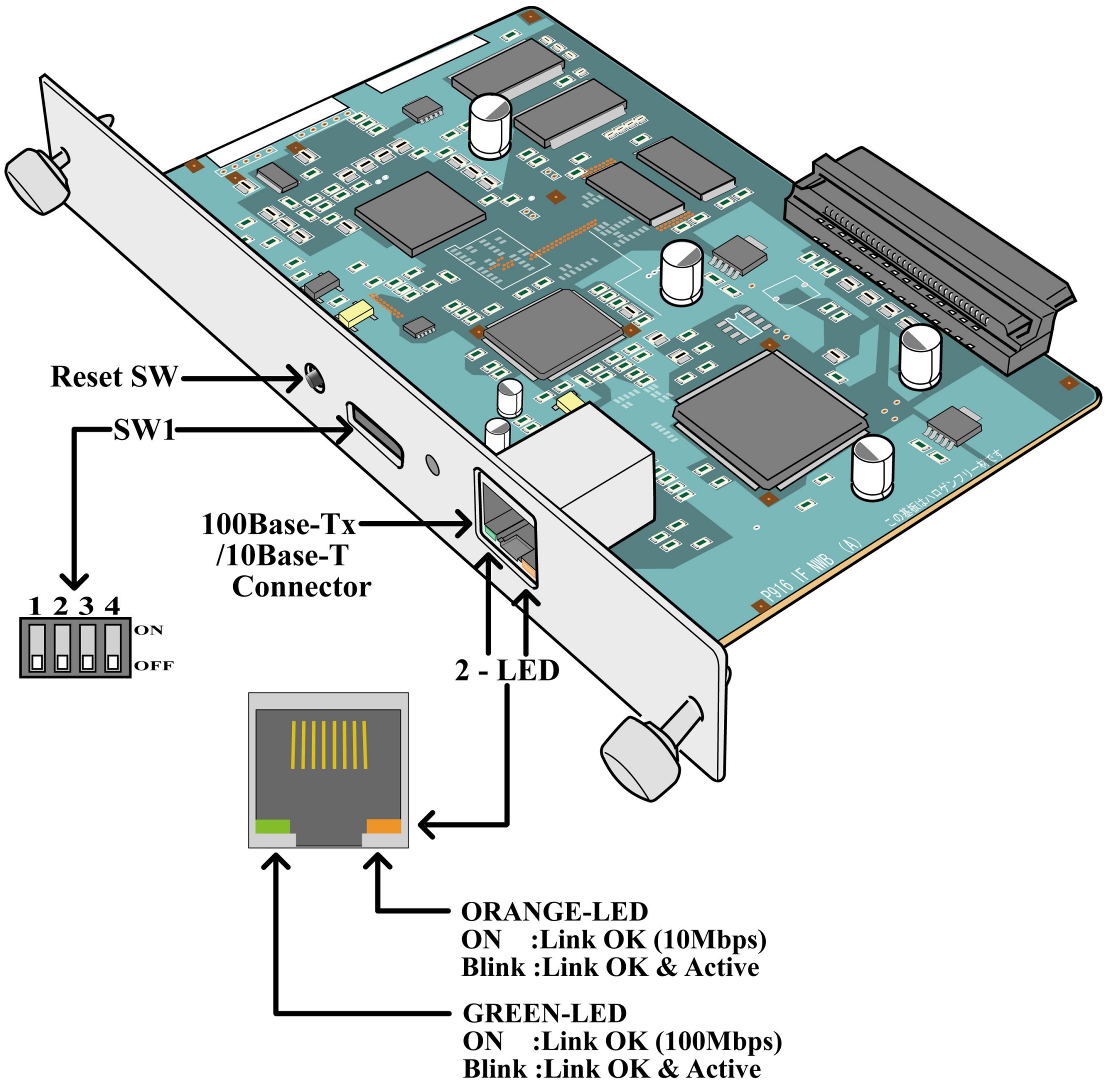
【1.8. LAN設定印刷について（23ページ）参照】

⑫ 準備完了

以上で、LANボードをご利用になる準備は整いました。

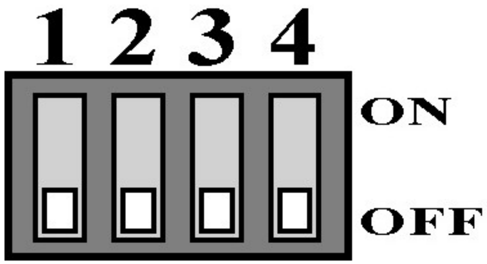
## 1.2. ハードウェアの構成

《注意》LANボードをプリンタへ装着、または取り外す際には、必ずプリンタ本体の電源を切ってから行ってください。



## 1.3. 動作設定用スイッチ（SW1）の設定

SW1




| セルフ印刷／セルフチェック | 4 |
| --- | --- |
| 行う | ON |
| 行わない | OFF |

| 設定変数用メモリ | 3 |
| --- | --- |
| 初期化する | ON |
| 初期化しない | OFF |

| リザーブ | 1 | 2 |
| --- | --- | --- |
| 未使用 | OFF | OFF |

## 1.4. Ethernet アドレスについて

LANボードのEthernetアドレスは、LANボードからセルフプリントを出力する，プリンタ本体の操作パネルにて『LAN設定情報の印刷』を行う，またはLANボード裏面貼付のシールにより確認できます。

また、このEthernetアドレスの下6桁は、「設定変数 machine_name（マシン名）」のデフォルト文字列の一部として使用していますので、SNMPのシステム名（sysName）や NetWareのプリンタ名に使用されています。

《注意》LANボードをプリンタへ装着、または取り外す際には、必ずプリンタ本体の電源を切ってから行ってください。

## 1.5. 通信速度／通信モードについて

LANボードは 10Base-T と 100Base-TX の通信速度、および全二重と半二重の通信モードで使用することができます。

LANボードを使用する場合には、プリンタ本体の操作パネルのメニュー項目［通信速度（表示名称：Link Mode）］にて、ご使用になるシステム環境で定められている通信速度／通信モードを設定してください。

※デフォルトでは｛Automatic｝(Auto Negotiation 機能を使用して 通信速度／通信モード を自動決定) になっています。　通常は｛Automatic｝でお使いください。｛Automatic｝でコンセントレータ(Hub)とのLinkが確立しない場合に、他の設定をお試しください。

★｛Automatic｝以外に設定した場合、『セルフプリント』『LAN設定情報の印刷』『TELNET』『WWWブラウザ』『IPX版設定ユーティリティ』などで表示される通信速度(Link_status)は、実際に決定された通信速度と異なる表示となります。特に「全二重(Full)」に設定した場合、実際の通信速度は「半二重(Half)」であることがほとんどです。また、「10Mbps(10Base-T)」に設定してLANケーブルの接続先が100Mbps(100Base-Tx)の「Fast Ethernet Hub」(スィッチングHubではありません)場合、表示上は通信速度が決定して「通信可能」となっていますが、実際には通信速度が決定しておらず(Linkが確立いない)、通信が行えない状態となっています。　この場合、LANボードのオレンジ色のLEDが非常に短い周期で点滅していますので、確認してください。

決定した通信速度／通信モードは以下の方法により確認することができます。

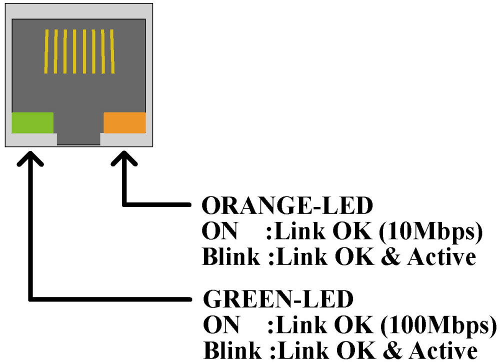
a) LANボードの『セルフプリント出力』にてセルフプリントを印刷出力して確認する。

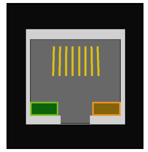
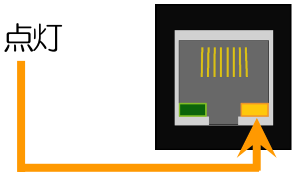
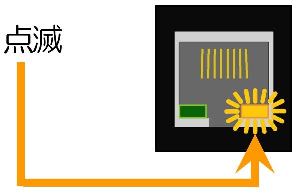
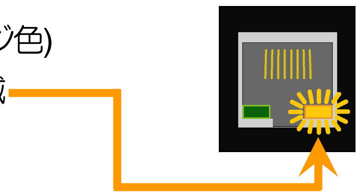
b) プリンタ本体の操作パネルにて『LAN設定情報の印刷』を行い確認する。

c) TELNET, WWWブラウザ, IPX版設定ユーティリティ,などを使用してLANボードへ接続し、LANボードの状態を表示して確認する。

d) LANボードの LED の点灯状態で確認する。（通信速度のみ確認できます。）　※次ページ参照。

【図 1.5.－1．LANボードLEDによる状態表示説明】




| | | |
|---|---|---|
| 両LED 消灯 |  | 接続された機器とのLink確立できず (Link=Fail) |
| 左LED(緑色) 点灯 |  | 接続された機器と100MbpsでLink確立 かつ、パケット送受信無し |
| 左LED(緑色) 点滅 |  | 接続された機器と100MbpsでLink確立 かつ、パケット送受信有り |
| 右LED(オレンジ色) 点灯 |  | 接続された機器と10MbpsでLink確立 かつ、パケット送受信無し |
| 右LED(オレンジ色) 点滅 |  | 接続された機器と10MbpsでLink確立 かつ、パケット送受信有り |
| 右LED(オレンジ色) 非常に早い点滅 |  | 接続された機器とのLink確立できず (Link=Fail) |

## 1.6. LANボードの取り付けについて

●取り付けの前に

LANボードの取り付けにはプラスのドライバが必要です。　取り付けを始める前にご用意ください。

*・LANボードの着脱は、必ずプリンタ本体の電源スイッチをOFFしてから行ってください。*

*・LANボードは精密機器です。お取り扱いには十分に注意してください。*

*・濡れた手でLANボードに触れないでください。*

*・静電気による破損を防ぐため、LANボードに触れる前に身近な金属に手を触れて身体の静電気を取り除くようにしてください。*

*・基板のコネクタや IC に直接手を触れないようにしてください。*

*・基板を曲げたり、傷を付けないようにご注意ください。*

●取り付け方

・プリンタ本体背面の拡張スロットにLANボードを装着します。　*(※固定用ネジを必ず締めてください。)*

・取り付け方法はプリンタ本体のマニュアルを参照してください。

## 1.7. セルフプリントについて

LANボードとプリンタ本体との接続およびLANボード自身のチェックは、LANボードからセルフテストプリントを出力させることにより確認できます。

・セルフテストプリントにてLANボードのハードウェアの状態やソフトウェアのバージョン、『1.1.LANボードご利用の手順　⑤IPアドレスなど、LANボードの基本設定(9ページ)』で行いました基本設定の内容（設定内容が正しく保存されているか，通信速度の設定が

Hubの設定と合致し通信が行える状態にあるか, IPアドレス決定方法に対応したサーバからIPアドレスが正しく取得できたか、NetWareにて使用する際の設定内容、など）が確認できます。

①プリンタ本体の電源を OFF にします。

②LANボードの **SW1 の 4** を ON にします。 SW1 の操作がしづらい場合は、LANボードを外して操作してください。
(先の細いドライバなどをご使用ください。ペン類を使用しますと正しく設定できない場合があります。)
外した場合は確実に取り付けてください。

③コンセントレータ(Hub) に接続された 100Base-Tx / 10Base-T ケーブル（カテゴリー5以上のケーブル）をLANボードへ接続します。

④プリンタ本体の電源を ON にします。

⑤しばらくすると、プリンタ本体操作パネルのデータランプの点滅が始まり、その後点灯に変わります。（プリンタ本体の機種や温度条件により時間は異なります。）

⑥チェックをすべてクリアしますと、次に示すようなテストプリントが出力されます。（印刷出力までの所要時間は、プリンタ本体の機種や温度条件により異なります。）

《注意事項》

I. *セルフプリントの出力を確認した後は、SW1 の 4 は必ず元の OFF の位置に戻してください。* そのままにしておきますと、プリンタ本体の電源投入時に毎回セルフプリントが出力されることになります。

II. セルフプリントの中段に『Flash memory read check (n)　==> error』と表示されている場合、設定変更中や各種設定用メモリの初期化中にプリンタ本体の電源が遮断されてしまった、などの理由により、設定用メモリの内容が壊れていることが考えられます。
設定用メモリの内容が壊れている場合は、*SW1 の 3 を ON にしてプリンタ本体の電源を再投入*し、しばらく待った後、再度各種設定を行ってください。（同時に SW1 の 4 を ON にしてLANボードのセルフプリント出力を行うことをお勧めします。セルフプリントの印刷出力が終了しますと、設定用メモリの初期化は終了しています。）
正しく設定変更が行えたにも関わらず、再度『Flash memory read check (n)　==> error』と表示されるようでしたら、お手数ですが お買い求めの販売店 または 弊社テクニカル・インフォメーション・センター　までご連絡ください。
なお、設定用メモリの初期化を行った後は、*SW1 の 3 は必ず OFF の位置に戻してください。*　そのままにしておきますと、プリンタの電源投入時に毎回設定用メモリの初期化が行われてしまい、設定変更内容が反映されません。

```
 CASIO CP-NW200 Series Boot Ver.F510202.02.01

*** Initial test ==> start: 1234 5678 9ABC DEF0
#   Timer test   ==> ok

*** Memory test -->
#   RAM write/read check        ==> ok
-   RAM size                    ==> 32MByte
#   Flash Memory device check   ==> ok
-   Flash Memory device ID      ==> 00C222A700C222A7
-   Flash Memory size           ==> 8MByte
#   Flash Memory read check (1) ==> ok
#   Flash Memory read check (2) ==> ok
#   Flash Memory read check (3) ==> ok
#   Flash Memory read check (4) ==> ok
#   Flash Memory read check (5) ==> ok
#   Flash Memory read check (6) ==> ok
#   Flash Memory read check (7) ==> ok
#   Flash Memory read check (8) ==> ok
#   Flash Memory read check (9) ==> ok
-   Flash Memory check sum      ==> 9469-1D18

### NIC access test ==> ok

### Network loop back test (external) ==> ok
```

Flash Memory read check (1)～(9)：設定用メモリの内容が壊れている場合、などでは『error』 と表示されます。

Flash Memory check sum：製品毎に異なります。また、設定変更を行うと表示される値は変わります。

Network loop back test：コンセントレータ(Hub)とのLinkが確立していない場合、『error』 と表示されます。

```
*** Module load informations -->
CASIO CP-NW200T Ver.NCOT 2.01
        PRINT CONTROL
        TCP/IP
        BOOTP
        DHCP
        RARP
        FTPD
        LPD
        TELNETD
        HTTPD
        SNMPD
        NW REMOTE PRINTER
        NW PRINT SERVER

*** Network configuration informations -->
+   Setting switch   ==> --**
+   Ethernet address ==> 08:00:74:80:00:01
+   Link status      ==> 100Base/Full Duplex (Auto)
+   IP address       ==> 130.10.90.186 (Memory)
    Netmask          ==> 255.255.0.0
    Gateway          ==> 130.10.1.1
+   Machine name     ==> CP800001
    IPX packet type  ==> Auto
    NetWare mode     ==> Remote printer mode
            pserver  ==>
            fserver1 ==>
            fserver2 ==>
            fserver3 ==>
            fserver4 ==>
```

CASIO CP-NW200T Ver.NCOT 2.01／TCP/IP：製品名／製品バージョン表示

Setting switch：SW1の設定状態。

Ethernet address：製品毎に異なります。

Link status：Linkが確立した際の通信速度/通信モード ※1

IP address、Netmask、Gateway：※2

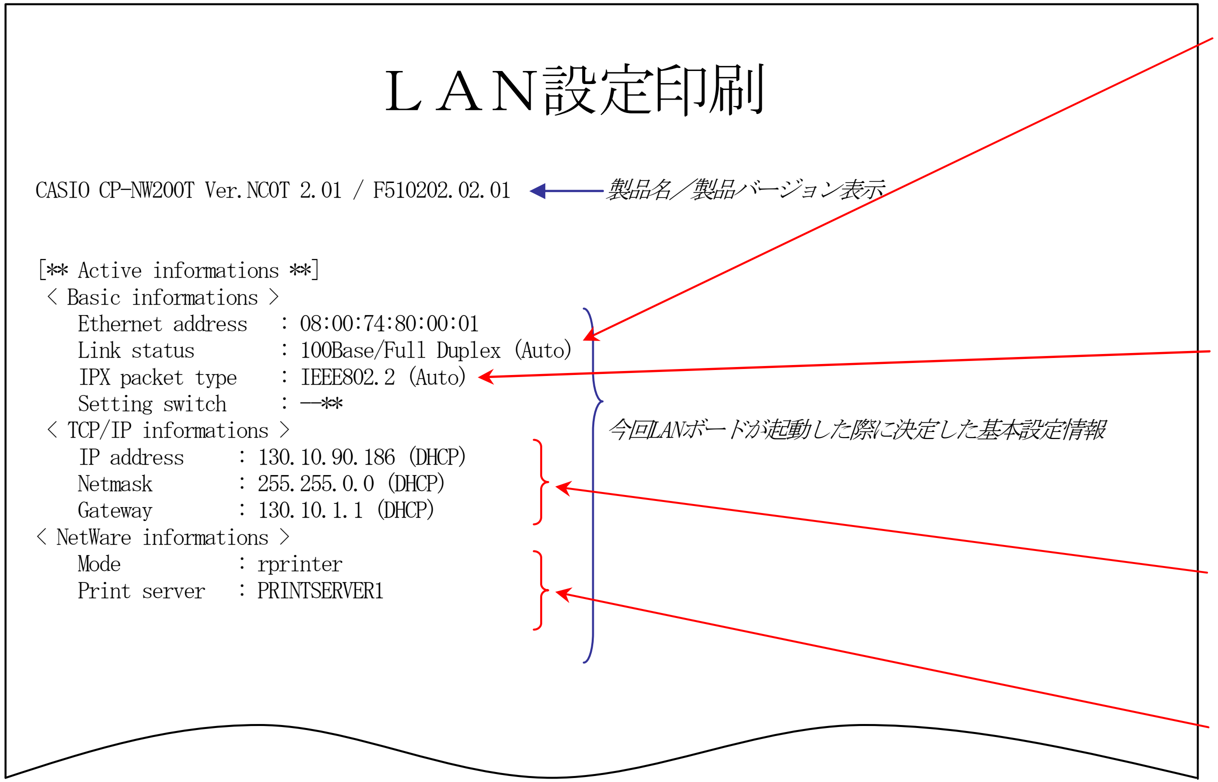
※1：通信速度設定(link_mode)を「自動決定(auto)」以外に設定した場合、表示される通信速度(Link_status)は、実際に決定された通信速度と異なる表示となります。特に「全二重(Full)」に設定した場合、実際の通信速度は「半二重(Half)」であることがほとんどです。また、「10Mbps(10Base-T)」に設定してLANケーブルの接続先が100Mbps(100Base-Tx)の「Fast Ethernet Hub」(スイッチングHubではありません)場合、表示上は通信速度が決定して「通信可能」となっていますが、実際には通信速度が決定しておらず(Linkが確立しない)、通信が行えない状態となっています。 この場合、LANボードのオレンジ色のLEDが非常に短い周期で点滅していますので、確認してください。

※2：IPアドレス(IP address)，サブネットマスク(Netmask)，ゲートウェイ(Gateway)，を設定したにもかかわらず「0.0.0.0」と表示される場合や設定値と異なる値が表示される場合は、設定値の誤り、サーバの設定が使用されている場合、サーバ上で設定していない場合、などが考えられます。『5.2. LANボードの設定変数一覧』を参照してください。

## 1.8. LAN設定印刷について

プリンタ本体の操作パネルにて『LAN設定情報の印刷』を行うことにより、LANボードが起動時に参照した設定内容の確認ができます。

『LAN設定情報の印刷』の出力は、プリンタ本体の操作パネルで［プリンタ情報印刷］のメニュー項目にて［ＬＡＮセッテイインサツ］を選択し[実行]すると印刷出力されます。詳しくはプリンタ本体のマニュアルを参照してください。


ＬＡＮ設定印刷

```
CASIO CP-NW200T Ver.NC0T 2.01 / F510202.02.01

[** Active informations **]
 < Basic informations >
    Ethernet address   : 08:00:74:80:00:01
    Link status        : 100Base/Full Duplex (Auto)
    IPX packet type    : IEEE802.2 (Auto)
    Setting switch     : --**
 < TCP/IP informations >
    IP address       : 130.10.90.186 (DHCP)
    Netmask          : 255.255.0.0 (DHCP)
    Gateway          : 130.10.1.1 (DHCP)
< NetWare informations >
    Mode             : rprinter
    Print server     : PRINTSERVER1
```



※1：通信速度設定(link_mode)を「自動決定(auto)」以外に設定した場合、表示される通信速度(Link_status)は、実際に決定された通信速度とことなる表示となります。特に「全二重(Full)」に設定した場合、実際の通信速度は「半二重(Half)」であることがほとんどです。また、「10Mbps(10Base-T)」に設定してLANケーブルの接続先が100Mbps(100Base-Tx)の「Fast Ethernet Hub」(スィッチングHubではありません)場合、表示上は通信速度が決定して「通信可能」となっていますが、実際には通信速度が決定しておらず(Linkが確立いない)、通信が行えない状態となっています。　この場合、LANボードのオレンジ色のLEDが非常に短い周期で点滅していますので、確認してください

※2：IPXフレームタイプ(IPX packet type)は、NetWareサーバとの接続が確立した場合に正しく表示されます。 NetWareサーバとの接続が確立していない場合、「Discorded(xxxx)」(xxxxはIPXフレームタイプ設定(nw_packet)の設定内容)と表示されますので、NetWareサーバの設定およびLANボードの設定を見直してください。『3. NetWare環境でのソフトウェア設定』『5. 2. LANボードの設定変数一覧』参照。

※3：IPアドレス(IP address)，サブネットマスク(Netmask)，ゲートウェイ(Gateway)，を設定したにもかかわらず「0.0.0.0」と表示される場合や設定値と異なる値が表示される場合は、設定値の誤り、サーバの設定が使用されている場合、サーバ上で設定していない場合、などが考えられます。
『5.2. LANボードの設定変数一覧』を参照してください。

※4：NetWare動作モード(Mode)，接続NetWareサーバ名(Print server または File server)は、NetWareサーバとの接続が確立した場合に正しく表示されます。 NetWareサーバとの接続が確立していない場合、NetWare動作モード(Mode)は「disable」「Disable(rprinter)」「Disable(pserver)」のいずれかとなり、接続NetWareサーバ名(Print server または File server)は、空欄となりますので、NetWareサーバの設定およびLANボードの設定を見直してください。『3. NetWare環境でのソフトウェア設定』『5.2. LANボードの設定変数一覧』参照。

```
[** Configuration memory settings **]
< common >
 machine_name    : CP800001          comment         : CASIO N5000 series
 link_mode       : 100M/Full
< TCP/IP >
 ip_config       : dhcp              ip_address      : 0.0.0.0           netmask         : 0.0.0.0
 gateway         : 0.0.0.0           ftp_passwd      : off               tcp_keep_alive  : 30
 print_reset     : enable
< SNMP >
 snmp_mode       : enable            snmp_name       : public            snmp_host       : 130.10.1.10
< nw_param >
 nw_mode         : rprinter          nw_packet       : auto
 pserver         : PRINTSERVER1
 timeout         : 10
 nw_spx_abort    : 30                nw_spx_listen   : 6                 nw_spx_verify   : 3
 fserver1        : FILESERVER1
 fserver2        : FILESERVER2
 fserver3        : FILESERVER3
 fserver4        : FILESERVER4
 polltime        : 15                nw_passwd       :
 nw_ncp_timeout  : 3                 nw_ncp_retry    : 20
< Printer >
 banner0         : off
 bojstring0      :
 eojstring0      :
 printertype1    : PR201             banner1         : off               tabsize1        : 8
 bojstring1      :
 eojstring1      :
 printertype2    : PR201             banner2         : off               tabsize2        : 8
 bojstring2      :
 eojstring2      :
```

*今回LANボードが起動時に使用している設定情報*

*（プリンタ本体の操作パネルにて変更した設定内容は、または telnet,Webブラウザ などで変更した設定内容は、反映されていません。次回LANボードが起動後に反映された印刷が行われます。）*

# ２. IP(Internet Protocol)環境でのソフトウェア設定

## ２.１. サポートプロトコルについて

IP(Internet Protocol)環境において、LANボードは複数のプロトコルを実装しています。

以下にサポートプロトコルとその機能概要を示します。

【表　２．１．－１．　IP環境でのサポートプロトコルと機能概要】

| プロトコル名 | 機　能　概　要 |
|---|---|
| FTP | FTPサーバーサービスにより、ファイルの転送を行います。LANボードはFTPにより印字が行えます。<br>FTPはRFC959に準拠します。実装はBSD系に準拠します。 |
| LPR | LANボードのLPDにプリントデータの転送を行います。LANボードはLPRにより印字が行えます。<br>LPRはRFC1179に準拠します。実装はBSD系に準拠します。 |
| TELNET | LANボードの内部設定の参照・変更に使用します。これによりLANボードの設定変数の設定が行えます。<br>TELNETはRFC854、RFC855に準拠します。実装はBSD系に準拠します。 |
| HTTP | LANボードの内部設定の参照・変更に使用します。これによりLANボードの設定変数の設定が行えます。<br>WWW(Web)ブラウザが必要です。 |
| BOOTP | LANボード起動時にLANボードで使用するIPアドレスをBOOTPサーバから取得します。BOOTPによりLANボードへIPアドレスの自動割当が行えます。BOOTPはRFC951、RFC1497に準拠します。 |
| DHCP | LANボード起動時にLANボードで使用するIPアドレスをDHCPサーバから取得します。DHCPによりLANボードへIPアドレスの自動割当が行えます。DHCPはRFC1531に準拠します。 |
| RARP | LANボード起動時にLANボードで使用するIPアドレスをRARPサーバから取得します。RARPによりLANボードへIPアドレスの自動割当が行えます。RARPはRFC903に準拠します。 |
| SNMP | LANボードはSNMPによりMIB情報をSNMPマネージャーに送信します。これによりプリンタの状態監視が行えます。SNMPはRFC1155、RFC1157に準拠します。MIB規格はMIB-Ⅱ（RFC1213）に準拠します。 |

## ２.１.１. IP(Internet Protocol)環境 にてLANボードを使用する際の設定確認

LANボードを使用して IP(Internet Protocol)環境 で印刷するためには、LANボードのIPアドレスの取得及びLANボードの設定変数設定が行われている必要があります。お使いのネットワークシステムの管理者、またはプリンタの管理者にお問い合わせください。

始めに、LANボードの基本設定をプリンタ本体の操作パネルより行います。下表の内「プリンタ本体操作パネル表示名称」欄へ名称の記載がある5項目が操作パネルにて設定可能です。（※設定方法の簡単な説明を【図 5.1.－1．プリンタ本体操作パネルの操作例】へ記載しています。）

その他の設定変数設定は『TELNET』『WWWブラウザ』で行うことが出来ます。設定方法は「4. LANボードの設定」を参照してください。

| 設定項目名称<br>または<br>設定変数名称 | プリンタ本体<br>操作パネル表示 | | LANボード<br>設定変数名 | 設定候補 | 概略・他 |
|---|---|---|---|---|---|
| | 項目記号 | 項目名称 | | | |
| 通信速度 | H6<br><br>I6(N4-614) | Link Mode | link_mode | Automatic<br>100M/Full<br>100M/Half<br>10M/Full<br>10M/Half | 通信速度を設定します。<br>※Automatic･･･Auto Negotiation 機能を使用して、通信速度を決定します。<br>★通常は{Automatic}でお使いください。{Automatic}でコンセントレータ(Hub)とのLinkが確立しない場合に、他の設定をお試しください。 |
| IPアドレス決定方法 | H7<br><br>I7(N4-614) | IP Config | ip_config | Memory<br>RARP<br>BOOTP<br>DHCP | IPアドレスの決定方法を設定します。<br>※Memory･･･次項目[IPアドレス]へ設定したIPアドレスを使用します。<br>★{RARP},{BOOTP},{DHCP}をお使いの場合は、それぞれに対応したサーバが必要となります。 |
| IPアドレス | H8<br><br>I8(N4-614) | IP Address | ip_address | 0.0.0.0<br>～<br>255.255.255.255 | IPアドレスを設定します。※1<br>※前項目[IPアドレス決定方法]の設定が{Memory}の場合のみ、使用されます。<br>★{0.0.0.0},{255.255.255.255},{127.0.0.1}などの「特別な意味を持つIPアドレス」を設定しますと、正常な通信が行えません。 |
| サブネットマスク | H9<br><br>I9(N4-614) | Netmask | netmask | 0.0.0.0<br>～<br>255.255.255.255 | サブネットマスクを設定します。※1<br>※0.0.0.0･･･決定したIPアドレスより、自動設定します。<br>★BOOTP/DHCPサーバより通知された場合は、サーバの通知が使用されます。 |
| ゲートウェイ | HA<br><br>IA(N4-614) | IP Gateway | gateway | 0.0.0.0<br>～<br>255.255.255.255 | ゲートウェイアドレスを設定します。※1<br>★BOOTP/DHCPサーバより通知された場合は、サーバの通知が使用されます。 |
| プリンタ制御ソフトウェアリセット機能の設定 ※1 | ――――― | ――――― | print_reset | enable<br>disable | プリンタ制御ソフトウェアリセット機能を 使用する／使用しない を設定します。<br>★{enable}は使用可能な環境に制限があります。※2 |

※1）設定した設定候補（値）が正しくない場合、正常に通信が行えない場合があります。正しい設定候補（値）に関しては『5.2. LANボードの設定変数一覧』を参照してください。

※2）使用可能な環境に制限があります。詳しくは「5.2. LANボードの設定変数一覧」を参照してください。

## ２.１.２. IP(Internet Protocol)環境における印刷設定概要

LANボードは IP(Internet Protocol)環境における印刷用のプロトコルとして、LPR(Line Printer Remote Protocol) , FTP(File Transfer Protocol)のTCP(Transmission Control Protocol)のサーバ機能をサポートしています。

なお、LANボードには単純な印刷データの変換機能（漢字フィルタ機能）を搭載していますが、印刷データの生成機能（例：プリンタドライバ機能）は搭載していませんのでご注意ください。

① 印刷用のプリンタポート名

印刷用のプリンタポートとして、以下のポートが使用できます。

lp0 ・・・・ 通常はこちらをお使いください。CP-NW200シリーズより新規サポートされました。
印刷データの変換機能（漢字フィルタ機能）を使用せずに受信した印刷データをそのまま出力します。

presto0 ・・ *弊社旧製品との互換用です。将来機能制限が発生する場合があります。*
印刷データの変換機能（漢字フィルタ機能）を使用せずに受信した印刷データをそのまま出力します。

lp1 ・・・・ CP-NW200シリーズより新規サポートされました。
印刷データの変換機能（漢字フィルタ機能）を使用して、受信した印刷データ中のシフトJIS漢字コードを設定変数printertype1へ設定されているプリンタタイプのJIS漢字コードへ変換、水平タブコードをスペースコードへ変換して出力します。

presto1 ・・ *弊社旧製品との互換用です。将来機能制限が発生する場合があります。*
印刷データの変換機能（漢字フィルタ機能）を使用して、受信した印刷データ中のシフトJIS漢字コードを設定変数printertype1へ設定されているプリンタタイプのJIS漢字コードへ変換、水平タブコードをスペースコードへ変換して出力します。

lp2 ・・・・ CP-NW200シリーズより新規サポートされました。
印刷データの変換機能（漢字フィルタ機能）を使用して、受信した印刷データ中のEUC-JIS漢字コードを設定変数printertype2へ設定されているプリンタタイプのJIS漢字コードへ変換、水平タブコードをスペースコードへ変換して出力します。

presto2 ・・ *弊社旧製品との互換用です。将来機能制限が発生する場合があります。*

印刷データの変換機能（漢字フィルタ機能）を使用して、受信した印刷データ中のEUC-JIS漢字コードを設定変数printertype2へ設定されているプリンタタイプのJIS漢字コードへ変換、水平タブコードをスペースコードへ変換して出力します。

② LPR(Line Printer Remote Protocol) による印刷設定概要

オペレーティングシステムやソフトウェアにより印刷設定項目の名称が異なりますので、ご注意ください。

・UNIX系：　「リモートホスト名」と「LANボードのIPアドレス」を対応付けて設定します。
「リモートホストのプリンタ名」として、「lp0」を設定します。
※テキストファイルをそのまま送信して印刷する場合などで漢字フィルタ機能をお使いの場合は、送信する印刷データの漢字コード体系に合わせて「lp1」または「lp2」を設定します。　なお、通常UNIX系ではEUC-JIS漢字コードを使用しています。

・Windows NT 4.0 ：
「LPDを提供しているサーバの名前またはアドレス」へ「LANボードのIPアドレス」を設定します。
「サーバのプリンタ名またはプリンタキュー名」へ「lp0」を設定します。
＊「lp0」は小文字で入力し設定しても、再度表示すると「LP0」と大文字で表示されます。
※テキストファイルをそのまま送信して印刷する場合などで漢字フィルタ機能をお使いの場合は、送信する印刷データの漢字コード体系に合わせて「lp1」または「lp2」を設定します。　なお、通常Windows系ではシフト-JIS漢字コードを使用しています。

・Windows XP　/　Windows 2000 ：
「プリンタ名またはIPアドレス」へ「LANボードのIPアドレス」を設定します。
「ポート名」へ「lp0」*を設定します。
*Windows XP の「ポートの自動設定機能」では「presto0」が設定されます。
※テキストファイルをそのまま送信して印刷する場合などで漢字フィルタ機能をお使いの場合は、送信する印刷データの漢字コード体系に合わせて「lp1」または「lp2」を設定します。　なお、通常Windows系ではシフト-JIS漢字コードを使用しています。

・スピーディアマネージャ(SP-LPR)　/　CP-LPR ：
「ホスト名またはIPアドレス」へ「LANボードのIPアドレス」を設定します。

「ポート名」へ「lp0」*を設定します。
*デフォルト表示が「presto0」になっていますので、「lp0」へ変更します。
※テキストファイルをそのまま送信して印刷する場合などで漢字フィルタ機能をお使いの場合は、送信する印刷データの漢字コード体系に合わせて「lp1」または「lp2」を設定します。　なお、通常Windows系ではシフト-JIS漢字コードを使用しています。

③ FTP(File Transfer Protocol)

ディレクトリ構成は以下の様になっています。

［ルートディレクトリ］

- ［lp0］・・・・ 印刷用サブディレクトリ（無変換）
  ※印刷データの変換機能（漢字フィルタ機能）を使用せずに受信した印刷データをそのまま出力します。
- ［lp1］・・・・ 印刷用サブディレクトリ（シフトJIS漢字コードを変換）
  ※印刷データの変換機能（漢字フィルタ機能）を使用して、受信した印刷データ中のシフトJIS漢字コードを設定変数printertype1へ設定されているプリンタタイプのJIS漢字コードへ変換して出力します。
- ［lp2］・・・・ 印刷用サブディレクトリ（EUC-JIS漢字コードを変換）
  ※印刷データの変換機能（漢字フィルタ機能）を使用して、受信した印刷データ中のEUC-JIS漢字コードを設定変数printertype2へ設定されているプリンタタイプのJIS漢字コードへ変換して出力します。

使用方法：

・LANボードのIPアドレスを指定して接続します。　ユーザ名は任意の文字列を指定します。パスワード入力要求はLANボードの設定に従いますが、入力されたパスワードのチェックは行いません。　但し、ユーザ名としてLANボードが規定しているシステム管理者名を指定した場合、パスワード入力要求が必ず行われます。入力すべきパスワードはLANボードへ設定されている文字列を指定します。

・カレントディレクトリを［lp0］（または［lp1］［lp2］）へ変更します。

・「put」コマンドにてローカルコンピュータ上のファイルをリモートコンピュータへ転送します。ファイル転送は必ず「binaryモード」で行ってください。

・ファイル転送が終了したらLANボードとの接続を終了します。

これらの機能を有効にお使いいただくためには、次項より記載しております「ホストコンピュータの各オペレーティングシステム別の設定／ご利用方法」に従い、正しく設定を行ってください。

また、より快適に印刷が行えますように『CASIO スピーディアマネージャ for Network』をCD内へ収納しております。

## ２.２. MS-Windows XP／2000／NT4.0で印刷する際の設定【TCP／IP印刷機能利用の場合】

Microsoft Windows XP / 2000 / NT4.0 では、『Microsoft TCP/IP印刷』によりTCP/IP接続されたプリンタに対し、リモート印刷を行うことができます。

※注）MS-Windows NT4.0 でTCP/IP印刷を行うには、Windows NTに「Microsoft TCP/IP印刷」をインストールする必要があります。 詳しくは、MS-Windows NT4.0 のオンラインヘルプをお読みください。

**【表 ２.２. －１. Windows NTにてご使用の際の注意事項】**

◆ 印刷に関する仕様または制限など

★TCP/IPプリント(LPR)実行時の注意事項。

Q. 複数のプリンタでTCP/IPプリント(LPR)を実行した場合に不当な遅延が発生する。

A. Microsoft(R) Windows NT(R) 4.0 Service Pack 3以降では、RFC準拠に変更されたため、TCP/IPプリント(LPR)でパフォーマンスの劣化を伴うケースが想定されます。

詳細はMicrosoft(R)社からWebで提供されている「サポート技術情報」をご参照ください。

http://support.microsoft.com

※以下の内容は、上記「サポート技術情報」での記載から、関連部分を抜粋して転載したものです。情報の全容に関しては当該URLにてご確認ください。

【文書番号：JP141708】

Windows NT Version 3.51 SP4 またはそれ以前のバージョンでは、Windows NTのLPRサービスでLPRに接続するためにTCPポート731から721を使用していました。これは RFC 1179 に準拠するものですが、このサービスは11個のTCPポートまでをサポートするので、パフォーマンスに限界があります。 RFC 1122 では、各ポートは4分間おかないと再使用できません (RFC 1122では、2 ＊ Maximum Segment Lifetime と定義されています)。
Windows NT 3.51 SP5 は変更され、Windows NT 4.0 はサービスパック2 にアップされて、LPR印刷のパフォーマンスが向上しました。このパフォーマンスの向上によって、TCPポート 512-1023 を LPR 接続に使用できるようになりました。ただし、RFC 1179 に外れることになるので、アプリケーションによっては問題が発生することもあります。

http://support.microsoft.com/default.aspx?scid=kb;ja;JP141708

【文書番号：JP179156】

Windows NT 4.0 サービスパック2(SP2) までのTCP/IPプリント(LPR)では、512から1,023までが既定のTCPポートでした。Windows NT 4.0 サービスパック3 のLPRでは、RFC 1179 (Windows NT 3.51 Service Pack 4 までのバージョン) で記述されているように、721から731までが既定のTCPポートです。これに加えてService Pack 3 のLPRでは、2つのレジストリ エントリで1,024 以降のTCPポートを使用するように設定できるようになりました。

http://support.microsoft.com/default.aspx?scid=kb;ja;JP179156

※以下のように要約できると考えられます。

■Microsoft Windows NT 4.0 Service Pack 2では、TCPポート512～1023をLPR接続に使用できるようにしたが、RFC 1179からは外れていた。（文書番号：JP141708）

■Microsoft Windows NT 4.0 Service Pack 3では、RFC 1179で記述されているように、721～731までを既定のTCPポートとするように変更した。（文書番号：JP179156）

■その結果、このサービスではTCPポートのサポートが11個までとなるので、パフォーマンスに限界が生じる。RFC 1122では、各ポートは4分間おかないと再使用できないと規定されているのである。　（文書番号：JP141708）

■Service Pack 3のLPRでは、2つのレジストリ・エントリで1,024以降のTCPポートを使用できるように設定可能とした。　（文書番号:JP179156）

但し、レジストリ操作は自己責任の範疇となる。

## 2.2.1. MS-Windows XP で印刷する際の設定

Windows XP環境では、TCP/IPを利用したネットワーク印刷を利用する方法として2通りあり、「UNIX用印刷サービス」をインストールすることにより利用できる［LPR Port］(Windows NT4.0と同様のLPR)を使用する場合、もう1つは［Standard TCP/IP Port］を使用する場合です。

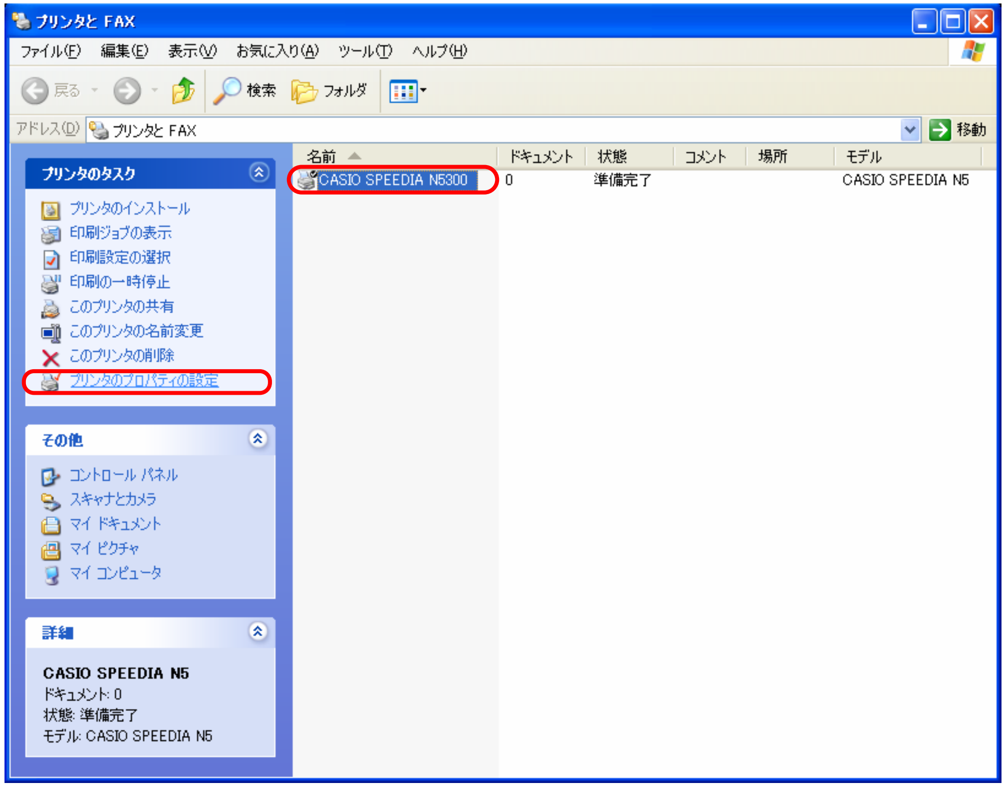
ここでは［Standard TCP/IP Port］を使用してTCP/IPネットワーク印刷を行う手順を、あらかじめ［印刷するポート］として［LPT1:］に設定されているプリンタの印刷ポートをTCP/IP印刷用に設定変更する場合の手順を説明します。

なお、プリンタの追加にて新しいプリンタをインストールする場合も印刷ポートの作成手順は概ね同じです。

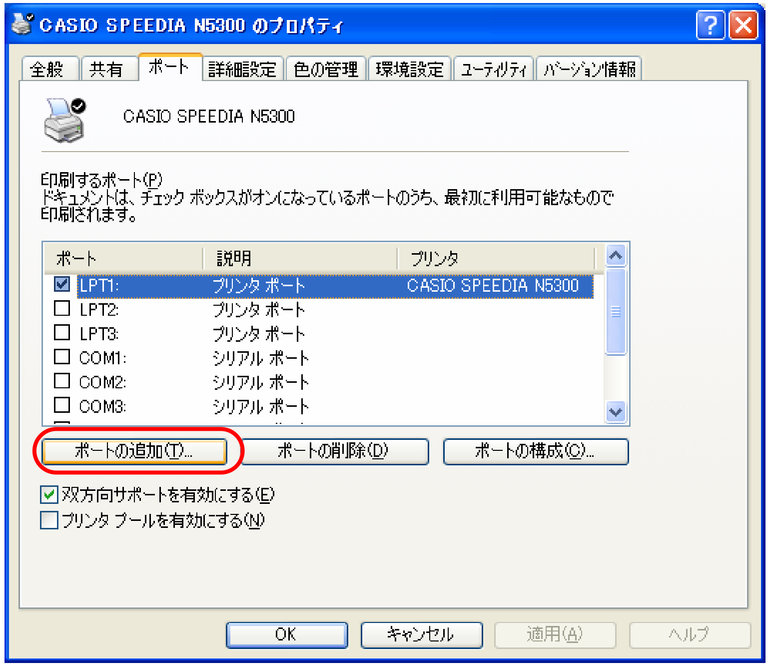
① MS-Windows XPを立ち上げ、ユーザグループ「Administrators」に属するユーザ名でログインします。

② ［スタート］メニューから［プリンタとFAX］を選択し、「プリンタとFAX」フォルダを開きます。

③ TCP/IPネットワーク印刷を行いたいプリンタの「プロパティ」を開きます。



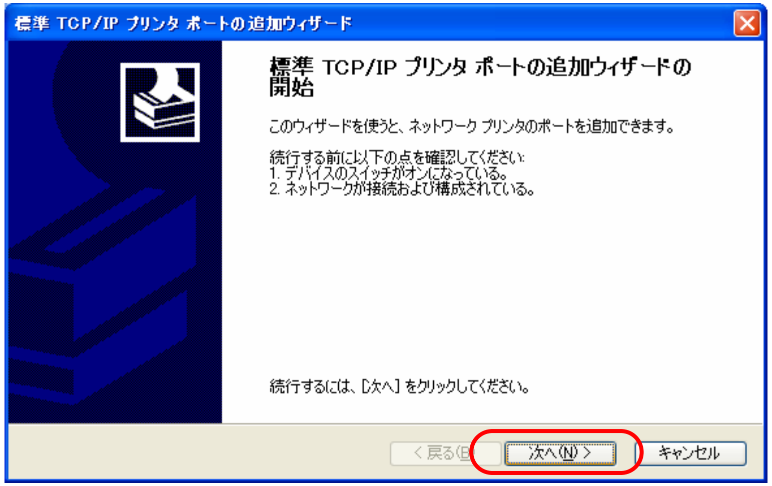
④「プリンタプロパティ」より［ポート］タブをクリックして「ポートタブ」を選択します。続いて［ポートの追加］をクリックし、「ポートの追加」を開始します。




⑤「プリンタポート」画面が表示されますので、「利用可能なポートの種類」から［Standard TCP/IP Port］を選択し、［新しいポート］をクリックします。

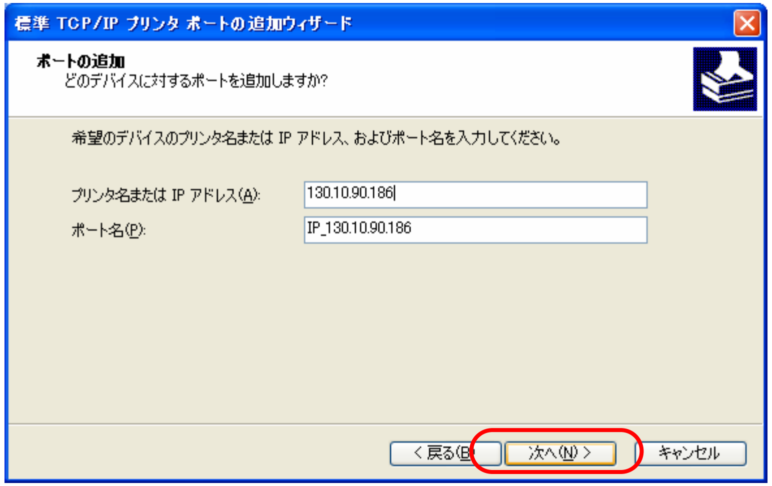


⑥「標準TCP/IPプリンタポートの追加ウィザード」が起動されますので、［次へ］をクリックします。




⑦「ポートの追加」画面が表示されますので、「プリンタ名またはIPアドレス」へIPアドレスを入力し、［次へ］をクリックします。

IPアドレスを入力すると、「ポート名」は自動的に表示されます。



⑧「標準TCP/IPプリンタポートの追加ウィザードの完了」画面が表示されますので、［完了］をクリックします。

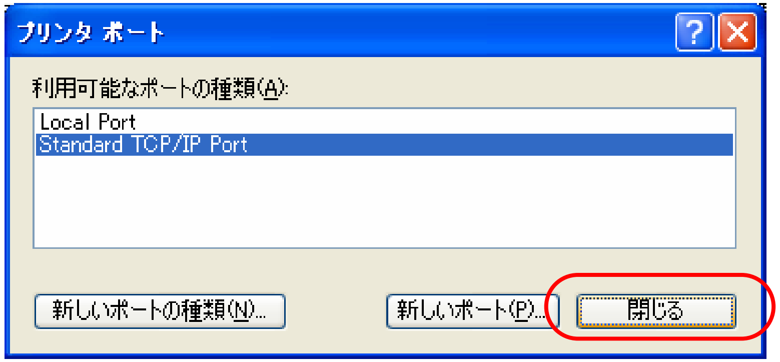
※以下の「ポートの設定」はWindows XPにより自動的に設定されます。
●プロトコル［LPR］の選択。
●LPR設定「キュー名」へ［presto0］*の設定。
●LPR設定［バイトカウントを有効にする］の選択。
なお、本LANボード(CP-NW200T)は、［バイトカウントを有効にする］を選択しなくても正常に動作します。

注)LANボードの設定にて「プリンタ制御ソフトウェアリセット機能」を［使用する(enable)］に設定する場合は、［バイトカウントを有効にする］を選択する必要があります。プリンタ制御ソフトウェアリセット機能を使用しますと、LANボードが「ドキュメントのキャンセル」を検出して自動的にプリンタ制御ソフトウェアのリセットを行います。ただし、同機能は使用可能な環境に制限があります。詳しくは「5.2. LANボードの設定変数一覧」を参照してください。

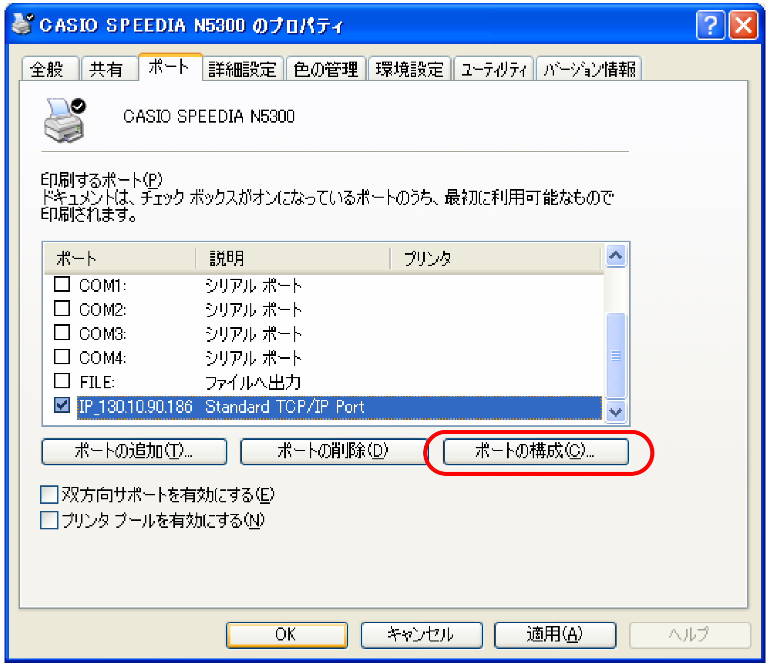
*［presto0］は弊社旧製品との互換用です。将来機能制限が発生する場合がありますので、後述⑪にて［lp0］へ変更します。




⑨「プリンタポート」画面へ戻りますので、［閉じる］をクリックします。

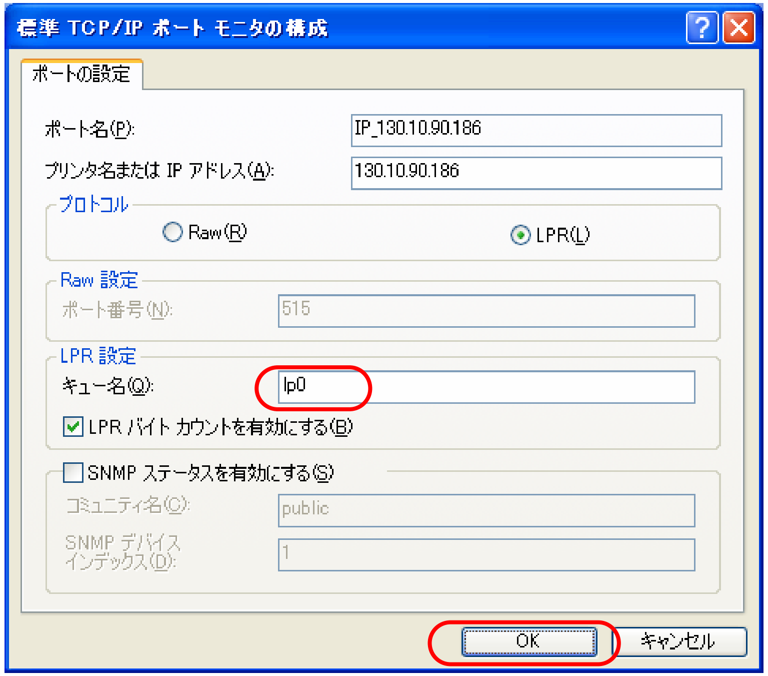


⑩「プリンタプロパティ」画面へ戻りますので、［ポートの構成］をクリックし「標準 TCP/IP ポート モニタの構成」を表示します。



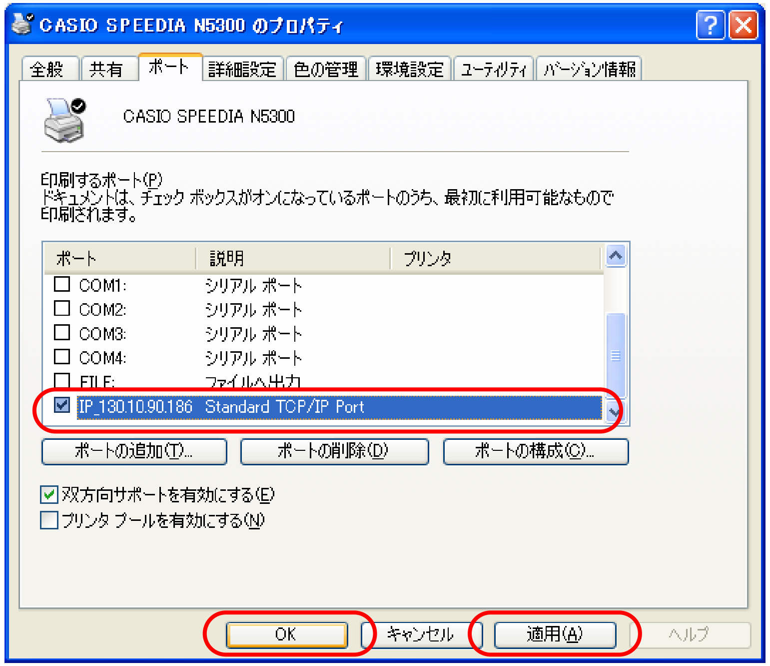

⑪「LPR設定」の［キュー名］欄を「lp0」へ変更し、［OK］をクリックして「標準 TCP/IP ポート モニタの構成」を閉じます。

＊［presto0］は弊社旧製品との互換用です。将来機能制限が発生する場合がありますので、［lp0］へ変更します。



⑫ 設定したポートが登録され選択されている(チェックボックスがオン)ことを確認してください。

その後、［適用］［OK］をクリックし終了します。




※以上で、TCP/IPネットワーク印刷の設定は終了です。　Windows XP 環境からTCP/IPを利用したネットワーク印刷が可能となります。

## 2.2.2. MS-Windows 2000 で印刷する際の設定

Windows 2000環境では、TCP/IPを利用したネットワーク印刷を利用する方法として2通りあり、「UNIX用印刷サービス」をインストールすることにより利用できる［LPR Port］(Windows NT4.0と同様のLPR)を使用する場合、もう1つは［Standard TCP/IP Port］を使用する場合です。

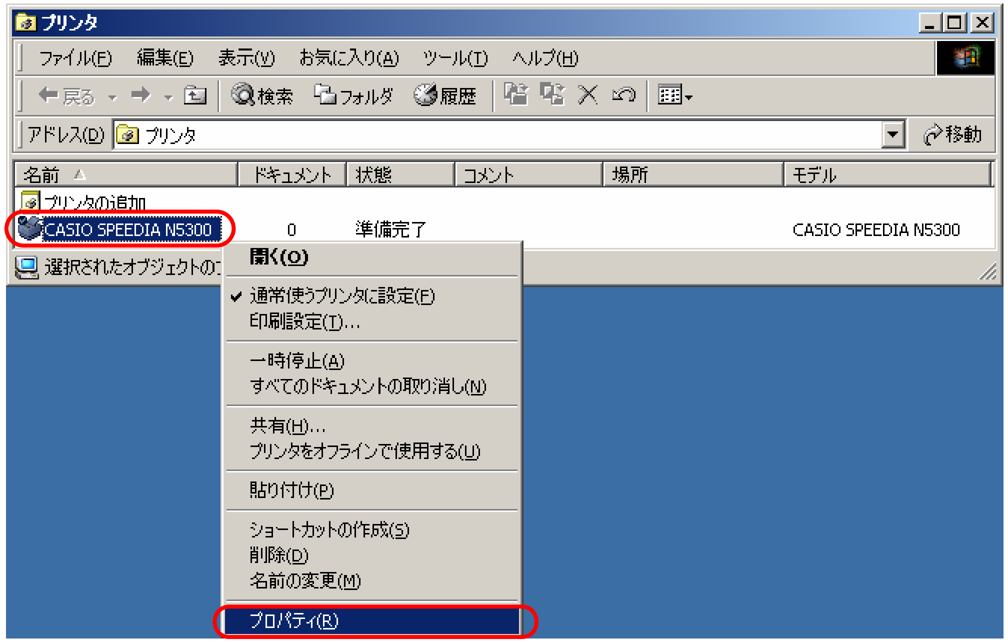
ここでは［Standard TCP/IP Port］を使用してTCP/IPネットワーク印刷を行う手順を、あらかじめ［印刷するポート］として［LPT1:］に設定されているプリンタの印刷ポートをTCP/IP印刷用に設定変更する場合の手順を説明します。

なお、プリンタの追加にて新しいプリンタをインストールする場合も印刷ポートの作成手順は概ね同じです。

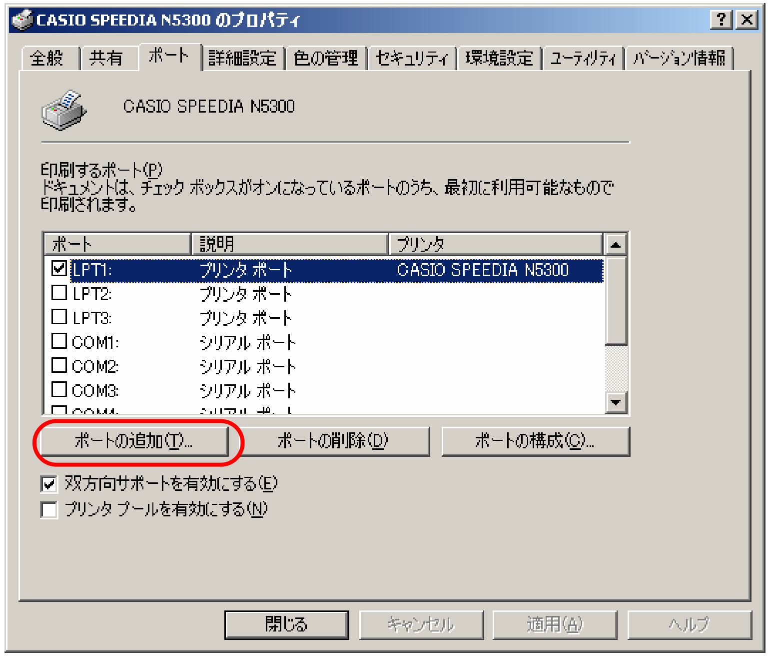
① MS-Windows 2000を立ち上げ、ユーザグループ「Administrators」に属するユーザ名でログインします。

② ［スタート］メニューの［設定］から［プリンタ］を選択し、「プリンタ」フォルダを開きます。

③ TCP/IPネットワーク印刷を行いたいプリンタの「プロパティ」を開きます。



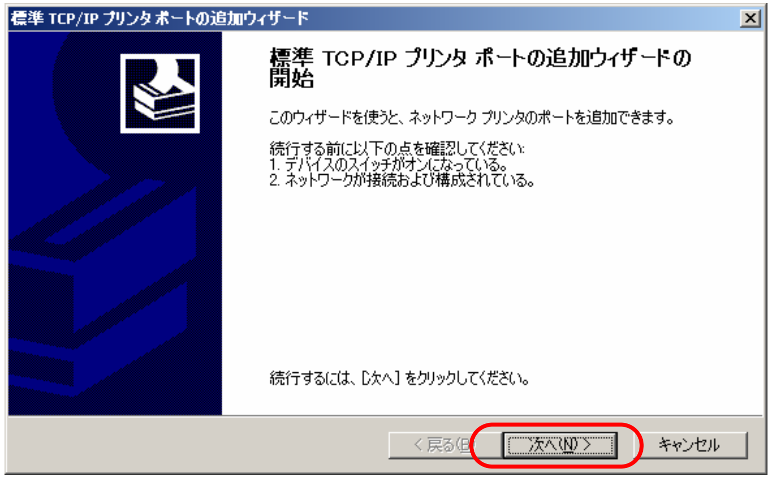
④「プリンタプロパティ」より［ポート］タブをクリックして「ポートタブ」を選択します。続いて［ポートの追加］をクリックし、「ポートの追加」を開始します。




⑤「プリンタポート」画面が表示されますので、「利用可能なポートの種類」から［Standard TCP/IP Port］を選択し、［新しいポート］をクリックします。

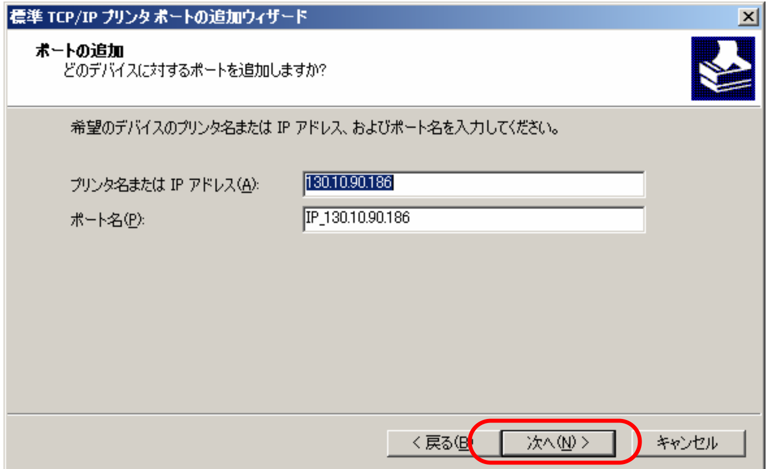


⑥「標準TCP/IPプリンタポートの追加ウィザード」が起動されますので、［次へ］をクリックします。

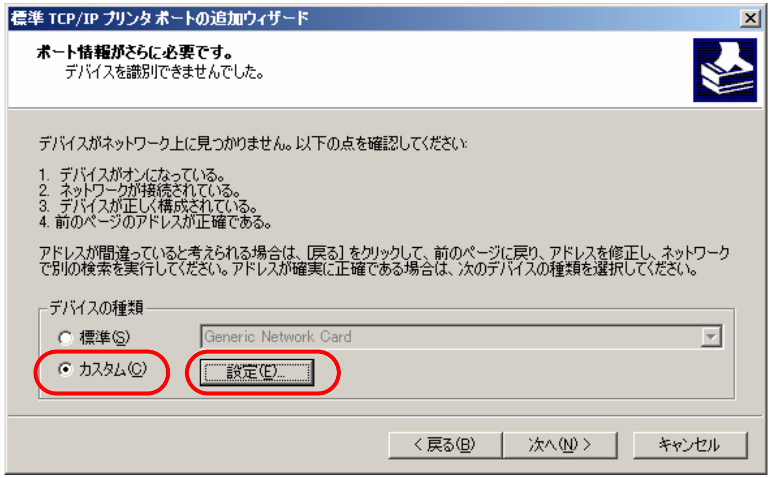



⑦「ポートの追加」画面が表示されますので、「プリンタ名またはIPアドレス」へIPアドレスを入力し、［次へ］をクリックします。

IPアドレスを入力すると、「ポート名」は自動的に表示されます。



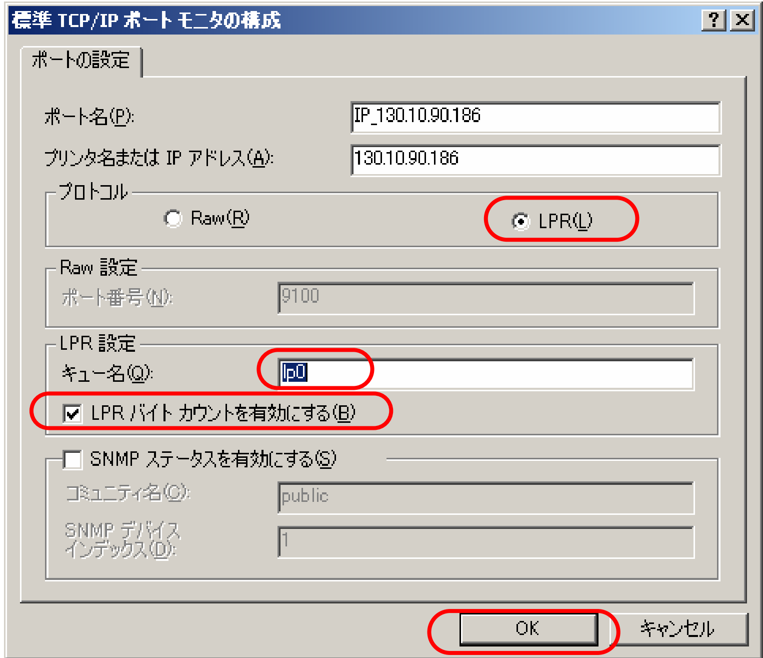
⑧「ポートの情報が更に必要です。」画面が表示されますので、「デバイスの種類」で［カスタム］を選択し［設定］をクリックします。




⑨「標準 TCP/IP ポート モニタの構成」画面の「ポートの設定」タブが表示されますので、以下の設定を行います。

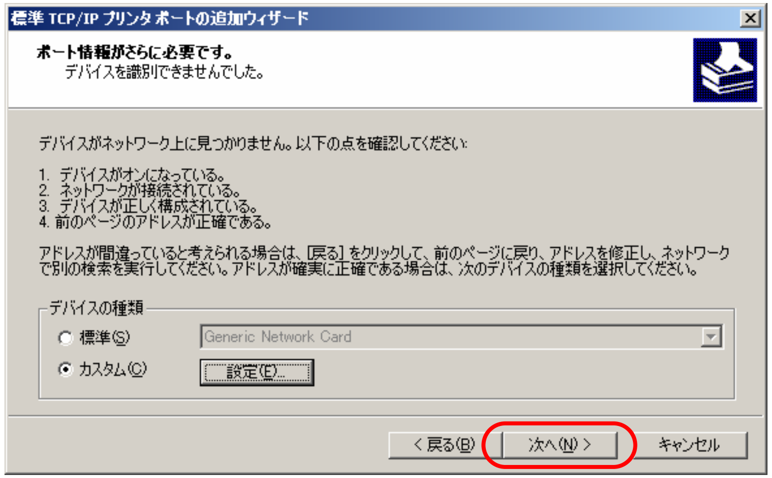
●プロトコル［LPR］の選択。
●LPR設定「キュー名」へ［lp0］の設定。
●LPR設定［バイトカウントを有効にする］の選択。
なお、本LANボード(CP-NW200T)は、［バイトカウントを有効にする］を選択しなくても正常に動作します。

注)LANボードの設定にて「プリンタ制御ソフトウェアリセット機能」を［使用する(enable)］に設定する場合は、［バイトカウントを有効にする］を選択する必要があります。プリンタ制御ソフトウェアリセット機能を使用しますと、LANボードが「ドキュメントのキャンセル」を検出して自動的にプリンタ制御ソフトウェアのリセットを行います。ただし、同機能は使用可能な環境に制限があります。詳しくは「5.2. LANボードの設定変数一覧」を参照してください。

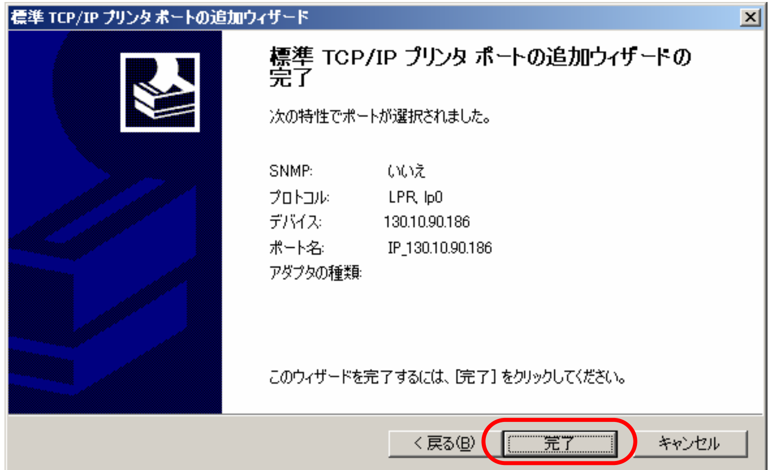



すべての設定が終了したら［OK］をクリックして「標準 TCP/IP ポート モニタの構成」を閉じます。

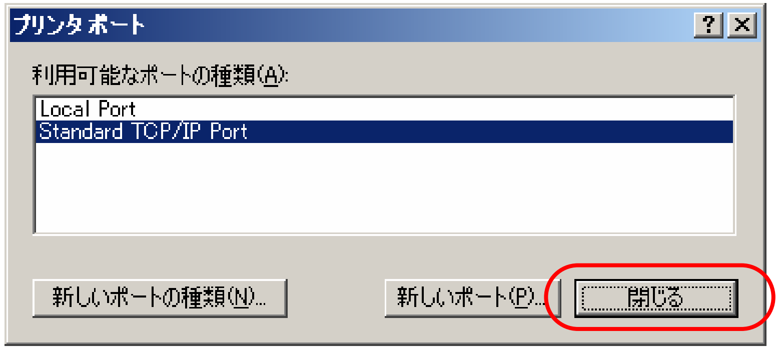
⑩「ポートの情報が更に必要です。」画面に戻りますので、［次へ］をクリックします。




⑪「標準TCP/IPプリンタポートの追加ウィザードの完了」画面が表示されますので、［完了］をクリックします。

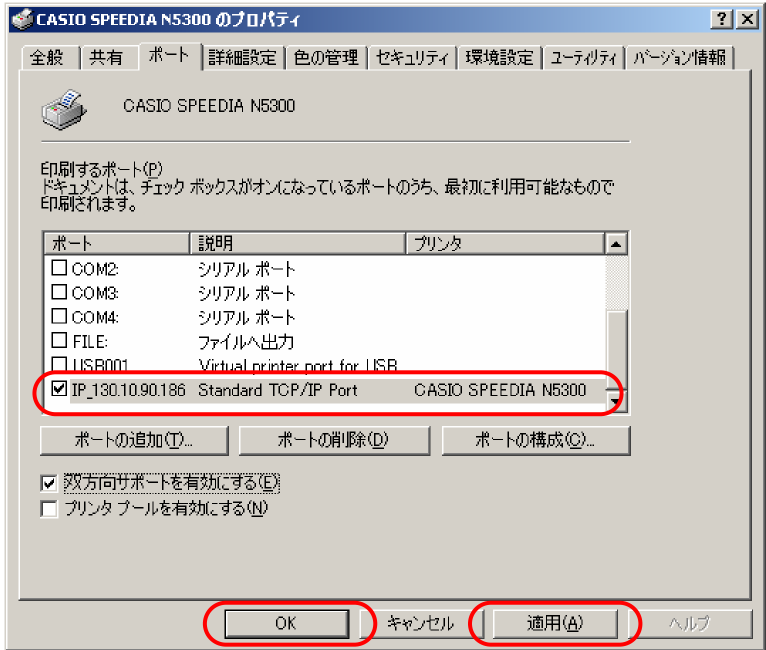


⑫「プリンタポート」画面へ戻りますので、［閉じる］をクリックします。




⑬「プリンタプロパティ」画面へ戻りますので、設定したポートが登録され選択されている(チェックボックスがオン)ことを確認してください。

その後、［適用］［OK］をクリックし終了します。




※以上で、TCP/IPネットワーク印刷の設定は終了です。　Windows 2000 環境からTCP/IPを利用したネットワーク印刷が可能となります。

## ２.２.３. MS-Windows NT 4.0 で印刷する際の設定

Windows NT 4.0環境では、「Microsoft TCP/IP印刷」を利用することにより、TCP/IP接続されたプリンタに対しリモート印刷を行うことができます。

ここでは「Microsoft TCP/IP印刷」をインストールすることにより利用できる「LPR Port」を使用してTCP/IPネットワーク印刷を行う手順を、あらかじめ［印刷するポート］として［LPT1:］に設定されているプリンタの印刷ポートをTCP/IP印刷用に設定変更する場合の手順を説明します。

なお、プリンタの追加にて新しいプリンタをインストールする場合も印刷ポートの作成手順は概ね同じです。

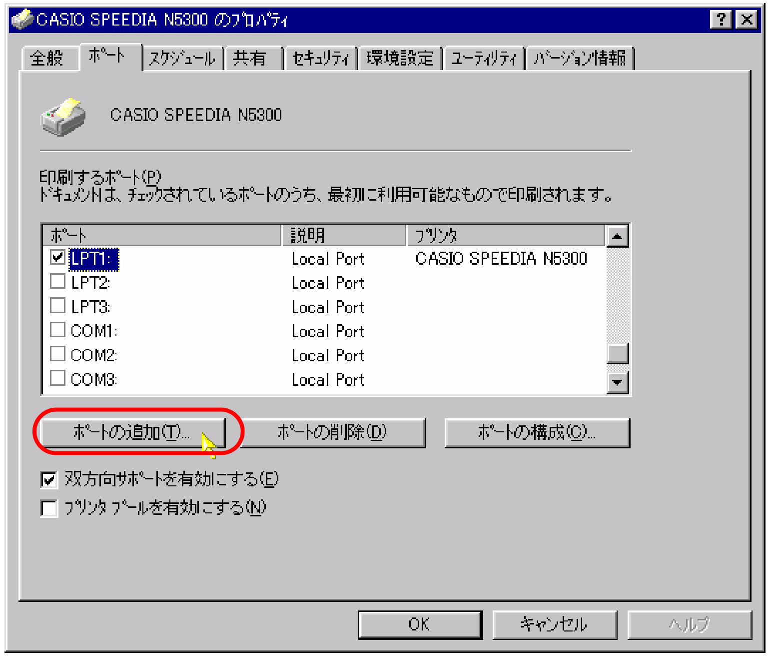
① MS-Windows NT 4.0を立ち上げ、ユーザグループ「Administrators」に属するユーザ名でログインします。

② ［スタート］メニューの［設定］から［プリンタ］を選択し、「プリンタ」フォルダを開きます。

③ TCP/IPネットワーク印刷を行いたいプリンタの「プロパティ」を開きます。



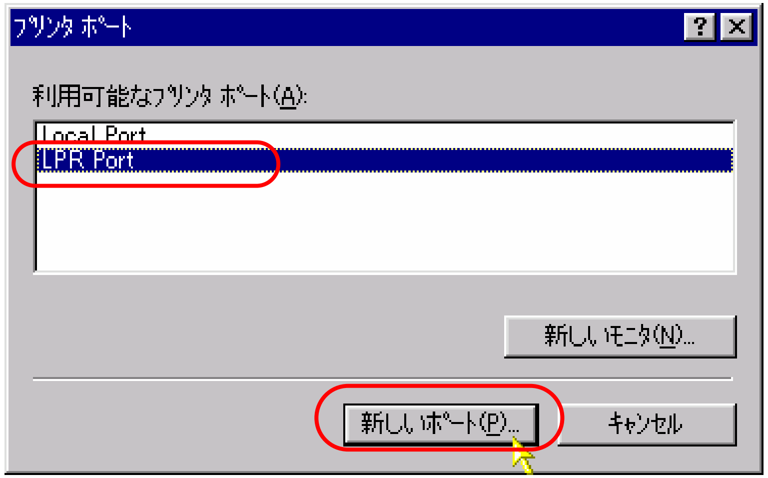
④「プリンタプロパティ」より［ポート］タブをクリックして「ポートタブ」を選択します。続いて［ポートの追加］をクリックし、「ポートの追加」を開始します。




⑤「プリンタポート」画面が表示されますので、「利用可能なプリンタ ポート」から［LPR Port］を選択し、［新しいポート］をクリックします。

※［LPR Port］は「Microsoft TCP/IP印刷」をインストールしていないと表示されません。
「利用可能なプリンタポート」欄に［LPR Port］が表示されていない場合は、「Microsoft TCP/IP印刷」をインストールしてください。

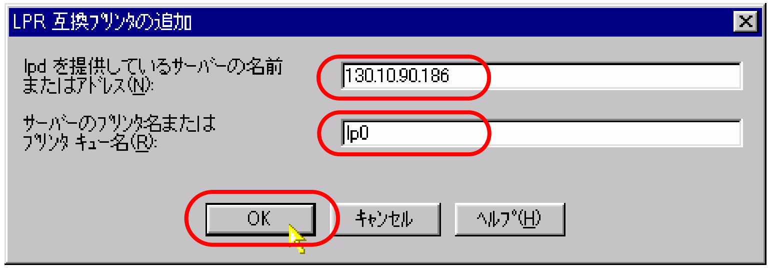
詳しくは、Windows NT 4.0 のオンラインヘルプをお読みください。



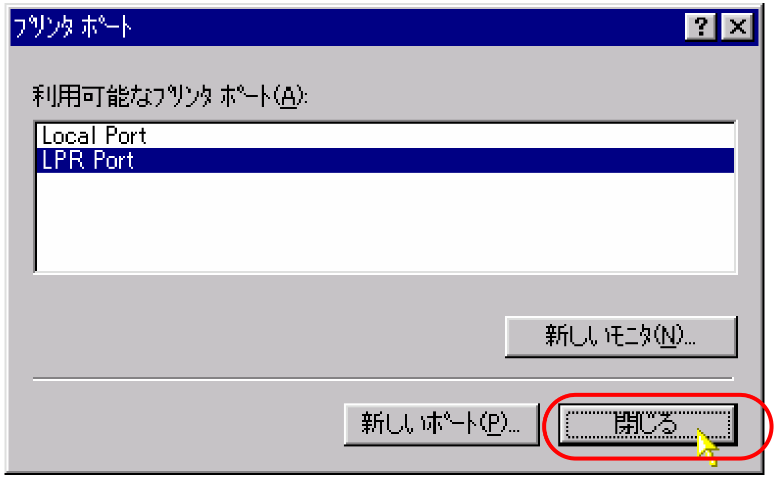
⑥「LPR互換プリンタの追加」画面が表示されますので、「lpdを提供しているサーバの名前またはアドレス」へIPアドレスを入力します。

「サーバのプリンタ名またはプリンタキュー名」には“lp0”と入力します。（“lp0”は必ず小文字で入力してください。）

両方の入力が終了したら［OK］をクリックします。

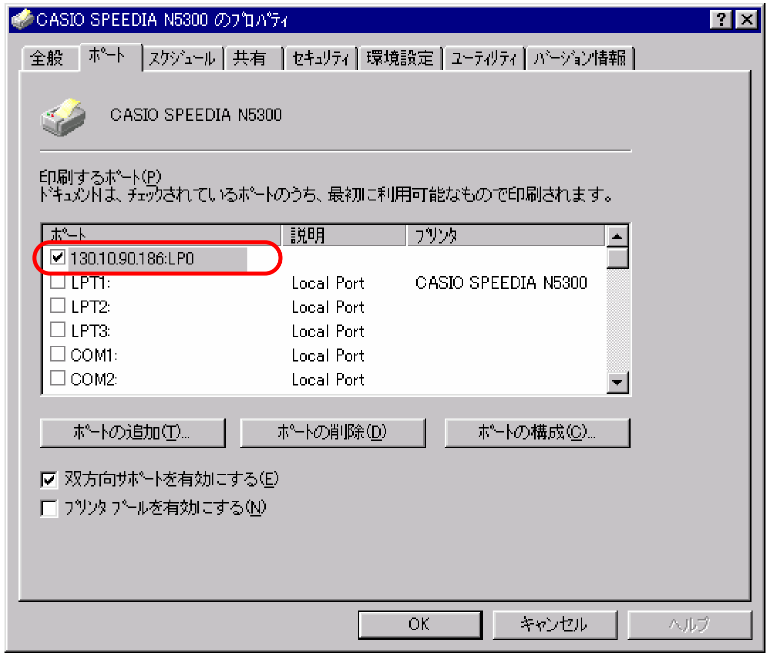



⑦「プリンタポート」画面へ戻りますので、［閉じる］をクリックします。



⑧「プリンタプロパティ」画面へ戻りますので、設定したポートが登録され選択されている(チェックボックスがオン)ことを確認してください。

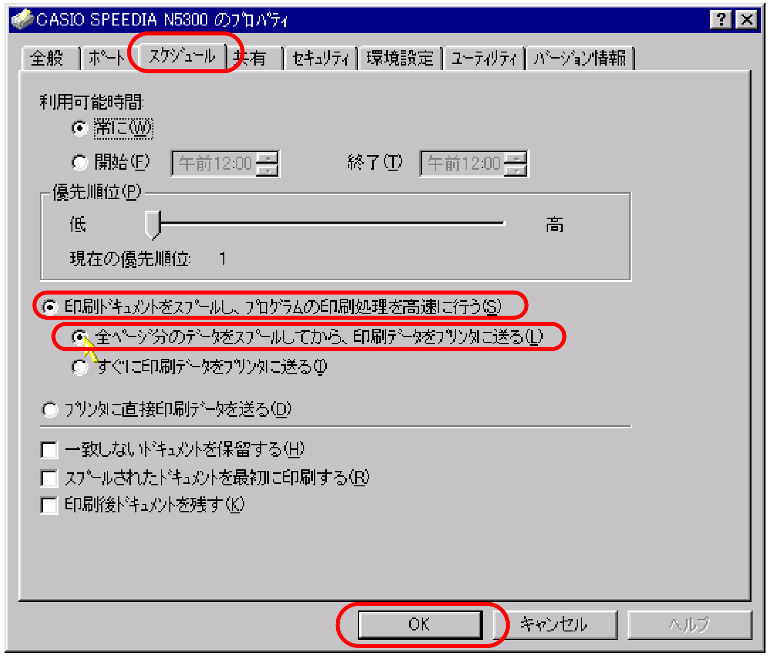
※追加されたポートが「***.***.***.***:LPO」となっていることを確認してください。
なお、"lpO"は小文字で入力しても大文字で表示されます(小文字で設定されています)ので、ご注意ください。




⑨「スケジュール」タブをクリックして「スケジュール」を選択します。

【重要】
印刷データをプリンタへ確実に送信するために、［印刷ドキュメントをスプールし、プログラムの印刷処理を高速に行う］をチェックし、更に［全ページ分のデータをスプールしてから、印刷データをプリンタに送る］をチェックします。

その後、［OK］をクリックし終了します。




※以上で、TCP/IPネットワーク印刷の設定は終了です。
Windows NT 4.0 環境からTCP/IPを利用したネットワーク印刷が可能となります。

## ２.３. CP-LPRでのご利用について

★「CASIO スピーディアマネージャ for Network」のご紹介。★

LANボードに付属のCD-ROMには、Microsoft Windows 95 / 98 / Me ／ Microsoft Windows NT 4.0 ／ Microsoft Windows 2000 ／ Microsoft Windows XP 環境にてより印刷を快適に行うことができる「CASIO スピーディアマネージャ for Network」を収納しております。

「CASIO スピーディアマネージャ for Network」には

- LPRプロトコルを使用して、TCP/IP接続されたプリンタに対しリモート印刷が行えます。
- 印刷の開始から印刷の完了まで、印刷ジョブの状態が詳しく表示されます。
- プリンタの状態と印刷ジョブの状態が、同じ画面で確認できます。
- その他、プリンタ用の各ユーティリティおよびLANボード用の各ユーティリティ*と連携して、CASIO製ページプリンタの統合管理が行えます。 （*本製品(CP-NW200T)ではLANボードのWebページとの連携のみお使いいただけます。）

といった特長があります。

弊社としては、Microsoft Windows 95 / 98 / Me ／ Microsoft Windows NT 4.0 ／ Microsoft Windows 2000 ／ Microsoft Windows XP 環境にてTCP/IPを利用したネットワーク印刷を利用する場合、「CASIO スピーディアマネージャ for Network」をご利用されることを推奨いたします。

「CASIO スピーディアマネージャ for Network」の詳細は、LANボード付属のCD-ROMに収納されている取扱説明書をお読みください。

Microsoft Windows 95 / 98 / Me では、CP-LPRによりTCP/IP接続されたプリンタに対し、リモート印刷を行うことができます。

CP―LPR環境で印刷するにはローカルプリンタとしてインストールする必要があります。

- 最初にCP―LPRのインストールを行います。（『２.３.１. インストール』）
- 次にWindows上にプリンタを追加します。既に存在するプリンタのポートを変更する場合は『２.３.２. CP-LPRを使用して印刷を行うプリンタの追加』は省略できます。 但し、「スプールの設定」（有効）の設定は必要です。
- さらにプリンタポートの設定を行います。（『２.３.３. プリンタポートの追加と設定』『２.３.４. プリンタの検索』）

- また、CP－LPRを複数プリンタに設定する場合は、2台目以降のCP－LPRのインストールは省略できます。設定は各プリンタ単位に必要です。

※注）MS-Windows 95 / 98 / Me でCP－LPRにて印刷を行うには、MS-Windowsのネットワークに「Microsoft TCP/IP」をインストールする必要があります。　詳しくは、MS-Windows 95 / 98 / Me のオンラインヘルプをお読みください。

## 2.3.1．インストール

［1］ CP-LPRをCD-ROMからインストールする場合。

① CP－LPRをCD-ROMからインストールするには、LANボード付属のCD-ROMのセットアッププログラム(STARTUP.EXE) から行います。
　コンピュータにCD-ROMをセットすると、自動的に「スタートアップメニュー」が表示されます。(しばらく待っても自動的に「スタートアップメニュー」が表示されないときは、エクスプローラなどからCD-ROMの“STARTUP.EXE”を実行してください。)

②「セットアップタイプ」の選択画面が表示されます。
　［カスタム］インストールを選択し［次へ(N)>］をクリックします。

③「コンポーネントの選択」画面が表示されます。
　［CP－LPRソフト］を選択(チェックボックスをオン) し、［次へ(N)>］をクリックします。　この時、すでにインストール済みの他のコンポーネントは選択しないでください。

④「インストール先の選択」画面が表示されます。
　インストール先ディレクトリを確認後、［次へ(N)>］をクリックします。

⑤「プログラムフォルダの選択」画面が表示されます。
　プログラムフォルダを確認後、［次へ(N)>］をクリックします。

⑥「使用許諾契約」画面が表示されます。
　良くお読みいただき、使用許諾契約に同意される場合は［はい(Y)］をクリックしてください。インストールを中止する場合は［いいえ(N)>］をクリックしてください。

⑦ プログラムのインストールが開始されます。

⑧ 「Readmeファイルの表示」確認画面が表示されます。
Readmeファイルを表示する場合には［はい(Y)］をクリックしてください。

Readmeファイルは必ずご覧ください。　本ユーザーズマニュアルに記述されていない最新情報が記載されています。

⑨ 「CP－LPRの検索」確認画面が表示されます。
「CP－LPRの検索」を実行する場合は［はい(Y)］をクリックしてください。

⑩ 以上でCP－LPRのインストールは終了しました。

［2］ CP－LPRをフロッピーディスクからインストールする場合。

① CP－LPRをフロッピーディスクからインストールするには、予めLANボード付属のCD-ROMからCP－LPRの「FD作成」を行ってください。FD作成手順については「スタートアップメニュー」の［FD作成］をクリックし、画面の指示に従って操作してください。
コンピュータにCD-ROMをセットすると、自動的に「スタートアップメニュー」が表示されます。(しばらく待っても自動的に「スタートアップメニュー」が表示されないときは、エクスプローラなどからCD-ROMの“STARTUP.EXE”を実行してください。)

② 「FD作成」にて作成した「CP－LPRディスク1」をフロッピードライブへ挿入します。

③ ［スタート］をクリックし、［ファイル名を指定して実行(R)］をクリックします。

④ 「ファイル名を指定して実行」画面にて「A:¥SETUP.EXE」と入力し、［OK］をクリックするとインストールプログラムが起動します。
※ここではフロッピードライブが“A”ドライブでの説明です。ドライブ番号は、ご利用になるコンピュータによって異なることがあります。

⑤ 「セットアップ」画面が表示されます。
［次へ(N)>］をクリックします。

⑥ 「使用許諾契約」画面が表示されます。

良くお読みいただき、使用許諾契約に同意される場合は［はい(Y)］をクリックしてください。インストールを中止する場合は［いいえ(N)>］をクリックしてください。

⑦「インストール先の選択」画面が表示されます。
インストール先ディレクトリを確認後、［次へ(N)>］をクリックします。

⑧「プログラムフォルダの選択」画面が表示されます。
プログラムフォルダを確認後、［次へ(N)>］をクリックします。

⑨ プログラムのインストールが開始されます。

⑩「Readmeファイルの表示」確認画面が表示されます。
Readmeファイルを表示する場合には［はい(Y)］をクリックしてください。

Readmeファイルは必ずご覧ください。　本ユーザーズマニュアルに記述されていない最新情報が記載されています。

⑪「CP−LPRの検索」確認画面が表示されます。
「CP−LPRの検索」を実行する場合は［はい(Y)］をクリックしてください。

⑫ 以上でCP−LPRのインストールは終了しました。

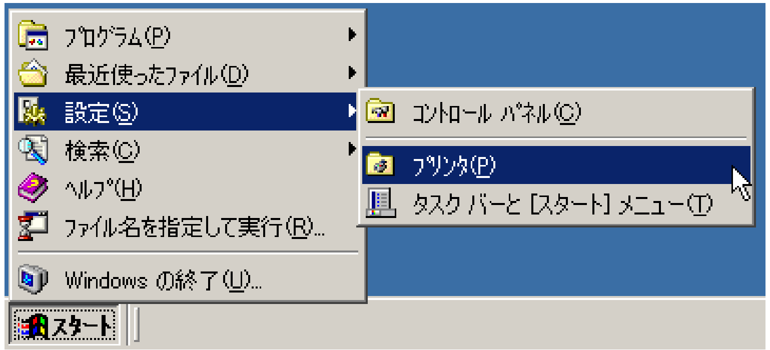
## 2.3.2. CP-LPRを使用して印刷を行うプリンタの追加

Microsoft-Windows 95 / 98 / Me にてCP-LPRを使用して印刷を行うためには、「プリンタポートの追加と設定」を行う必要があります。

ここでは、「プリンタの追加」にて新しいプリンタをインストールし、その後「印刷先のポート」としてCP-LPRのプリンタポートを追加して「プリンタポートの追加と設定」を行う場合の手順を、MS-Windows Me を例に説明します。

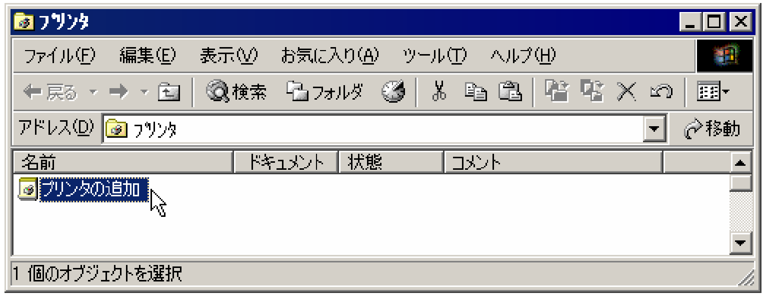
なお、あらかじめ［印刷先のポート］としてCP-LPR以外のプリンタポートを使用する設定になっているプリンタの印刷ポートをCP-LPRを使用する設定へ変更を行う場合は、「プリンタの追加」の手順を省略し『2.3.3. プリンタポートの追加と設定』以降の手順を行ってください。

① ［スタート］メニューの［設定］から［プリンタ］を選択し、「プリンタ」フォルダを開きます。



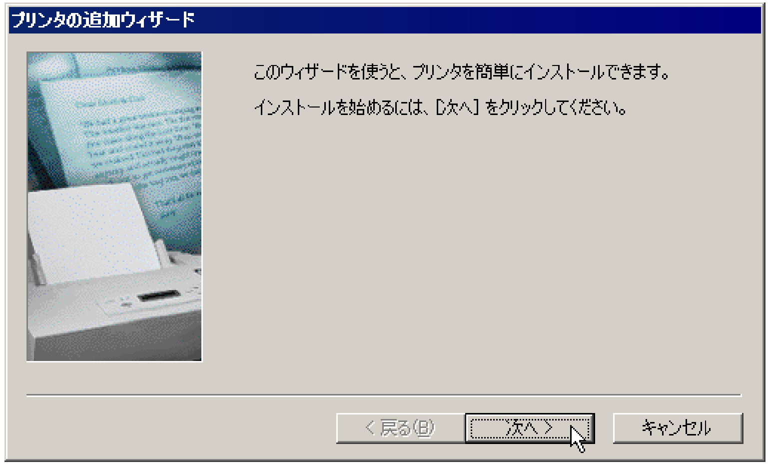

② プリンタの追加を行います。

［プリンタの追加］をダブルクリックし「プリンタの追加ウィザード」を起動します。



③「プリンタ追加ウィザード」開始。

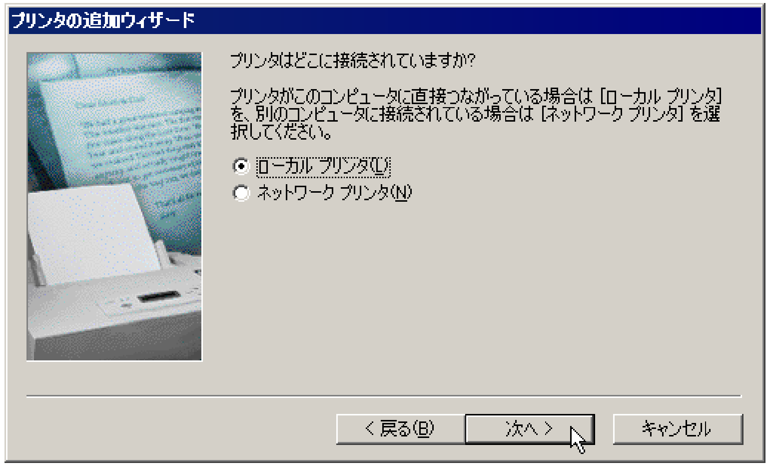
［次へ］をクリックします。




④プリンタの接続形態の選択。

［ローカルプリンタ(L)］を選択して、［次へ］をクリックします。

※CP-LPRの印刷ポートはローカルポートとして作成されます。



⑤ プリンタドライバを選択します。

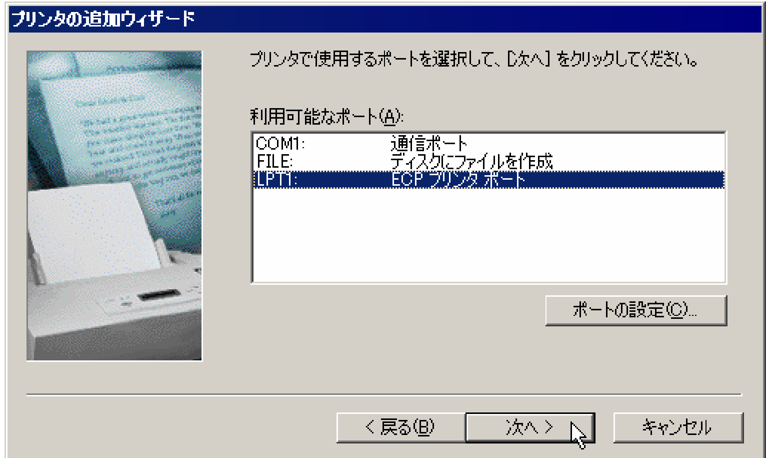
ご利用のプリンタ機種に対応するプリンタドライバを選択(クリック)し、プリンタ本体に同梱されているご利用のプリンタ機種に対応するプリンタドライバのディスクメディアをセットし［ディスク使用(H)］をクリックします。

※最新のプリンタドライバは弊社インターネットインフォメーション（http://www.casio.co.jp/ppr/）　より入手できます。

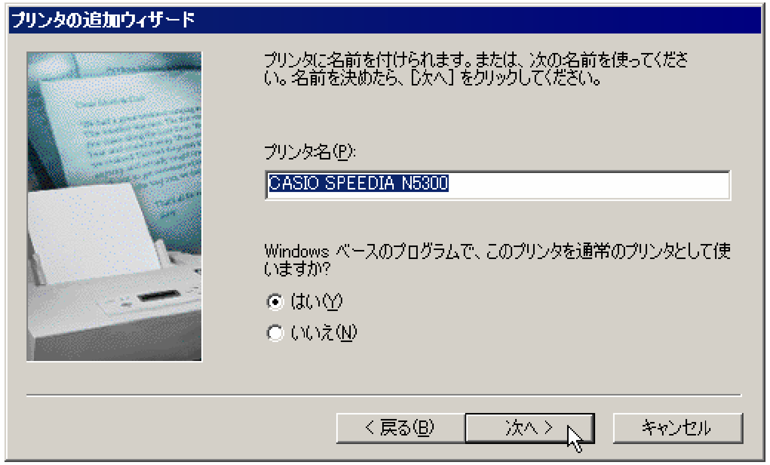



⑥「利用可能なポート」は暫定的に［LPT1:］を選択します。

選択後、［次へ］をクリックします。

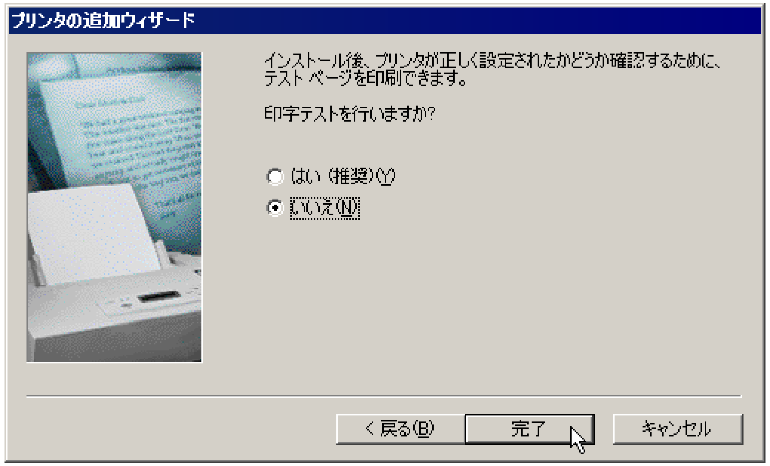


⑦ 必要に応じて「プリンタ名(P)」「通常使うプリンタ」を設定し、［次へ］をクリックします。

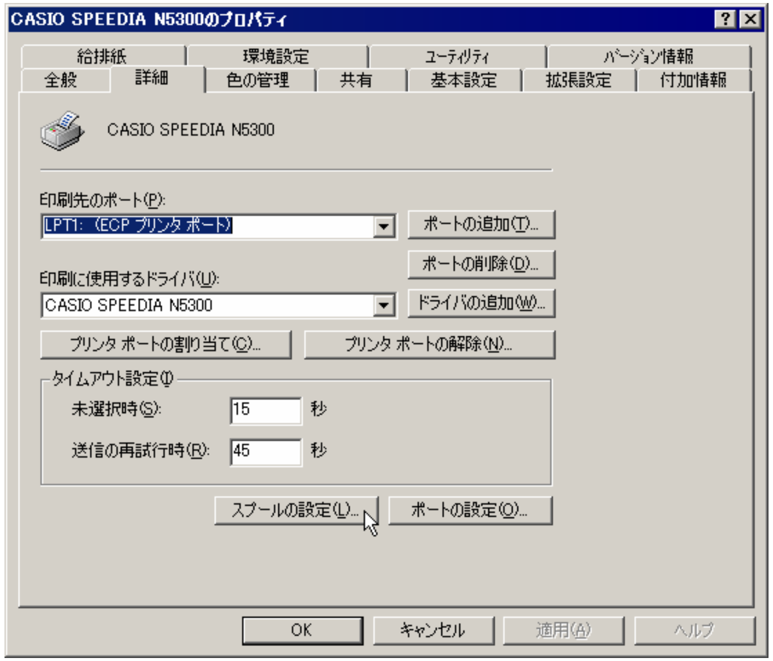



⑧「プリンタ追加ウィザード」を終了させます。

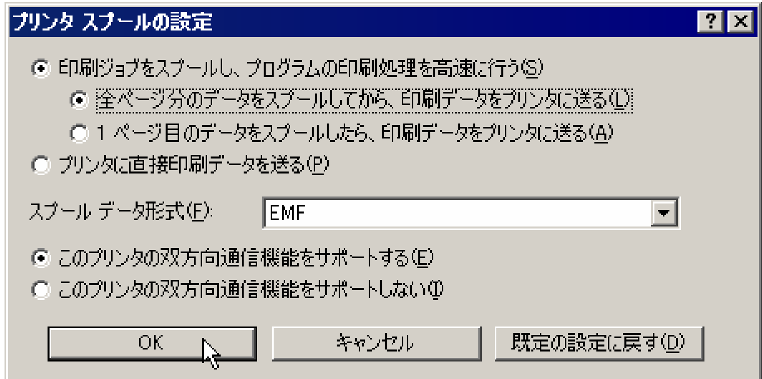
「印字テスト」はまだ行えませんので、［いいえ］を選択してから［完了］をクリックし、「プリンタ追加ウィザード」を終了させます。



⑨「プリンタフォルダ」から該当するプリンタのプロパティを表示し、［スプールの設定］をクリックします。




⑩［印刷ジョブをスプールし、プログラムの処理を高速に行う］を選択し［全ページ分のデータをスプールしてから､印刷データをプリンタに送る]を選択します。




選択後［OK］をクリックし、「プリンタスプールの設定」を閉じます。

## 2.3.3. プリンタポートの追加と設定

Microsoft-Windows 95 / 98 / Me にてCP-LPRを使用して印刷を行うためには、「プリンタポートの追加と設定」を行う必要があります。

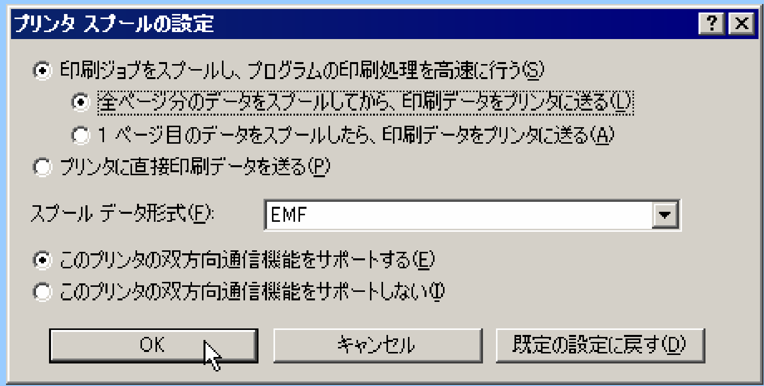
ここでは、あらかじめ［印刷先のポート］としてCP-LPR以外のプリンタポートを使用する設定になっているプリンタの印刷ポートをCP-LPRを使用する設定へ変更を行う場合の手順を、MS-Windows Me を例に説明します。

『2.3.2. CP-LPRを使用して印刷を行うプリンタの追加』の手順を省略した場合は、以下の操作を必ず行ってください。

プリンタフォルダから該当するプリンタのプロパティを表示し、［スプールの設定］をクリックします。

「プリンタ スプールの設定」画面が表示されますので、［印刷ジョブをスプールし、プログラムの処理を高速に行う］を選択し［全ページ分のデータをスプールしてから、印刷データをプリンタに送る］を選択します。

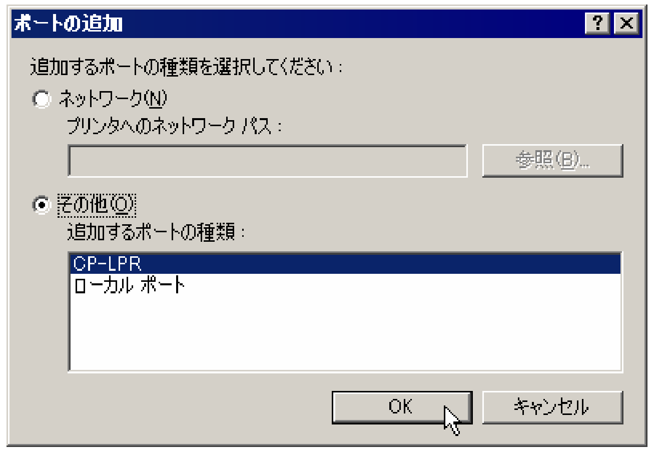
設定を行った後、［OK］をクリックして「プリンタ スプールの設定」を終了します。



① 「プリンタ」フォルダから該当するプリンタの「プロパティ」画面を表示し、［ポートの追加］をクリックします。

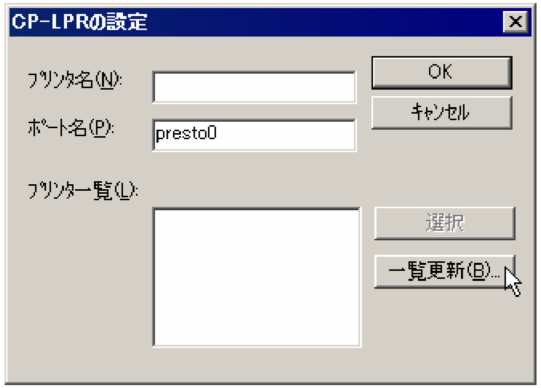



② 「ポートの追加」画面で「その他」を選択し、更に［CP−LPR］を選択し［OK］をクリックします。



③「CP−LPRの設定」画面で「プリンタ名」を「プリンター覧」で選択し、
［選択］をクリックします。

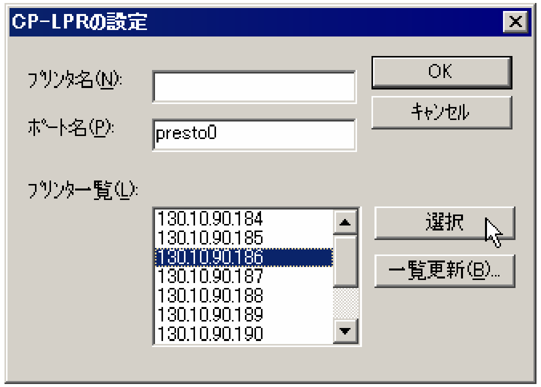
プリンタ名は直接「IPアドレス」或いは「ホスト名」を入力することもできます。




「プリンター覧」にプリンタ名が表示されない場合は［一覧更新］をクリックし、

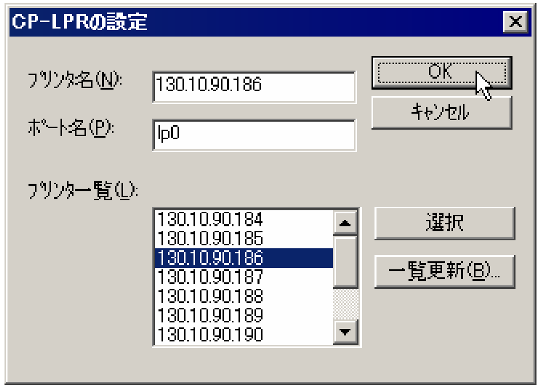
「CP−LPRの検索」を呼び出して表示更新できます。

プリンタの検索については『2.3.4. プリンタの検索』を参照してください。




④ポート名へ「lp0」を設定します。

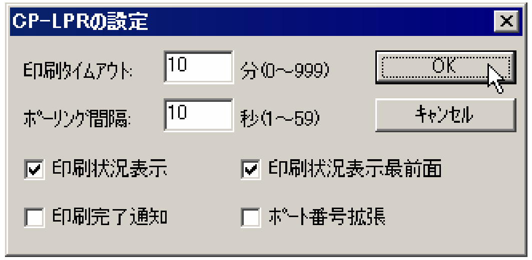
デフォルト状態では「presto0」が表示されていますが、「presto0」は弊社旧製品との互換用です。将来機能制限が発生する場合がありますので、「lp0」へ変更して設定してください。




すべての設定が終了したら［OK］をクリックして「CP-LPRの設定」を閉じます。

⑤ プリンタの「プロパティ」で［ポートの設定］をクリックします。






⑥ 必要な項目を設定します。

通常は特に変更する必要はありません。

設定変更を行った場合、［OK］をクリックして「CP-LPRの設定」を終了します。

※各設定項目は、以下のような機能です。

［印刷タイムアウト］････ 印刷データの転送が本項目で指定された時間停止するとエラーを表示します。
“0分”を指定した場合はエラーになりません。

［ポーリング間隔］･････ 印刷データの転送が本項目で指定された時間停止すると状態表示をします。

［印刷状況表示］････････ 印刷時の状況を表示します。

［印刷状況表示最前面］･･ 印刷状況表示を最前面に表示します。

［印刷完了通知］････････ 印刷データの送信完了を表示します。確認操作がされるまで停止しますので注意が必要です。

［ポート番号拡張］･････ 印刷時に使用するTCP/IPのポート番号を変更します。
非選択時：RFC1179に準拠したポート721～731を使用します。
選択時　：使用可能な空いているポートを使用します。
※非選択で正常に印刷が行えない場合や、多くのドキュメントを印刷する際に印刷間隔が空いてプリンタエラーになる場合などに、選択をお試しください。

［印刷状況表示］と［印刷完了通知］はどちらも選択しない、どちらか1つを選択、両方を選択の組合せが可能です。

## 2.3.4. プリンタの検索

「CP-LPRの検索」にてプリンタの検索を行うと「CP-LPRの設定」画面にて表示されるプリンタ一覧を更新することができます。新たにプリンタをネットワーク環境へ接続した場合などに、ご活用ください。

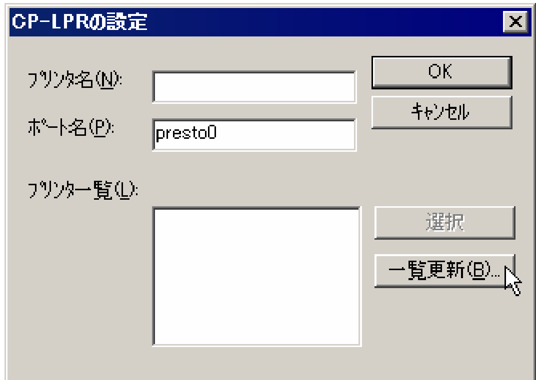
プリンタの検索は［スタート］メニューより「CP-LPRの検索」を起動することにより、単独で行うことができます。　通常は『2.3.3. プリンタポートの追加と設定』手順で行います。　また、CP-LPRのインストール時にも検索が行えます。

ここでは、「CP-LPRの検索」の操作手順を、MS-Windows Me を例に説明します。

①「CP-LPRの検索」を単独で起動する場合、［スタート］メニューより
→　「プログラム」　→　「CASIO SPEEDIA」　に登録された
「CP―LPR 検索」をクリックします。




「CP-LPRの設定」にて［一覧更新］をクリックして起動することもできます。

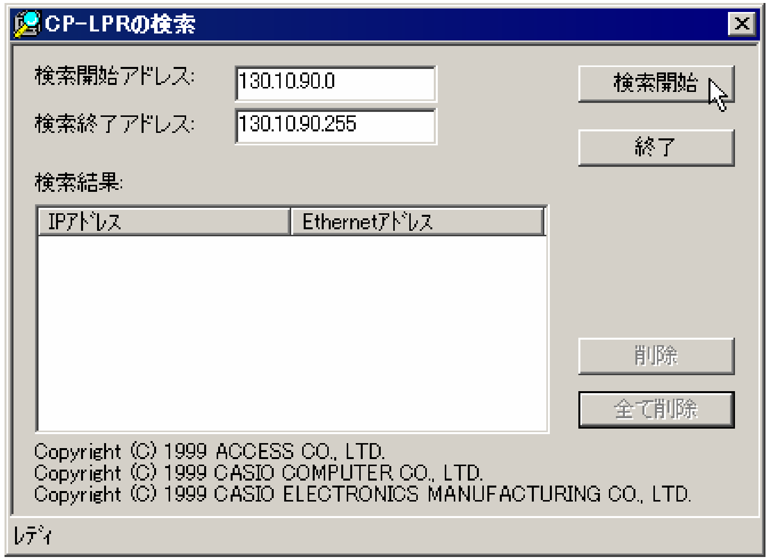


② 「検索結果」には過去に検索された内容が表示されます。必要なプリンタが見つからない場合は［検索開始］をクリックして検索してください。

検索範囲は「検索開始アドレス」から「検索終了アドレス」です。
検索アドレスは操作しているコンピュータと同一のセグメントに限られます。

例：コンピュータのIPアドレスが「130.10.90.xxx」の場合は
「130.10.90.0～255」です。
なお、IPアドレスのクラス指定やルータの設定によって異なる場合があります。

検索中は［検索開始］が［検索中断］に変わります。［検索中断］をクリックすると検索が中断され、それまでに発見されたプリンタが追加表示されます。



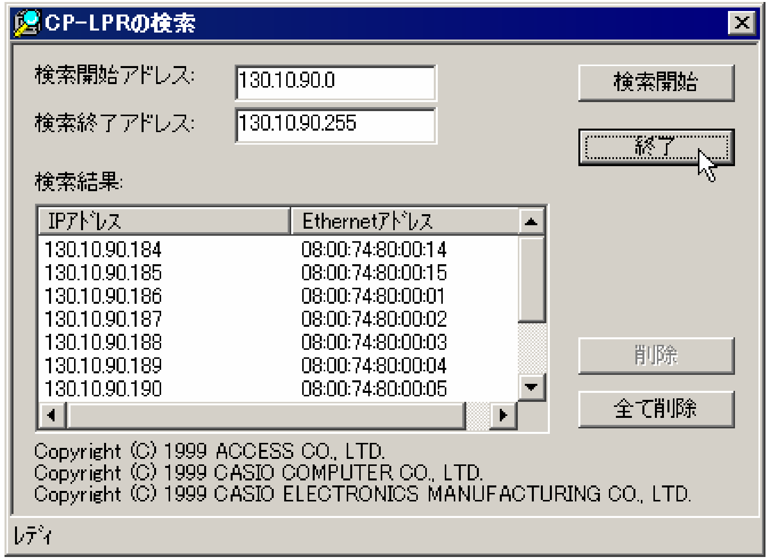

③ 検索が終了すると「検索完了」が表示され、新たに発見したプリンタの台数が表示されます。

※プリンタの電源が入っていない、などの場合は見つかりません。

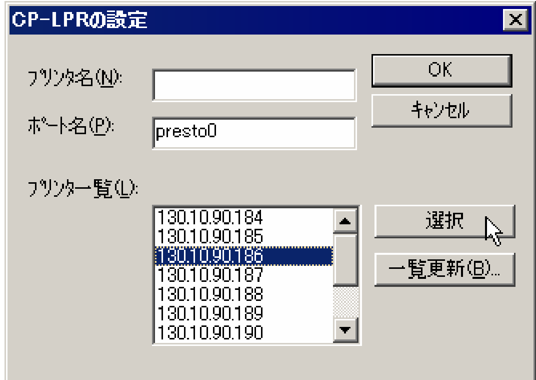
［OK］をクリックすると「CP-LPRの検索」画面へ戻り、プリンタ一覧へ検索結果が反映されます。



④ ［終了］をクリックして「CP-LPRの検索」を終了します。




「CP－LPRの設定」から起動された場合は、画面に結果が反映されます。

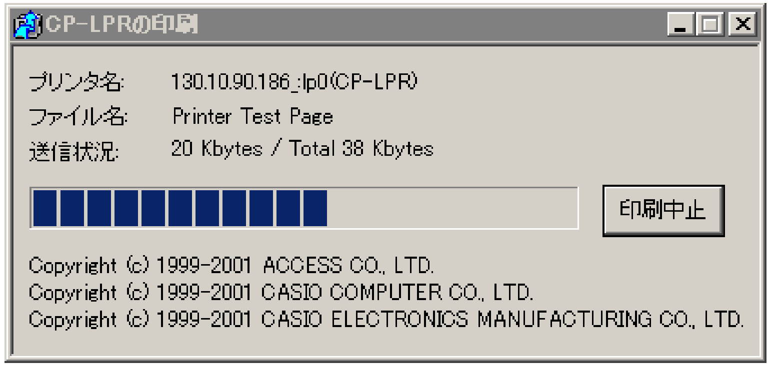



※以上で、MS-Windows 95 / 98 / Me にて印刷する際の設定は終了です。

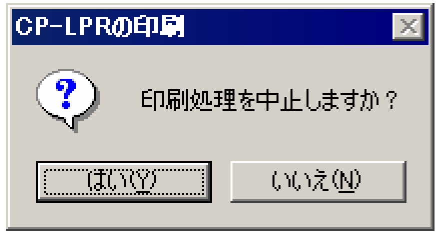
## 2.3.5. CP-LPRの印刷

プリンタへ印刷を行うと『CP-LPRの印刷』が起動されて印刷が行えます。

① 「印刷状況表示」を有効にしている場合（デフォルト）は、印刷状況が表示されます。




② ［印刷中止］をクリックすると印刷の中止が出来ます。



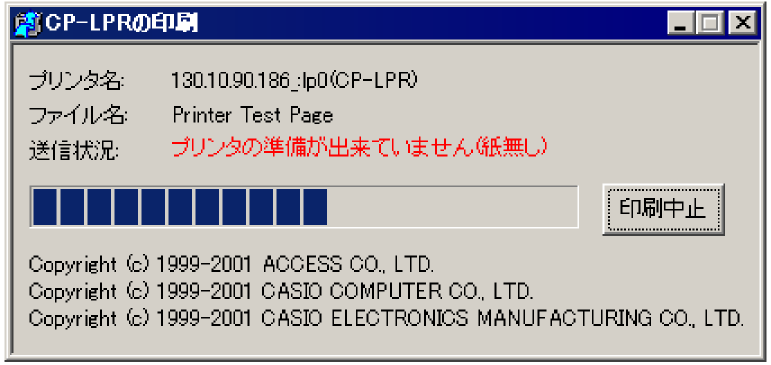

「印刷を中止しますか？」画面にて［はい］をクリックすると印刷処理が中止されます。［いいえ］をクリックすると印刷処理は中止せずに継続されます。

※印刷処理を中止した場合、プリンタは別途リセットする必要があります。

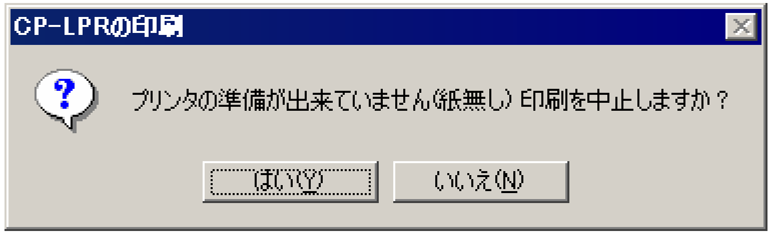
※LANボードの設定にて「プリンタ制御ソフトウェアリセット機能」を「使用する」に設定しますと、プリンタのリセットはLANボードが印刷中止を検出して自動的に行います。

ただし、同機能は使用可能な環境に制限があります。詳しくは「5.2. LANボードの設定変数一覧」を参照してください。

③ 印刷データの転送が「ポーリング間隔」で指定された時間停止すると状態の表示をします。




④ 印刷データの転送が「印刷タイムアウト」で指定された時間停止するとエラーの表示をします。




エラー表示画面にて［はい］をクリックすると印刷処理が中止されます。
［いいえ］をクリックすると印刷処理は中止せずに継続されます。

※印刷処理を中止した場合、プリンタは別途リセットする必要があります。

※LANボードの設定にて「プリンタ制御ソフトウェアリセット機能」を「使用する」に設定しますと、プリンタのリセットはLANボードが印刷中止を検出して自動的に行います。

ただし、同機能は使用可能な環境に制限があります。詳しくは「5.2.LANボードの設定変数一覧」を参照してください。

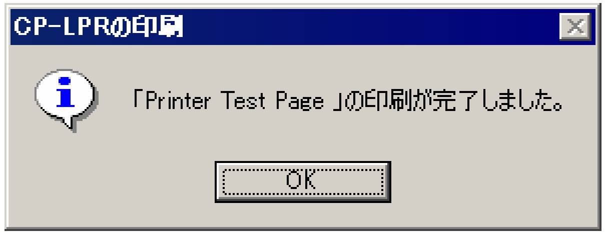
⑤ 回線が切断されるとエラー表示されます。

印刷が中止されます。




⑥ 「印刷完了通知」を有効にしている場合は、印刷完了が通知されます。

確認操作がされるまで停止しますので注意が必要です。



# 2.4. DHCPを使用する際の設定

DHCP(Dynamic Host Configuration Protocol：動的ホスト構成プロトコル)を使用してIPアドレスの設定／管理を行っている環境では、LANボードのIPアドレスも同様に設定／管理を行うことができます。

DHCPはその名称が示すように、IPアドレスを含めたホスト構成を動的に行いますので、印刷を行うプリンタにて使用する際には関連する設定を行う必要があります。

ここでは、LANボードを使用する環境おいて Microsoft Network（MS-Windowsのネットワーク環境）を構築し、 MS-Windows 2000 Server上で DHCPサーバを運用している場合に、DHCPサーバへLANボードのEthernetアドレスとリースするIPアドレスを「予約」登録して使用する際の設定手順を説明します。

（注意）・DHCPサーバはシステム管理者によって管理されています。設定確認にあたってはシステム管理者の了承のもとで行ってください。
・DHCPはあらかじめサーバコンピュータへインストールされている必要があります。詳しくはシステム管理者に確認してください。または、各オペレーティングシステムのマニュアル／オンラインヘルプをお読みください。

## 2.4.1. DHCPを使用する際の設定手順概要

LANボードをDHCPで使用する際は、以下の手順で設定を行ってください。

① LANボードのEthernetアドレス(MACアドレス)を確認します。確認したアドレスは後で使用しますのでメモなどに転記しておいてください。 →「1.4. Ethernet アドレスについて」参照。

② DHCPサーバの設定を行います。

・「予約」の設定を行います。『2.4.2. DHCPサーバへ「予約」の追加設定』参照。

③ LANボードの設定を行います。

プリンタ本体の操作パネルにて［IPアドレス決定方法］を［dhcp］へ設定します。

- LANボードの基本設定をプリンタ本体の操作パネルより行います。下表の内「プリンタ本体操作パネル表示名称」欄へ名称の記載がある5項目が操作パネルにて設定可能です。（※設定方法の簡単な説明を『【図 5.1.−1．プリンタ本体操作パネルの操作例】』へ記載しています。）
- DHCPを使用する場合は、［通信速度(Link Mode)］［IPアドレス決定方法(IP Config)］の2項目の設定が必要です。
- その他の設定変数設定は『TELNET』『WWWブラウザ』『IPX版設定ユーティリティ』で行うことが出来ます。　　設定方法は「4. LANボードの設定」を参照してください。

| 設定項目名称<br>または<br>設定変数名称 | プリンタ本体<br>操作パネル<br>表示名称 | LANボード<br>設定変数名 | 設定候補 | 概略・他 |
|---|---|---|---|---|
| 通信速度 | Link Mode | link_mode | Automatic<br>100M/Full<br>100M/Half<br>10M/Full<br>10M/Half | 通信速度を設定します。<br>※Automatic･･･Auto Negotiation 機能を使用して、通信速度を決定します。<br>★通常は{Automatic}でお使いください。{Automatic}でコンセントレータ(Hub)とのLinkが確立しない場合に、他の設定をお試しください。 |
| IPアドレス決定方法 | IP Config | ip_config | Memory<br>RARP<br>BOOTP<br>DHCP | IPアドレスの決定方法を設定します。<br>※Memory･･･次項目[IPアドレス]へ設定したIPアドレスを使用します。<br>★{RARP},{BOOTP},{DHCP}をお使いの場合は、それぞれに対応したサーバが必要となります。 |
| IPアドレス | IP Address | ip_address | 0.0.0.0<br>～<br>255.255.255.255 | IPアドレスを設定します。※1<br>※前項目[IPアドレス決定方法]の設定が{Memory}の場合のみ、使用されます。<br>★{0.0.0.0},{255.255.255.255},{127.0.0.1}などの「特別な意味を持つIPアドレス」を設定しますと、正常な通信が行えません。 |
| サブネットマスク | Netmask | netmask | 0.0.0.0<br>～<br>255.255.255.255 | サブネットマスクを設定します。※1<br>※0.0.0.0･･･決定したIPアドレスより、自動設定します。<br>★BOOTP/DHCPサーバより通知された場合は、サーバの通知が使用されます。 |
| ゲートウェイ | IP Gateway | gateway | 0.0.0.0<br>～<br>255.255.255.255 | ゲートウェイアドレスを設定します。※1<br>★BOOTP/DHCPサーバより通知された場合は、サーバの通知が使用されます。 |
| プリンタ制御ソフトウェアリセット機能の設定 ※2 | ――― | print_reset | enable<br>disable | プリンタ制御ソフトウェアリセット機能を 使用する／使用しない を設定します。<br>★{enable}は使用可能な環境に制限があります。※2 |

※1）設定した設定候補（値）が正しくない場合、正常に通信が行えない場合があります。正しい設定候補（値）に関しては『5.2. LANボードの設定変数一覧』を参照してください。

※2）使用可能な環境に制限があります。詳しくは「5.2. LANボードの設定変数一覧」を参照してください。

④ LANボードを再起動します。

以下のいずれかの方法で行えます。

・「TELNET」の場合は「reset」コマンドを使用。
・「WWWブラウザ」の場合は【再起動】をクリック。
・LANボードのリセットSWを押下。
・プリンタの電源切断、5秒以上待った後、電源投入。

⑤ お使いのクライアントコンピュータの設定を行います。

DHCPサーバにて「予約」を行ったIPアドレスを使用してクライアントコンピュータの設定を行います。

## 2.4.2. DHCPサーバへ「予約」の追加設定

ここでは、DHCPサーバに対して、LANボードEthernetアドレスとリースするIPアドレスの「予約」登録を行います。
以下の説明例ではMS-Windows 2000 Server を例としてしますが、異なる場合は必要に応じて設定を行ってください。

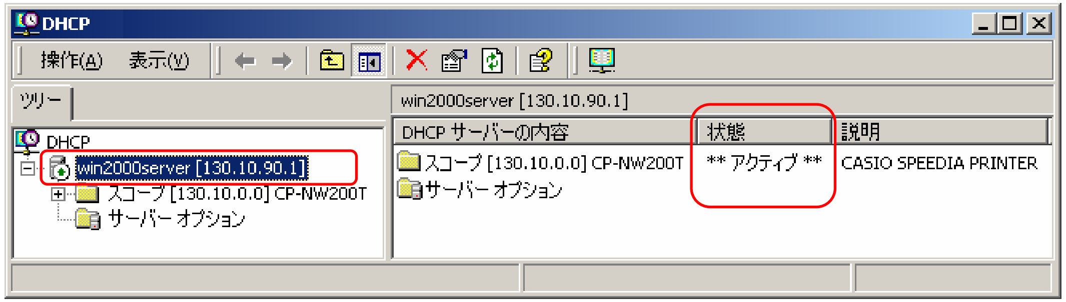
① MS-Windows 2000 Server へユーザグループ「Administrator」に属するユーザ名でログインします。

② ［スタート］メニューの［設定］から［コントロールパネル］を選択し、「コントロールパネル」を開きます。

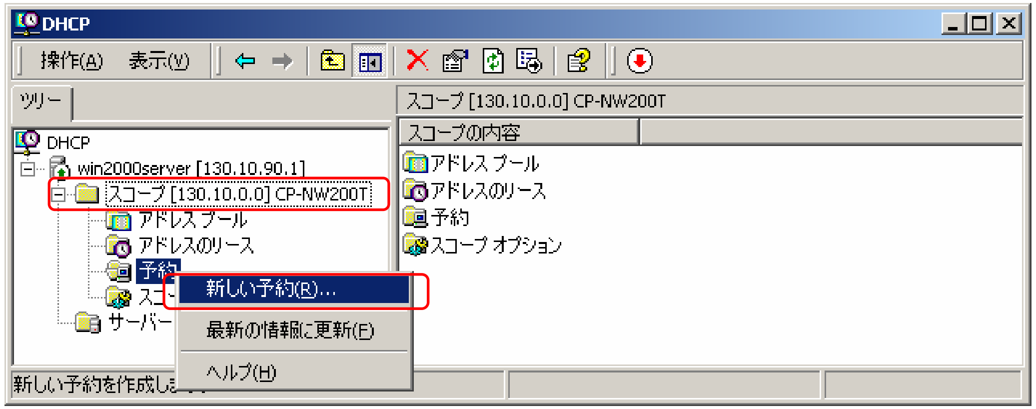
③「コントロールパネル」から［管理ツール］を選択し、「管理ツール」を開きます。

④「管理ツール」から［DHCP］を選択し、DHCPサーバの管理画面を開きます。

⑤ スコープの「状態」が「アクティブ」であることを確認してください。

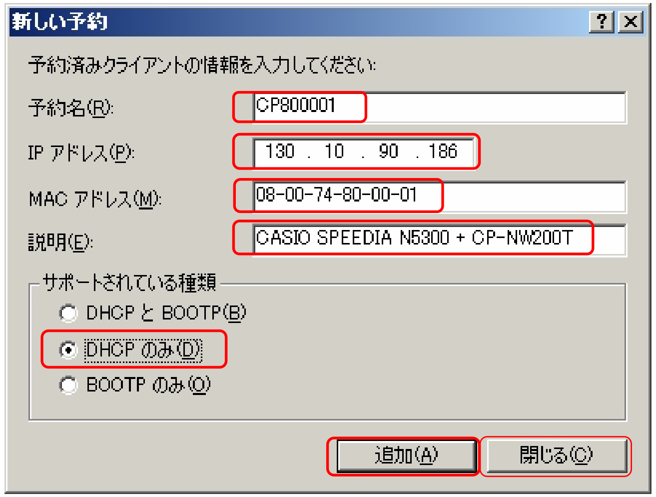



⑥「予約」を行う［スコープ］ツリー表示を展開し、［予約］を選択して右クリックメニューより［新しい予約］を選択します。



⑦ 表示される「新しい予約」画面にて、リースを行う［IPアドレス］とLANボードの［MACアドレス］(Ethernetアドレス) を設定し、［DHCPのみ］をクリックします。

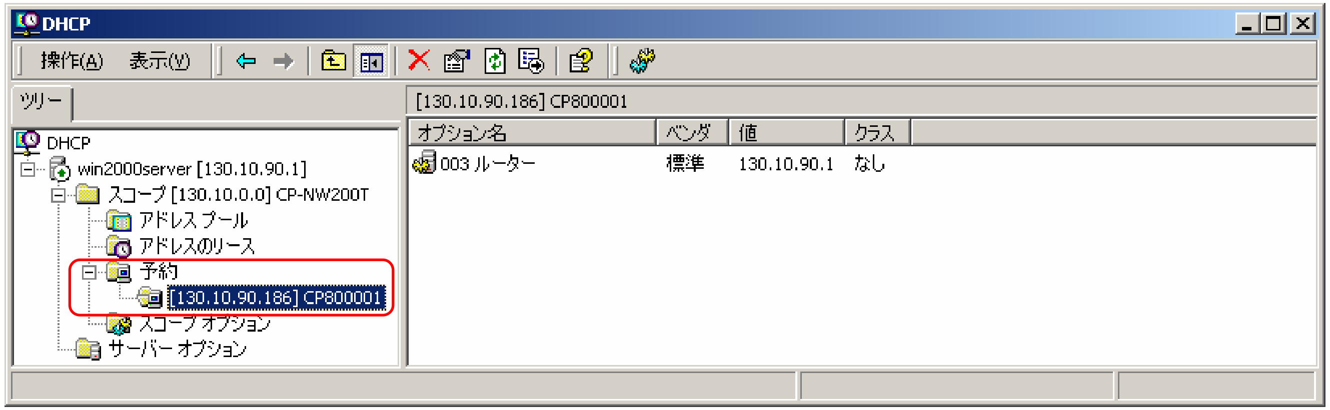
［予約名］は任意の文字列ですが、LANボードのマシン名を設定することをお勧めします。




⑧ ［追加］をクリックして設定した「予約」を登録します。

※続けて複数のプリンタ(LANボード)の登録を行う場合は、設定と追加を繰り返してください。追加が終了したら［閉じる］をクリックして「新しい予約」を終了します。

⑨「予約」した結果が予約ツリーへ追加表示されていることを確認してください。




## 2.4.3. LANボードの設定

ここでは、LANボードの設定変数「IPアドレス決定方法(変数名：ip_config)」の設定変更を行います。

①プリンタ本体の操作パネルにて、メニュー項目名「IPアドレス決定方法」(操作パネル設定項目表示名称は［IP Config］)を［DHCP］へ変更し［実行］キーを押下します。　設定に際しては、必ずシステム管理者の同意を得て行ってください。

※設定した内容は、操作パネルにて［オンライン］ボタンを押下して、オンライン状態へ移行する際に保存されます。設定変更後は必ずオンライン状態にしてください。

②LANボードを再起動します。

※保存した設定内容は次回LANボードが正常に起動した後に有効になります。　LANボードの［リセットSW］を押下するか、プリンタ本体の電源を「切」→「入」してください。

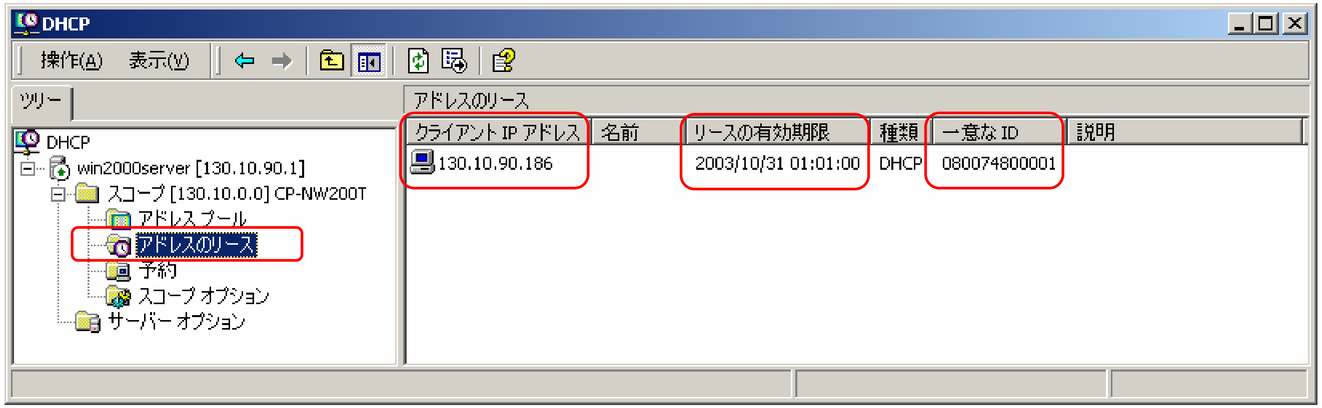
## 2.4.4. DHCPの設定の確認

ここでは、これまでの「DHCPを使用する際の設定手順」が正しく行われ、LANボードが使用可能状態であることをDHCPサーバの表示で確認します。

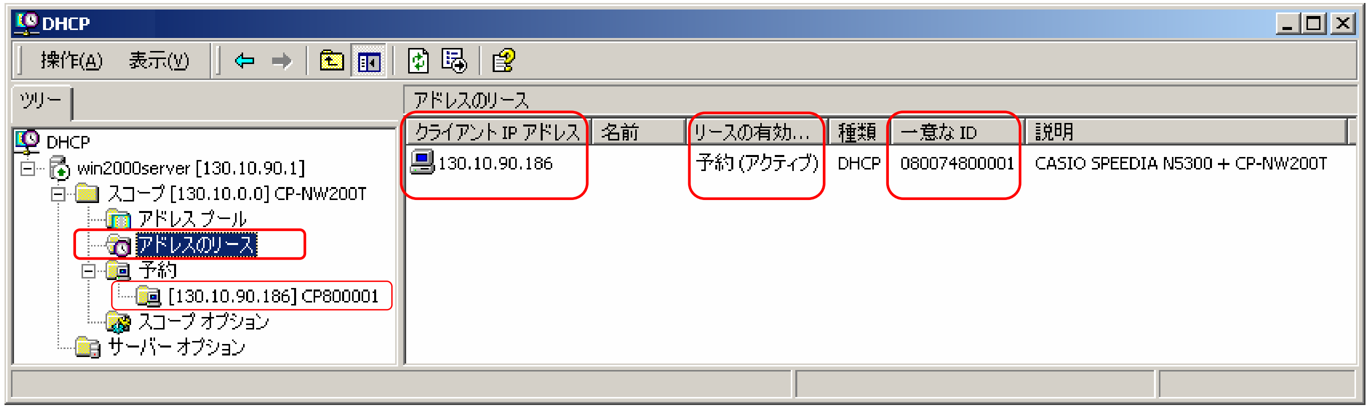
以下の説明例では MS-Windows 2000 Server を例としてしますが、異なる場合は必要に応じて操作を行ってください。

① DHCPサーバの管理画面で「アドレスのリース」を選択します。

② 現在リースされているIPアドレスの一覧が表示されますので、「クライアントIPアドレス」欄, 「一意なID」欄を確認してください。確認した内容は後でクライアントコンピュータの設定に使用しますので、メモなどへ転記しておいてください。「一意なID」欄にはLANボードのEthernetアドレス(MACアドレス)が表示されます。先程設定したLANボードのアドレスと同一であるか確認してください。



③「名前」欄は、「予約」を行った際に設定した「予約名」が表示されます。この場合「リースの有効期限」欄に「予約(アクティブ)」と表示されることで、LANボードへ正しくIPアドレスがリースされた(割り当てられた)ことになりますので、確認してください。




## 2.4.5. クライアントコンピュータの設定

ここでは、これまでの「DHCPを使用する際の設定手順」が正しく行われ、LANボードが使用可能状態になっているものとして、クライアントコンピュータの設定を行います。

クライアントコンピュータの設定は、既に説明した方法と同一です。　ポート名またはプリンタ名として、DHCPサーバへ「予約」登録を行ったIPアドレスを使用して定義します。

以上で、DHCPサーバで運用する環境での、TCP/IPネットワーク印刷の設定は終了です。

Windows 2000 環境からTCP/IPを利用したネットワーク印刷が可能となります。

## 2.5. TELNETによる設定

TELNETを使用しますと、IP環境においてLANボードの設定変数設定を行うことができます。 設定可能項目はIP環境にて使用する項目に限定されているわけではありません。 NetWare環境にて使用する設定項目に関してもTELNETコマンドを用いて設定することが可能です。 各設定は管理者でなければ出来ません。

TELNETコマンドの詳細については、「4.1.1. TELNETによる設定」を参照してください。

また、設定可能項目については、「5.2. LANボードの設定変数一覧」も参照してください。

| 変数グループ | 設定項目 | 設定内容または推奨値など | デフォルト |
|---|---|---|---|
| --------- | **admin_passwd** | LANボード設定管理者用パスワード | 未設定 |
| **common** | **machine_name** | LANボードのマシン名(SNMP,NetWareにて使用)。デフォルト値での使用を推奨。 | **CPxxxxxx** |
| | **comment** | コメント | 未設定 |
| | **link_mode** | 通信速度決定方法の設定。**auto,100m/full,100m/half,10m/full,10m/half** より選択 ※1<br>・現在TELNETで正常に通信が行えていますので、このままお使いになることを推奨します。 | **auto** |
| **tcpip** | **ip_config** | IPアドレス決定方法。**memory,rarp,bootp,dhcp** より選択 ※1 | **memory** |
| | **ip_address** | IPアドレス設定値。（**ip_config**が**memory**の時に有効) ※1 | **0.0.0.0** |
| | **netmask** | サブネットマスク ※1 ※2 | **0.0.0.0** |
| | **gateway** | ゲートウェイアドレス ※1 ※2 | **0.0.0.0** |
| | **ftp_passwd** | passwordを要求するFTPクライアントの場合に設定 | **off** |
| | **tcp_keep_alive** | TCP・キープ・アライブ・パケットの送信間隔。(0～79秒) | **30** |
| | **print_reset** | プリンタ制御ソフトウェアリセット機能の設定。(**enable**:使用する、**disable**:使用しない) ※3 | **enable** |
| **snmp** | **snmp_mode** | SNMPの動作モードを設定。(**enable**:使用する、**disable**:使用しない) | **enable** |
| | **snmp_name** | SNMPのコミュニティ名を設定 | **public** |
| | **snmp_host** | Trapパケットを送信するホストのIPアドレスを設定。 | **0.0.0.0** |
| **nw_param** | **nw_mode** | リモートプリンタモードでは［**rprinter**］、プリントサーバモードでは［**pserver**］、未使用は［**disable**］を設定。 | **rprinter** |
| | **nw_packet** | AUTO,IEEE802.2,IEEE802.3,ETHERNETⅡ のどれかを選択<br>入力はそれぞれ［**auto**］［**ieee802_2**］［**ieee802_3**］［**ethernet_ii**］としてください。 | **auto** |
| | **nw_spx_abort** | SPX監視停止タイムアウト時間。(**30** ～ **300** 秒) | **30** |

| 変数グループ | 設定項目 | 設定内容または推奨値など | デフォルト |
| --- | --- | --- | --- |
| | **nw_spx_listen** | SPX監視検査タイムアウト時間。(1 ～ 180 秒) | 6 |
| | **nw_spx_verify** | SPX確認待機タイムアウト時間。(1 ～ 15 秒) | 3 |
| | **pserver** | リモートプリンタモードでは、必ずプリントサーバ名を入力。 | 未設定 |
| | **timeout** | リモートプリンタモードで印刷終了後、他プロトコルによる印刷を開始するまでのタイムアウト時間。（この間にリモートプリンタモードの印刷が投入されると優先して印刷します。）(1～ 255 秒) | 10 |
| | **fserver1** | プリントサーバモードではファイルサーバは最大4台まで設定が可能です。(**fserver1**～**fserver4** のうち必ず1つ以上にファイルサーバ名を入力してください)。なお、同じファイルサーバ名を入力しないでください。 | 未設定 |
| | **fserver2** | | 未設定 |
| | **fserver3** | | 未設定 |
| | **fserver4** | | 未設定 |
| | **polltime** | プリントサーバモードにて、印刷キューへ印刷データの有無を問い合わせる間隔。(1 ～ 255 秒) | 15 |
| | **nw_passwd** | プリントサーバモードで、LANボードがプリントサーバとしてファイルサーバへログインする際に使用するパスワード。 | 未設定 |
| | **nw_ncp_timeout** | NCPタイムアウト監視時間。(1 ～ 255 秒) | 3 |
| | **nw_ncp_retry** | NCPパケット再送信回数。(1 ～ 255 回) | 20 |

※1）操作パネルでも設定可能です。後から設定した値が保存されます。
※2）ip_configがbootp/dhcpの場合、本設定が0.0.0.0の場合のみBOOTPサーバ/DHCPサーバより通知される設定を使用します。
※3）使用可能な環境に制限があります。詳しくは「5.2. LANボードの設定変数一覧」を参照してください。

## 2.6. WWWブラウザによる設定

WWWブラウザを使用しますと、IP環境においてLANボードの設定変数設定を行うことができます。　設定可能項目はIP環境にて使用する項目に限定されているわけではありません。　NetWare環境にて使用する設定項目に関してもWWWブラウザを用いて設定することが可能です。

各設定は管理者でなければ出来ません。

WWWブラウザによる設定の詳細については、「4.1.2. WWWブラウザによる設定」を参照してください。

また、設定可能項目については、「5.2. LANボードの設定変数一覧」も参照してください。

# ３. NetWare環境でのソフトウェア設定

## 3.1．サポートモードについて

NetWare環境においてネットワークプリンタとしてご使用になる場合、LANボードはリモートプリンタモードと、プリントサーバモードの２つのモードから選択することができます。。

以下にそれぞれのモードの機能概要を示します。

【表　３.１．－１．NetWare環境でのサポートモードと機能概要】

| モード名 | 機　能　概　要 |
|---|---|
| リモートプリンタモード | NetWareのファイルサーバコンピュータ、もしくは専用のプリントサーバコンピュータ上で動作するプリントサーバ(PSERVER)を介して運用されるモードです。<br>NetWareのリモートプリンタ機能をエミュレートしています。LANボードはリモートプリンタとしてNetWareプリントサーバへ接続することにより印字が行えます。<br>リモートプリンタモードは NetWare 4.x に準拠します。 |
| プリントサーバモード | プリンタ本体内(性格にはLANインターフェース上)でプリントサーバ(PSERVER)を動作させ運用するモードです。<br>NetWareのプリントサーバ機能をエミュレートしています。LANボードはプリントサーバとしてNetWareファイルサーバへ接続することにより印字が行えます。<br>プリントサーバモードは NetWare 3.x に準拠します。　NetWare 4.x 以降では、バインダリエミュレーションモードでのサポートとなります。 |

どちらのモードでもNetWareユーティリティ「PCONSOLE.EXE」(または相当のユーティリティ)による設定は不可避であり、しかもそれぞれの設定内容は異なりますので、両モードを混同しないように注意してください。

## ３.１.１. NetWare環境における印刷設定概要

LANボードは NetWare環境における印刷機能として、リモートプリンタおよびプリントサーバのエミュレートを行うリモートプリンタモードおよびプリントサーバモードをサポートしています。

なお、NetWare環境における印刷機能では、LANボードには印刷データの変換・生成機能（例：プリンタドライバ機能、フィルタ機能）は使用できませんのでご注意ください。

### ① リモートプリンタモードの設定概要

NetWareのバージョンにより使用するNetWareユーティリティやサーバ設定項目の名称が異なりますので、ご注意ください。

◆ NetWare 4.xJ ： NetWareユーティリティは「PCONSOLE.EXE」を使用し、「クイックセットアップ」を行う場合。

i) NetWareのクライアントコンピュータにてPCONSOLE.EXEを起動します。

ii) ディレクトリコンテキストを変更します。

iii) ［クイックセットアップ］により、「新しいプリンタ」「新しいプリントキュー」を追加します。

※新しいプリンタ名には「LANボードのマシン名」(設定変数machine_name設定文字列)に「-0」を付加した文字列を設定します。

iv) ファイルサーバのコンソールにて、プリントサーバ(PSERVER)のリロードを行います。

v) LANボードの設定を行います。

・「NetWareモード」(設定変数nw_mode)へ「rprinter」を設定します。
・「プリントサーバ名」(設定変数pserver)へ接続するNetWareプリントサーバ名を設定します。
・LANボードをリセットするか、プリンタの電源を再投入します。

◆ NetWare 4.xJ ： NetWareユーティリティは「PCONSOLE.EXE」を使用し、「通常のセットアップ」を行う場合。

i) NetWareのクライアントコンピュータにてPCONSOLE.EXEを起動します。

ii) ディレクトリコンテキストを変更します。

iii) ［プリントキュー］を選択し「新しいプリントキュー」を追加します。

iv) ［プリントサーバ］を選択します。プリントサーバが未設定の場合は、新規に作成を行ってください。

v) ［プリンタ］を選択し「新しいプリンタ」を追加します。

※新しいプリンタ名には「LANボードのマシン名」(設定変数machine_name設定文字列) に「-0」を付加した文字列を設定します。

vi) ファイルサーバのコンソールにて、プリントサーバ(PSERVER)のリロードを行います。

vii) LANボードの設定を行います。
- 「NetWareモード」(設定変数nw_mode)へ「rprinter」を設定します。
- 「プリントサーバ名」(設定変数pserver)へ接続するNetWareプリントサーバ名を設定します。
- LANボードをリセットするか、プリンタの電源を再投入します。

◆ NetWare 3.xJ ： NetWareユーティリティは「PCONSOLE.EXE」を使用します。

i) NetWareのクライアントコンピュータにてPCONSOLE.EXEを起動します。

ii) ［プリントキュー］を選択し「新しいプリントキュー」を追加します。

iii) ［プリントサーバ］を選択します。プリントサーバが未設定の場合は、新規に作成を行ってください。

iv) ［プリンタ］を選択し「新しいプリンタ」を追加します。

※新しいプリンタ名には「LANボードのマシン名」(設定変数machine_name設定文字列) に「-0」を付加した文字列を設定します。

v) ファイルサーバのコンソールにて、プリントサーバ(PSERVER)のリロードを行います。

vi) LANボードの設定を行います。
- 「NetWareモード」(設定変数nw_mode)へ「rprinter」を設定します。
- 「プリントサーバ名」(設定変数pserver)へ接続するNetWareプリントサーバ名を設定します。
- LANボードをリセットするか、プリンタの電源を再投入します。

◆ NetWare 5.xJ ： NetWareユーティリティは「NetWareアドミニストレータ」を使用し、「クイックセットアップ」を行う場合。

i) NetWareのクライアントコンピュータにて「NetWareアドミニストレータ」(NWADMIN32.EXE)を起動します。

ii) コンテナオブジェクトを展開し、ファイルサーバ／プリントサーバのディレクトリコンテキストを表示させます。

iii) プリントキューを作成するファイルサーバを選択し［ツール］メニューから［プリントサービスクイックセットアップ］を選択してウィンドウを開きます。

iv) ［プリントサーバ名］欄でLANボードが接続するプリントサーバを選択します。プリントサーバが未設定の場合は、新規に作成を行ってください。

v) ［プリンタ］の［名前］欄へ「LANボードのマシン名」(設定変数machine_name設定文字列) に「-0」を付加した文字列を設定します。

vi) ［プリントキュー］の各欄を設定します。

※既存の運用環境を保存するため、新規のプリントキュー名を設定することをお勧めします。

vii) 各設定内容を確認し、［作成］ボタンをクリックして「プリントサービスクイックセットアップ」を終了します。

viii) ファイルサーバのコンソールにて、プリントサーバ(PSERVER)のリロードを行います。

ix) LANボードの設定を行います。

・「NetWareモード」(設定変数nw_mode)へ「rprinter」を設定します。
・「プリントサーバ名」(設定変数pserver)へ接続するNetWareプリントサーバ名を設定します。
・LANボードをリセットするか、プリンタの電源を再投入します。

② プリントサーバモードの設定概要

NetWareのバージョンにより使用するNetWareユーティリティやサーバ設定項目の名称が異なりますので、ご注意ください。
なお、NetWare 4.1J 以降では、バインダリエミュレーションモードでのサポートとなります。

◆ NetWare 4.xJ ： NetWareユーティリティは「PCONSOLE.EXE」を使用し、「クイックセットアップ」を行う場合。

i) ファイルサーバのコンソールにて、「未暗号化パスワード使用許可」の設定を行います。

・SYSTEMコンソールにて「set allow unencrypted passwords = on」と入力します。
・「インストール」ユーティリティ(INSTALL.NLM：「load install」と入力して起動)または「インターネットワーキング環境設定」ユーティリティ(INETCFG.NLM：「load inetcfg」と入力して起動)にて「autoexec.ncfファイルの編集」を選択し、「autoexec.ncf」ファイルへ「set allow unencrypted passwords = on」行を追加します。

ii) NetWareのクライアントコンピュータよりPCONSOLE.EXEを起動します。

iii) 【F4】キーを押下して「バインダリモードへ切替え」を行います。

iv) ［クイックセットアップ］により、「新しいプリントサーバ」「新しいプリンタ」「新しいプリントキュー」を追加します。

・新しいプリントサーバ名には「LANボードのマシン名」(設定変数machine_name設定文字列)を設定します。
・新しいプリンタ名には「LANボードのマシン名」(設定変数machine_name設定文字列)に「-0」を付加した文字列を設定します。
・既存の運用環境を保存するため、新しいプリントキュー名には新規のプリントキュー名を設定することをお勧めします。

v) LANボードの設定を行います。

・「NetWareモード」(設定変数nw_mode)へ「pserver」を設定します。
・「ファイルサーバ名」(設定変数fserver1～fserver4のいずれか)へ接続するNetWareファイルサーバ名を設定します。
・LANボードをリセットするか、プリンタの電源を再投入します。

◆ NetWare 4.xJ ： NetWareユーティリティは「PCONSOLE.EXE」を使用し、「通常のセットアップ」を行う場合。

i) ファイルサーバのコンソールにて、「未暗号化パスワード使用許可」の設定を行います。

・SYSTEMコンソールにて「set allow unencrypted passwords = on」と入力します。

- 「インストール」ユーティリティ(INSTALL.NLM：「load install」と入力して起動)または「インターネットワーキング環境設定」ユーティリティ(INETCFG.NLM：「load inetcfg」と入力して起動)にて「autoexec.ncfファイルの編集」を選択し、「autoexec.ncf」ファイルへ「set allow unencrypted passwords = on」行を追加します。

ii) NetWareのクライアントコンピュータよりPCONSOLE.EXEを起動します。

iii) 【F4】キーを押下して「バインダリモードへ切替え」を行います。

iv) ［プリントサーバ］を選択し、「新しいプリントサーバ」を追加します。

- 新しいプリントサーバ名には「LANボードのマシン名」(設定変数machine_name設定文字列)を設定します。

v) 追加したプリントサーバを選択し、「プリントサーバ情報」にて［プリンタ］を選択して「定義済プリンタ」へ「プリンタ」を追加します。

※プリンタ名には「LANボードのマシン名」(設定変数machine_name設定文字列) に「-0」を付加した文字列を設定します。

vi) 追加したプリンタを選択し、「プリンタの環境設定」にて［プリントキュー割り当て］を選択して「新しいプリントキュー」を追加します。

※既存の運用環境を保存するため、新しいプリントキュー名には新規のプリントキュー名を設定することをお勧めします。

vi) LANボードの設定を行います。

- 「NetWareモード」(設定変数nw_mode)へ「pserver」を設定します。
- 「ファイルサーバ名」(設定変数fserver1～fserver4のいずれか)へ接続するNetWareファイルサーバ名を設定します。
- LANボードをリセットするか、プリンタの電源を再投入します。

◆ NetWare 3.xJ ： NetWareユーティリティは「PCONSOLE.EXE」を使用します。

i) ファイルサーバのコンソールにて、「未暗号化パスワード使用許可」の設定を行います。

- SYSTEMコンソールにて「set allow unencrypted passwords = on」と入力します。
- 「インストール」ユーティリティ(INSTALL.NLM：「load install」と入力して起動)にて「autoexec.ncfファイルの編集」を選択し、「autoexec.ncf」ファイルへ「set allow unencrypted passwords = on」行を追加します。

ii) NetWareのクライアントコンピュータよりPCONSOLE.EXEを起動します。

iii) ［プリントサーバ］を選択し、「新しいプリントサーバ」を追加します。

- 新しいプリントサーバ名には「LANボードのマシン名」(設定変数machine_name設定文字列)を設定します。

iv) 追加したプリントサーバを選択し、「プリントサーバ情報」にて［プリンタの構成］を選択し「構成完了プリンタ」へ「プリンタ」を追加します。

※プリンタ名には「LANボードのマシン名」(設定変数machine_name設定文字列) に「-0」を付加した文字列を設定します。

v) 「利用可能な項目」にて［プリントキュー情報］を選択し「新しいプリントキュー」を追加します。

※既存の運用環境を保存するため、新しいプリントキュー名には新規のプリントキュー名を設定することをお勧めします。

vi) 「プリントキュー情報」にて［キューサーバ］を選択し追加したプリントサーバを設定します。

vii) LANボードの設定を行います。

- 「NetWareモード」(設定変数nw_mode)へ「pserver」を設定します。
- 「ファイルサーバ名」(設定変数fserver1～fserver4のいずれか)へ接続するNetWareファイルサーバ名を設定します。
- LANボードをリセットするか、プリンタの電源を再投入します。

◆ NetWare 5.xJ ： NetWareユーティリティは「NetWareアドミニストレータ」を使用し、「クイックセットアップ」を行う場合。

i) ファイルサーバのコンソールにて、「未暗号化パスワード使用許可」の設定を行います。

- SYSTEMコンソールにて「set allow unencrypted passwords = on」と入力します。
- 「NetWare環境設定」ユーティリティ(NWCONFIG.NLM：「load nwconfig」と入力して起動)にて「サーバスタートアップファイルの作成／編集」を選択し、「autoexec.ncf」ファイルへ「set allow unencrypted passwords = on」行を追加します。

ii) 「NetWareアドミニストレータ」(NWADMIN32.EXE)を起動します。

iii) コンテナオブジェクトを展開し、ファイルサーバのディレクトリコンテキストを表示させます。

iv) プリントサーバを作成するコンテナオブジェクトを選択し［ツール］メニューから［プリントサービスクイックセットアップ］を選択してウィンドウを開きます。

v) ［プリントサーバ名］欄へ「LANボードのマシン名」(設定変数machine_name設定文字列)を入力します。

vi) ［プリンタ］の［名前］欄へ「LANボードのマシン名」(設定変数machine_name設定文字列) に「-0」を付加した文字列を設定します。

vii) ［プリントキュー］の各欄を設定します。

※既存の運用環境を保存するため、新規のプリントキュー名を設定することをお勧めします。

viii) 各設定内容を確認し、［作成］ボタンをクリックして「プリントサービスクイックセットアップ」を終了します。

ix) LANボードの設定を行います。

- 「NetWareモード」(設定変数nw_mode)へ「pserver」を設定します。
- 「ファイルサーバ名」(設定変数fserver1～fserver4のいずれか)へ接続するNetWareファイルサーバ名を設定します。
- LANボードをリセットするか、プリンタの電源を再投入します。

# 3.2. リモートプリンタモードの設定

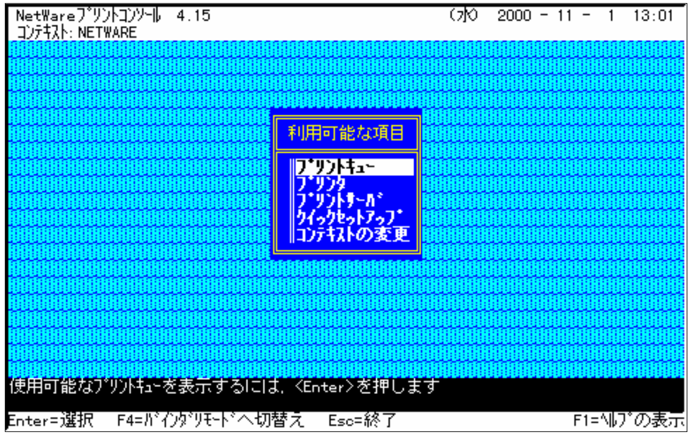
リモートプリンタモードの設定を行うには、NetWareサーバにインストールされているユーティリティを使用します。

NetWare 4.xJ 以前のバージョンでは「**PCONSOLE.EXE**」を使用し、NetWare 5 以降のバージョンでは「**NetWare**アドミニストレータ」を使用します。

## 3.2.1. NetWare 4.xJ のリモートプリンタモード設定

① **PCONSOLE**を実行します。

※PCONSOLE.EXEは、通常「SYS:¥PUBLIC」に格納されています。




② ディレクトリコンテキストを変更します。

※プリントサーバ，プリンタ，プリントキューはディレクトリツリー内に作成されますので、必要に応じてコンテキストを変更します。

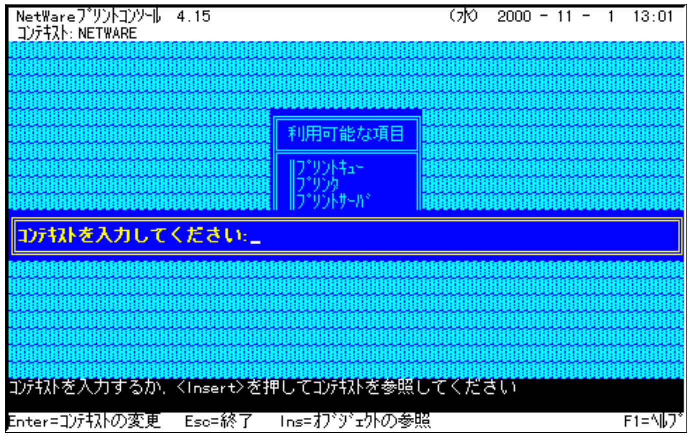
(例)コンテキストを「**NETWARE**」から「**FSERVER1.NW411J.NETWARE**」へ変更する場合。

1) 「利用可能な項目」メニューから［コンテキストの変更］を選択します。




Enterキー押下

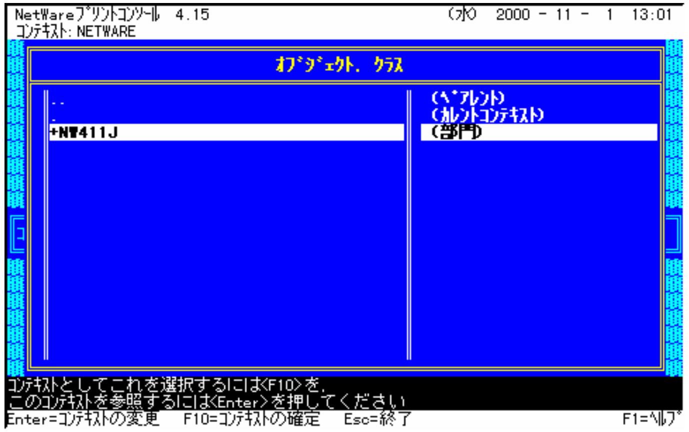
2) コンテキストを入力するか**<Insert>**キーを押下した後、表示される選択画面に従ってコンテキストを確定します。



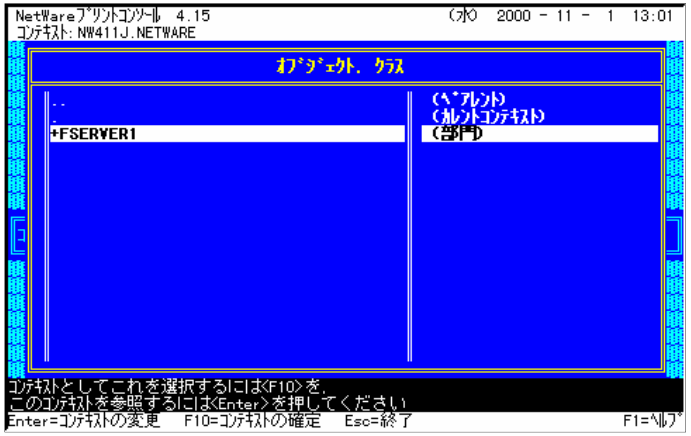

Insertキー押下

コンテキスト名直接入力

Insertキー押下

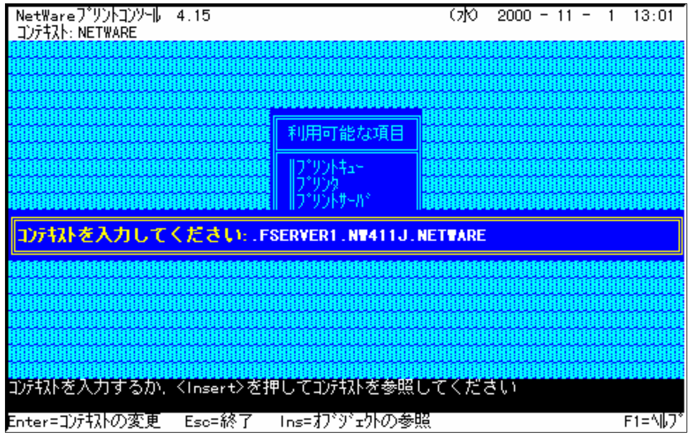



部門を選択してEnterキー押下




部門を選択してEnterキー押下

コンテキスト名直接入力
例では
「.FSERVER1.NW411J.NETWARE」
と入力




Enterキー押下にて確定

部門を選択してEnterキー押下



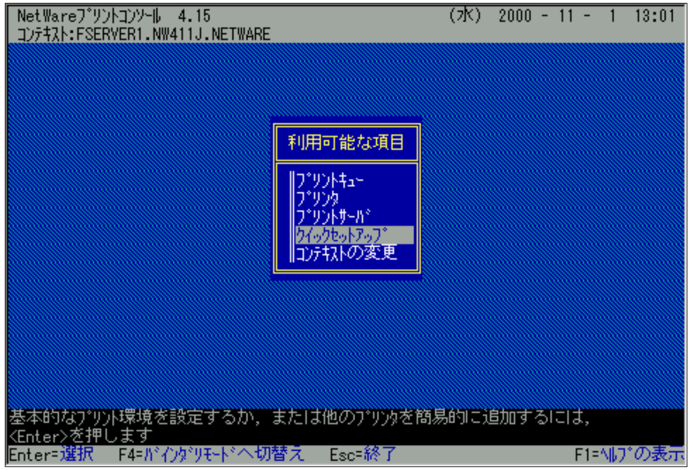

F10キー押下にて確定

Enterキー押下にて確定



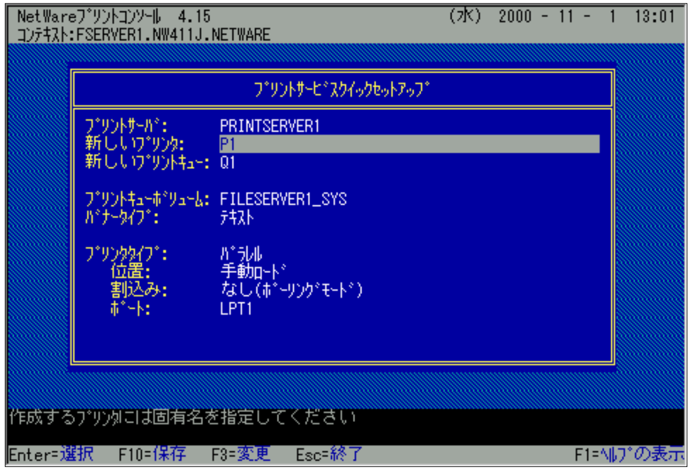
## ③ クイックセットアップによる設定

1) 「利用可能な項目」メニューから、［クイックセットアップ］を選択します。




Enterキー押下

2) 「プリントサーバ」名を確認した後、［新しいプリンタ］欄へカーソルを移動します。




プリンタ名の入力開始

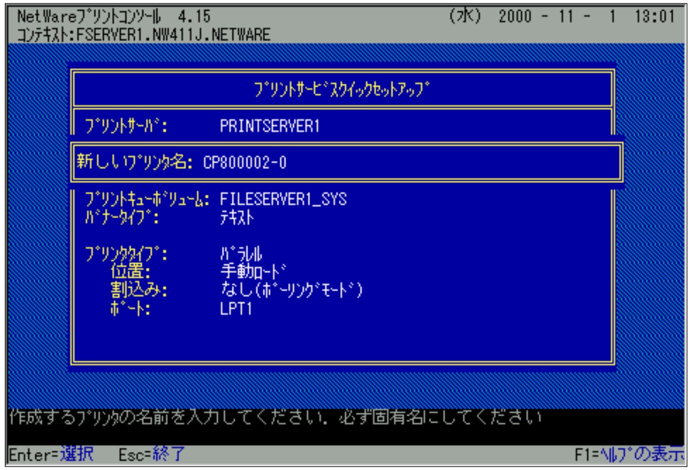
3) ［新しいプリンタ名］の入力を開始します。

入力ボックスはプリンタ名の入力を開始すると自動的に表示されます。
入力終了後、Enterキーを押下して確定します。

※プリンタ名はLANボードのマシン名(設定変数**machine_name**に設定されている文字列)に「**-0**」を付加した文字列を入力してください。

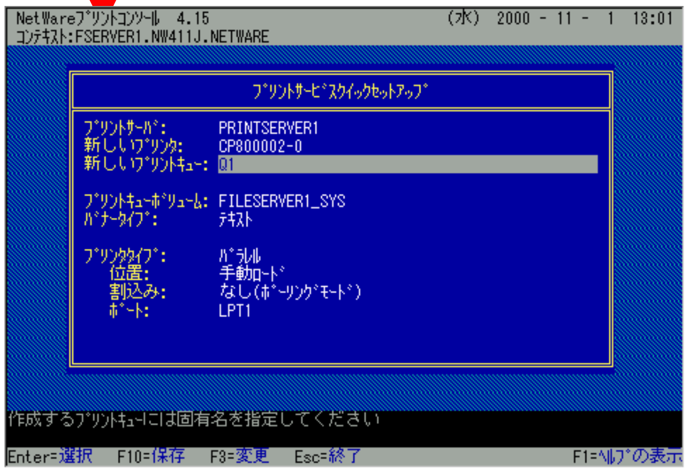
**LAN**ボードのマシン名は工場出荷時の状態(または、各種設定用メモリの初期化時の状態)では**Ethernet**アドレスの下**6**桁に「**CP**」を付加した文字列となっています。

(例)LANボードのEthernetアドレスが「**080074800002**」の場合、工場出荷時状態(デフォルト)のマシン名は「**CP800002**」となっていますので、新しいプリンタ名には図のように「**CP800002-0**」と入力してください。




プリンタ名入力後、Enterｷｰ押下

4) ［新しいプリントキュー］欄へカーソルを移動します。

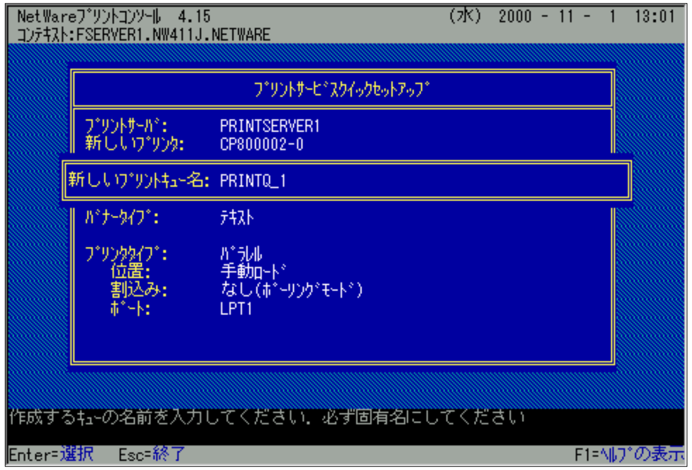



プリントキュー名の入力開始

5) 続けて［新しいプリントキュー］名を入力します。

入力ボックスはプリントキュー名の入力を開始すると自動的に表示されます。

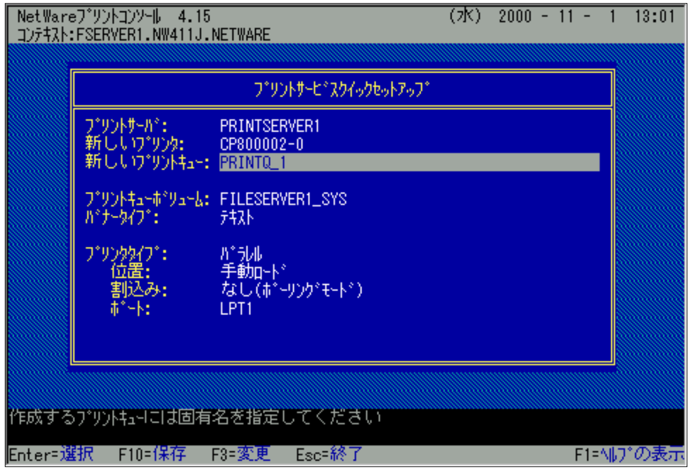
※プリントキューは既に設定されているものがあると思われますが、既存の運用環境を保全するため、ここでは新規のプリントキュー名を作成します。




プリントキュー名入力後、Enterキー押下

6) 必要に応じて［プリントキューボリューム］の設定を変更します。

その他の設定は、表示されたままにして、変更しないでください。

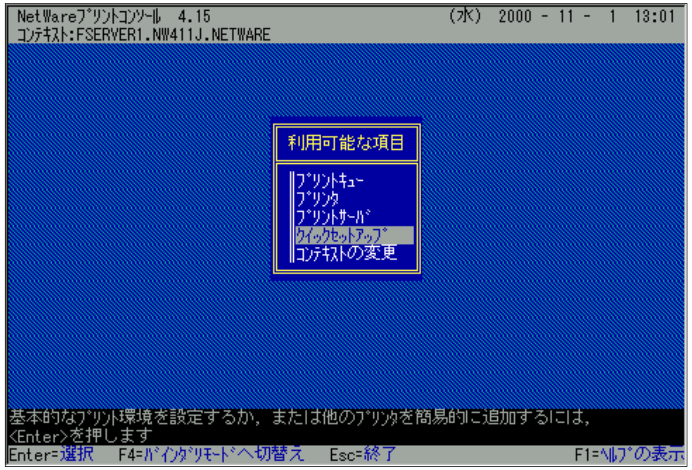



7) 各設定内容を確認後、**【F10】キー**を押下して設定を保存することによりクイックセットアップを終了します。

F10キー押下、保存終了

8) 以上で、クイックセットアップによるプリンタの設定は終了です。

※リモートプリンタモードで運用を行うネットワークプリンタ（LANボード）を複数インストールする場合は、続けてこれまでの手順1)～7)を繰り返して行ってください。




ESCキー押下、PCONSOLE終了

9) 【ESC】キーを押下して、PCONSOLEを終了します。

### ④ PSERVERのRELOAD

《注意》このオペレーションは、リモートプリンタモードで運用される場合においてのみ必要となるものです。またこのオペレーションでは、一時的にではありますが、現在運用中のリモートプリンタが使用不能に陥る場合があります。オペレーションの実施に際しては事前にシステム管理者の了承を得てください。

ファイルサーバのコンソール画面で、PSERVERをリロード(RELOAD)します。リロードというのは、既にPSERVERが実行されている場合には、一旦アンロード(UNLOAD)してから再度ロード(LOAD)するという内容を含みます。

ファイルサーバのSYSTEMコンソールを使用する場合。

**NetWare 3.12J以前のバージョンでは、**SYSTEMコンソールからのオペレーションのみ可能です。

ファイルサーバ SYSTEMコンソール

```
Novell NetWare 4.11  1996 August 22
(C) Copyright 1983-1996 Novell Inc.
All Rights Reserved
特許申請中 - Novell Inc.

Wednesday, 2000 November 1   11:54:23 JST

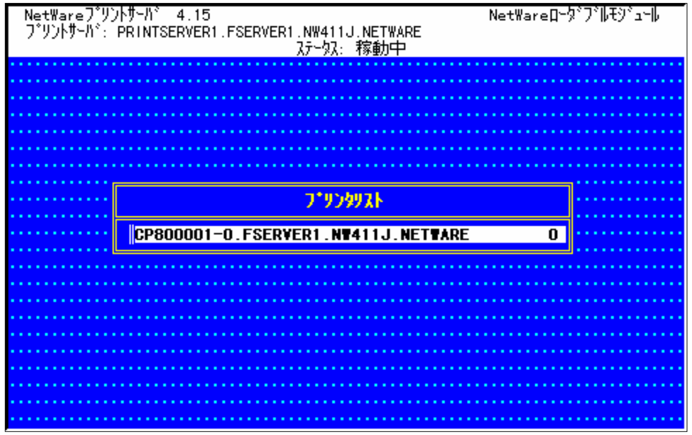
OEM識別: 999
ﾗｲｾﾝｽ接続の最大数: 100
ｲﾝｽﾄｰﾙ済みﾗｲｾﾝｽ
ｼﾘｱﾙ番号       接続数       ﾗｲｾﾝｽﾀｲﾌﾟ      ﾊﾞｰｼﾞｮﾝ  有効期限
12345678       100          WEB/CONN       4.11     NONE

FILESERVER1:unload pserver
```

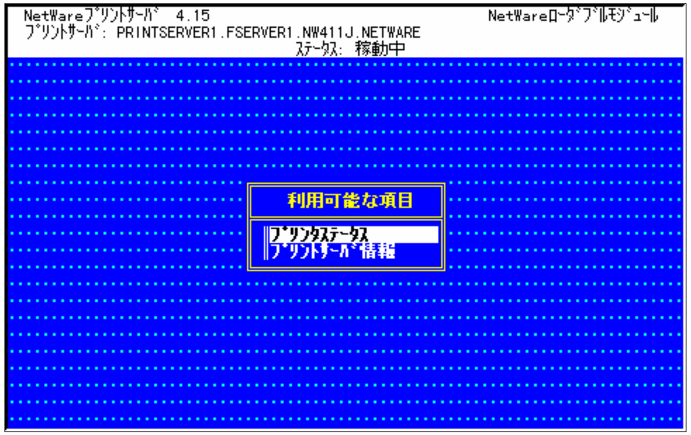
「**unload pserver**」入力後Enterキー押下。

ファイルサーバのプリントサーバコンソールを使用する場合。

※③で追加を行ったプリンタは、この段階ではまだ「**プリンタリスト**」に表示されていません。




Escapeキー押下。




Escapeキー押下

ファイルサーバ SYSTEMコンソール

```
Novell NetWare 4.11  1996 August 22
(C) Copyright 1983-1996 Novell Inc.
All Rights Reserved
特許申請中 - Novell Inc.

Wednesday, 2000 November 1   11:54:23 JST

OEM識別: 999
ﾗｲｾﾝｽ接続の最大数: 100
ｲﾝｽﾄｰﾙ済みﾗｲｾﾝｽ
ｼﾘｱﾙ番号      接続数      ﾗｲｾﾝｽﾀｲﾌﾟ     ﾊﾞｰｼﾞｮﾝ  有効期限
12345678      100         WEB/CONN      4.11     NONE

FILESERVER1:unload pserver
            ﾌﾟﾘﾝﾄｻｰﾊﾞ PRINTSERVER1.FSERVER1.NW411J.NETWARE はｱﾝ
ﾛｰﾄﾞされました
FILESERVER1:load pserver PRINTSERVER1
```

「**load pserver PRINTSERVER1**」入力後Enterキー押下。




［**Yes**］選択後Enterキー押下にてプリントサーバをアンロードします。

ファイルサーバ SYSTEMコンソール

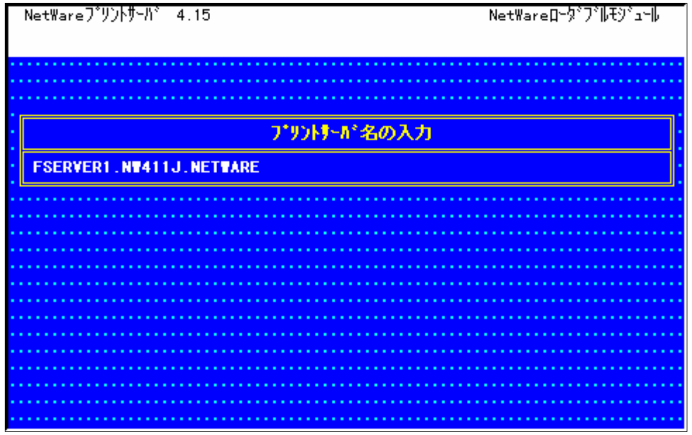
```
Novell NetWare 4.11  1996 August 22
(C) Copyright 1983-1996 Novell Inc.
All Rights Reserved
特許申請中 - Novell Inc.

Wednesday, 2000 November 1   11:54:23 JST

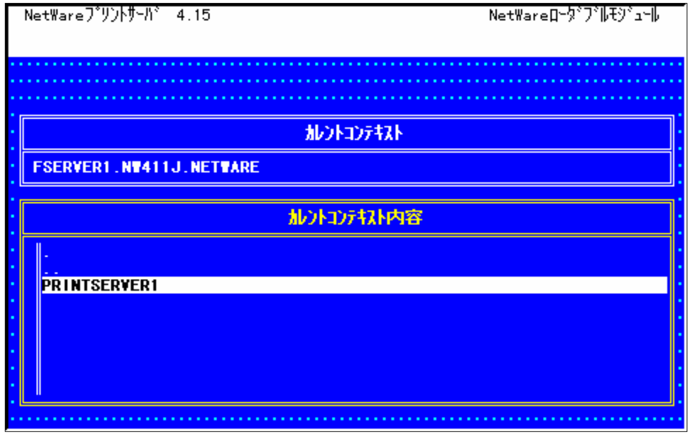
OEM識別: 999
ﾗｲｾﾝｽ接続の最大数: 100
ｲﾝｽﾄｰﾙ済みﾗｲｾﾝｽ
ｼﾘｱﾙ番号      接続数      ﾗｲｾﾝｽﾀｲﾌﾟ     ﾊﾞｰｼﾞｮﾝ  有効期限
12345678      100         WEB/CONN      4.11     NONE

FILESERVER1:
            ﾌﾟﾘﾝﾄｻｰﾊﾞ PRINTSERVER1.FSERVER1.NW411J.NETWARE はｱﾝ
ﾛｰﾄﾞされました
FILESERVER1:load pserver
```

「**load pserver**」入力後Enterキー押下。

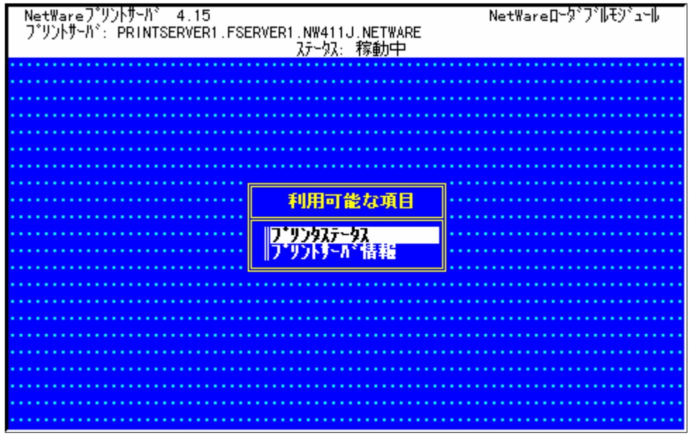



Enterキー押下。



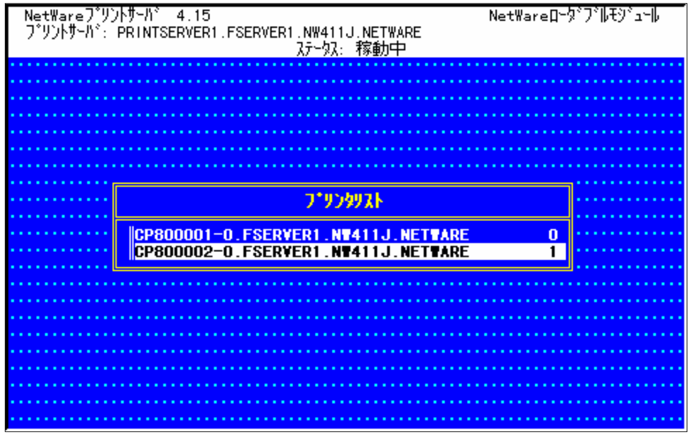

ロードするプリントサーバを選択して
Enterキーを押下。

※「利用可能な項目」から「プリンタステータス」を選択しEnterキーを押下します。




Enterキー押下にて「プリンタリスト」を表示させせます。

※③で追加を行ったプリンタが「プリンタリスト」に追加表示されていることで、プリンタの追加が正しく行えたことを確認します。

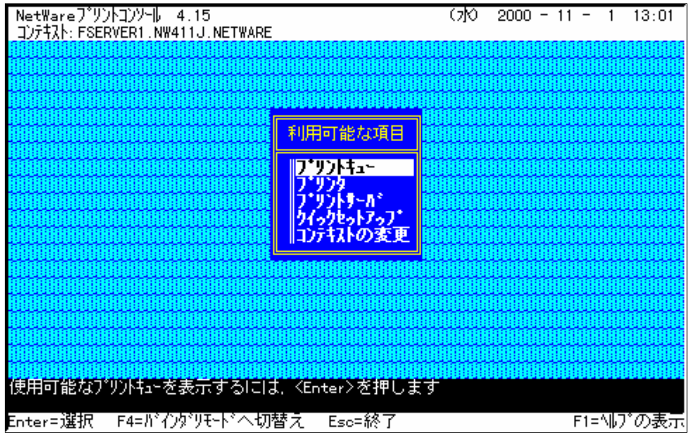



⑤ クイックセットアップを使用しない場合の設定方法。

1) プリントキューの追加を行います。

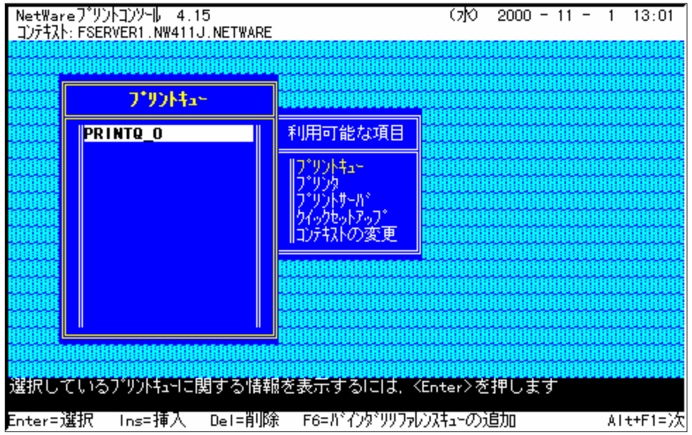
プリントキューは既に設定されているものがあると思われますが、既存の運用環境を保全するため、ここでは新規にプリントキューを作成します。

i)　「利用可能な項目」メニューから［プリントキュー］を選択します。



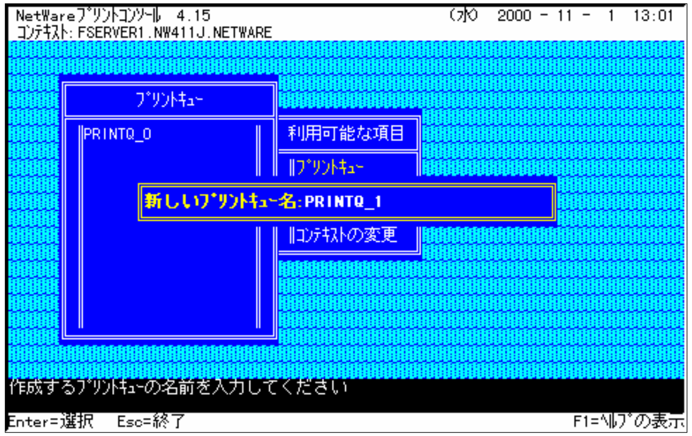

Enterキー押下にて選択

ii)　**Insert**キーを押下し、プリントキューの追加を選択します。



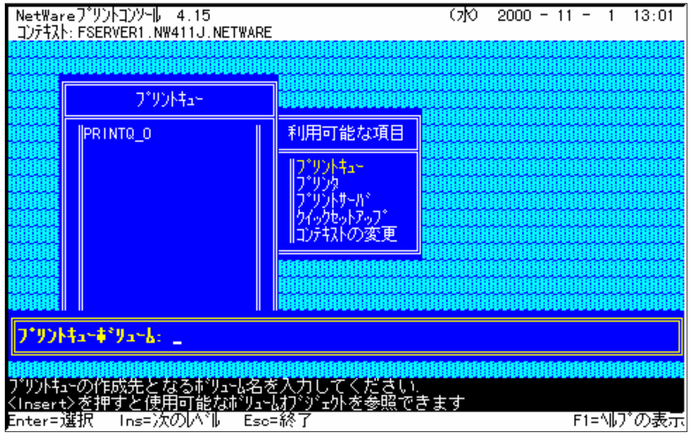

Insertキー押下後、追加するプリントキュー名を入力します。

iii)　追加するプリントキュー名を入力します。




Enterキー押下にて入力確定。

iv)　プリントキューの作成先となるボリュームを指定します。




Insertキーを押下して、ボリューム名の表示を行います。

v)　プリントキューの作成先ボリュームを選択します。作成先ボリュームには十分な空き容量のあるボリュームを指定してください。



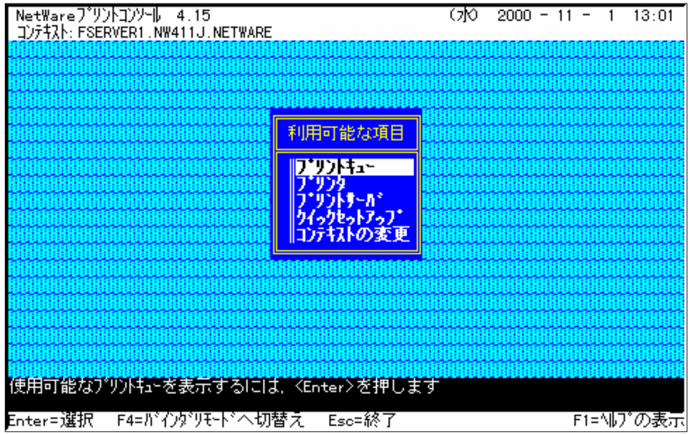

ボリュームを選択後、Enterキーを押下し確定します。

vi)　プリントキューの追加は終了しました。




Escapeキー押下。

vii)　Escapeキーを押下し、「利用可能な項目」メニューへ戻ります。

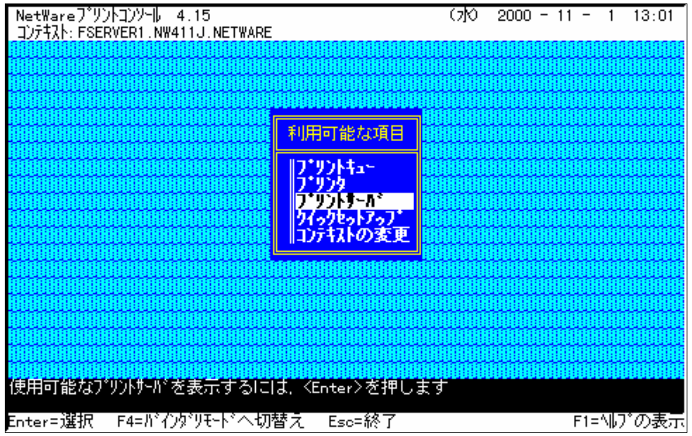



※続けて、プリントサーバ情報を設定します。

2) プリントサーバはディレクトリツリー内に作成されていますので、プリントサーバの作成されているコンテキストへ変更します。

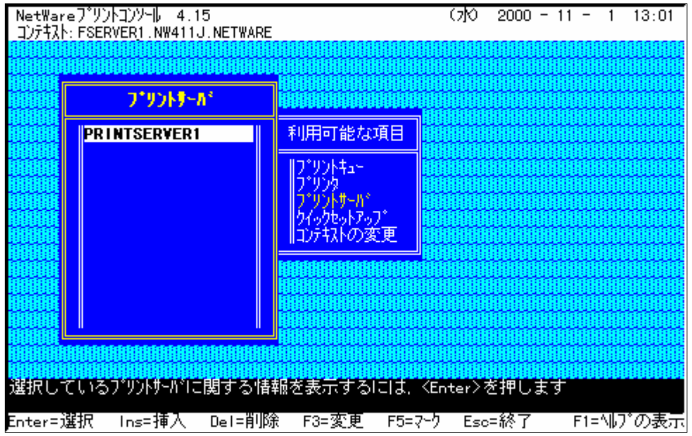
3) プリンタの追加を行います。

viii)　「利用可能な項目」メニューから、［プリントサーバ］を選択します




Enterキー押下にて選択。

ix)　プリントサーバが、既に設定してあればそれを利用します。なければ新規に作成を行ってください。



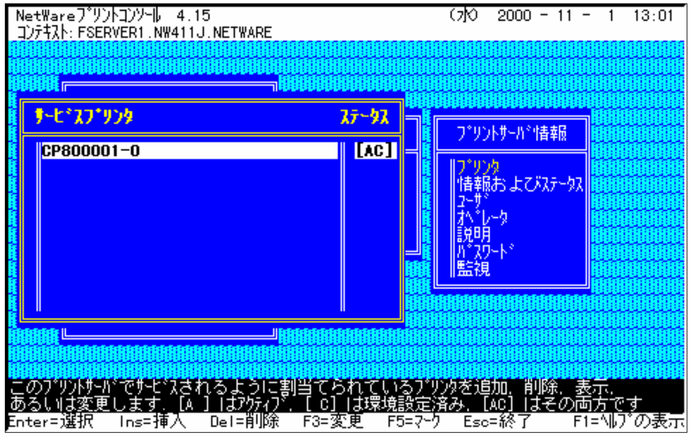

プリントサーバを選択しEnterキー押下。

x)　「プリントサーバ情報」メニューから［プリンタ］を選択します。



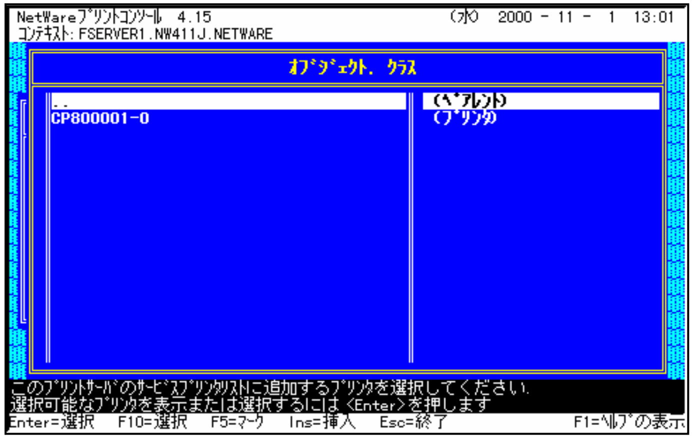

Enterキー押下。

※既に設定されているプリンタの一覧が表示されます。




Insertキー押下。

xi)　Insertキーを押下し、追加するプリンタの選択メニューを表示します。




さらに続けてInsertキー押下。

xii) さらにInsertキーを押下し、新しいプリンタ名の入力を行います。




※プリンタ名は[LANボードのマシン名(設定変数**machine_name**に設定されている文字列)]に「**-0**」を付加した文字列を入力してください。
**LAN**ボードのマシン名は工場出荷時の状態では**Ethernet**アドレスの下**6**桁に「**CP**」を付加した文字列となっています。

Enterキー押下にて入力確定。

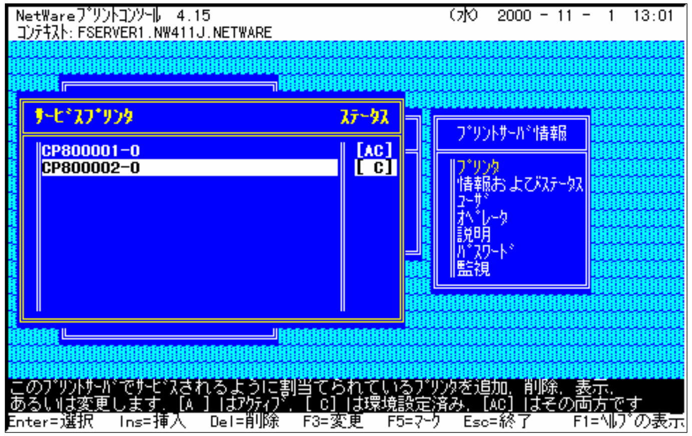
(例)LANボードのEhternetアドレスが「**080074800002**」の場合、工場出荷時状態(デフォルト)のマシン名は「**CP800002**」となっていますので、新しいプリンタ名には図のように「**CP800002-0**」と入力してください。

xiii) 追加したプリンタを選択します。




追加したプリンタを選択してEnterキー押下。

xiv) プリンタの追加は終わりました。追加したプリンタを選択し、続けてプリンタの環境設定を行います。




追加したプリンタを選択してEnterキーを押下し、プリンタの環境設定を行う。

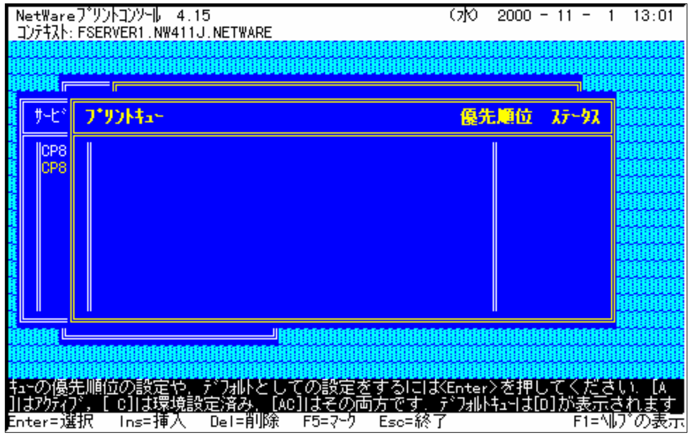
xv) ここではプリントキュー割り当てのみを行います。［プリントキュー割当て］を選択します。

注) ［プリンタタイプ］は［パラレル］に設定してください。［環境設定］は変更しないでください。その他は必要に応じて設定してください。




Enterキーを押下し、プリントキューの割当てを行います。

xvi) Insertキーを押下し、追加したプリンタがサービスを行うプリントキューの追加を行います。




Insertキー押下。

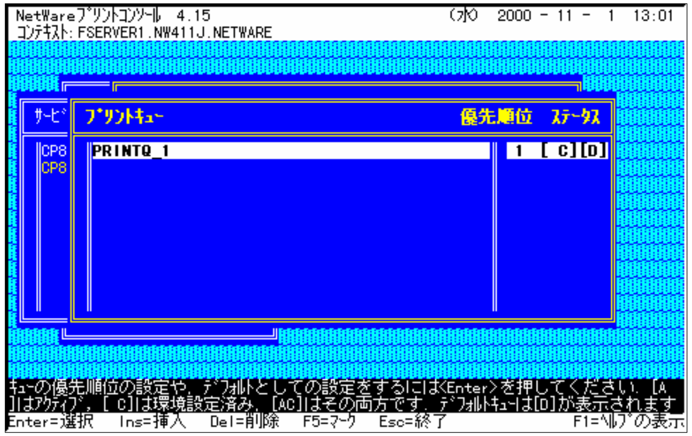
xvii) プリントキュー一覧の中からii)～vi)で追加したプリントキューを選択してEnterキーを押下します。

※プリントキューを複数割当てることもできます。また、異なるディレクトリコンテキストに設定されているプリントキューを割当てることもできます。




プリントキューを選択しEnterキー押下。

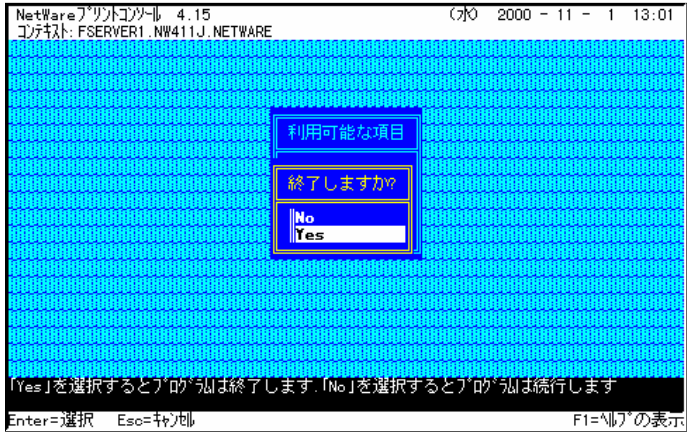
※必要に応じてプリントキューの優先順位を設定します。詳しくは、NetWareのマニュアル等をご参照ください。




Escapeキーを複数回押下し、PCONSOLEの終了メニューを表示させせます。

※リモートプリンタモードで運用を行うネットワークプリンタ（LANボード）を複数インストールする場合は、続けてこれまでの手順 i) ～ xvii) を繰り返して行ってください。

xviii) プリントサーバ情報の設定は終わりました。Escapeキーを複数回押下して「終了しますか?」メニューを表示させ、［**YES**］を選択してEnterキーを押下し**PCONSOLE**を終了してください。




Enterキー押下にてPCONSOLEを終了します。

4) 追加したプリンタを有効にします。

xix) **PSERVERのRELOAD**

《注意》このオペレーションは、リモートプリンタモードで運用される場合においてのみ必要となるものです。またこのオペレーションでは、一時的にではありますが、現在運用中のリモートプリンタが使用不能に陥る場合があります。オペレーションの実施に際しては事前にシステム管理者の了承を得てください。

前述「**④PSERVERのRELOAD**」の手順に従い、ファイルサーバのコンソール画面で、PSERVERをリロード(RELOAD)します。

リロード後、追加を行ったプリンタが「プリンタリスト」に追加表示されていることで、プリンタの追加が正しく行えたことを確認します。

以上の手順で**NetWare**サーバへの設定は終了です。引き続き**LANボードの設定**を行ってください。LANボードの設定にて『**「NetWareモード」**(設定変数**nw_mode**)へ「**rprinter**」を設定、「プリントサーバ名」(設定変数**pserver**)へこれまで設定を行った**NetWare**プリントサーバ名を設定』した後、**LAN**ボードをリセットするか、プリンタの電源を再投入します。LANボードの［リセットSW］を押下するか、プリンタ本体の電源を「切」→「入」してください。しばらく待った後「プリンタリスト」で［追加を行ったプリンタ］（LANボードのマシン名(設定変数machine_nameに設定されている文字列)に「-0」を付加した名前）を選択しEnterキーを押下して表示されるプリンタ動作状態表示の［カレントステータス］欄が「プリンタ未接続」から「プリントジョブ待機中」へ表示が変わることで確認できます。

⑥ 注意事項。

1) プリンタの印刷動作をより詳細に設定するために、NetWareには **PRINTDEF, PRINTCON, CAPTURE** 等のコマンドが用意されています。内容については、NetWareのマニュアルをご参考ください。

2) これまでの操作例は「**NetWare 4.11J**」の画面表示を元に説明しています。「**NetWare 4.xJ**」は、ほとんど同じ操作でお使いいただ

けます。「**NetWare 3.2J**」以前のバージョンでは、**PCONSOLE**、プリントサーバコンソール等の画面表示が変更されていますが、設定の手順は概ね同様です。また、「**NetWare 5.xJ**」では使用するNetWareユーティリティが異なり、設定の手順も変更になっていますが、基本的な考え方は概ね同様です。「**NetWare 3.xJ**」「**NetWare 5.xJ**」のバージョンについては次ページ以降を参照してください。

3) 詳しくはシステム管理者にお尋ねください。

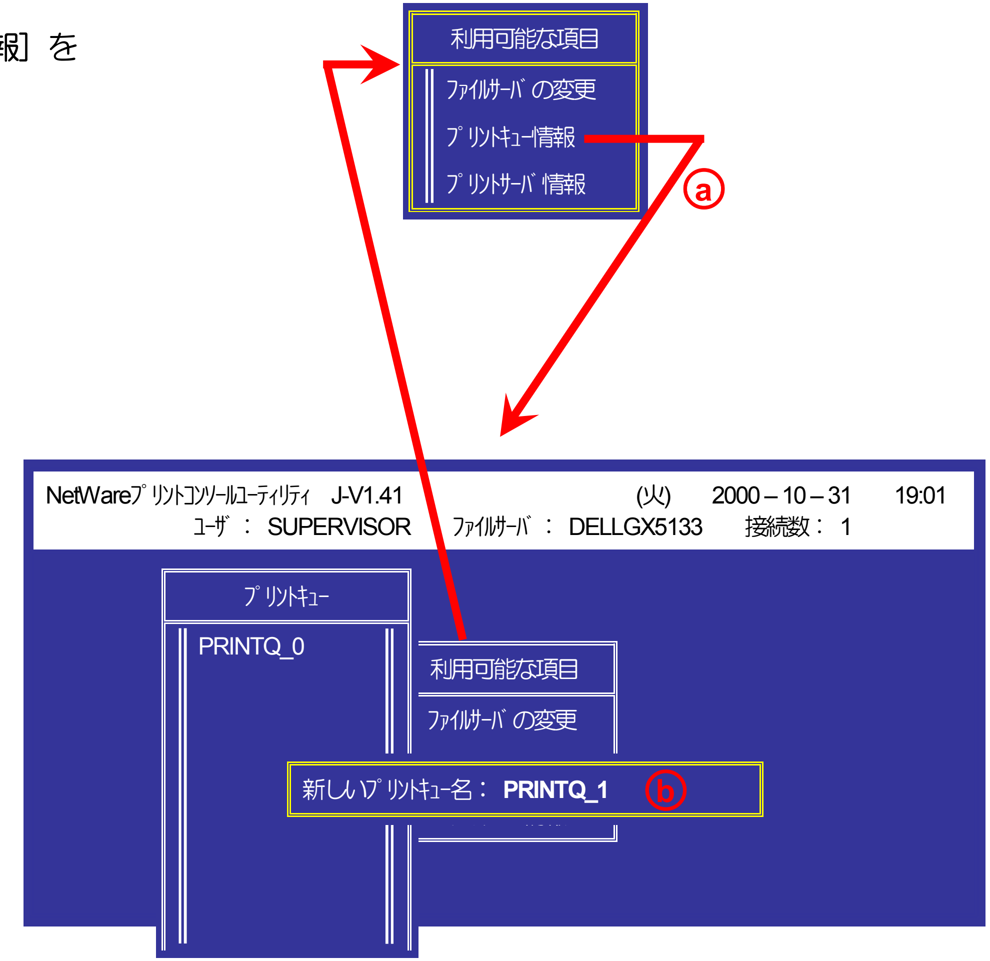
## 3.2.2. NetWare 3.xJ のリモートプリンタモード設定

⑦ **PCONSOLE**を実行します。

⑧ プリントキュー情報を設定します。

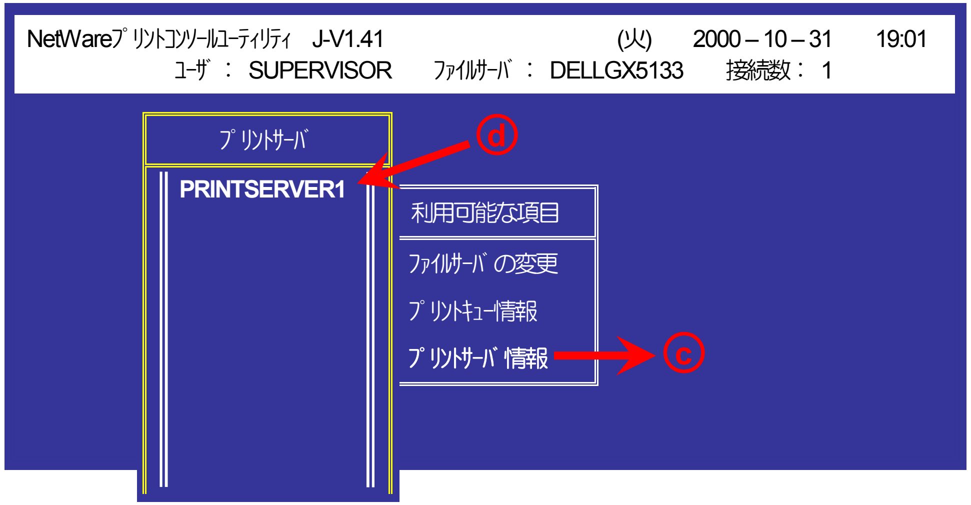
まず「利用可能な項目」メニューから［プリントキュー情報］を選択します(ⓐ)。

プリントキューは既に設定されているものがあると思われますが、既存の運用環境を保全するため、ここでは新規にプリントキューを作成します(ⓑ)。

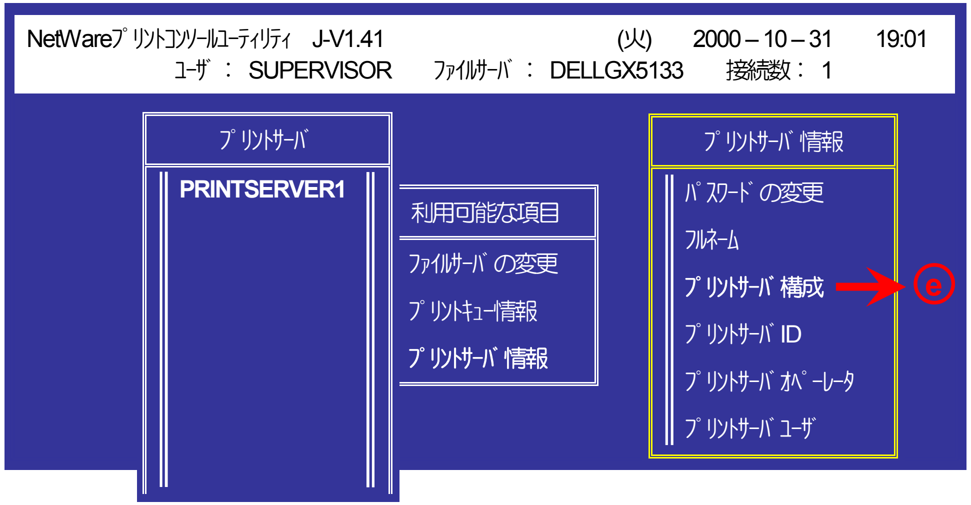


⑨ プリントサーバ情報を設定します。

「利用可能な項目」メニューに戻り、［プリントサーバ情報］を選択します(ⓒ)。プリントサーバが、既に設定してあればそれを利用します。なければ新規に作成を行ってください(ⓓ)。

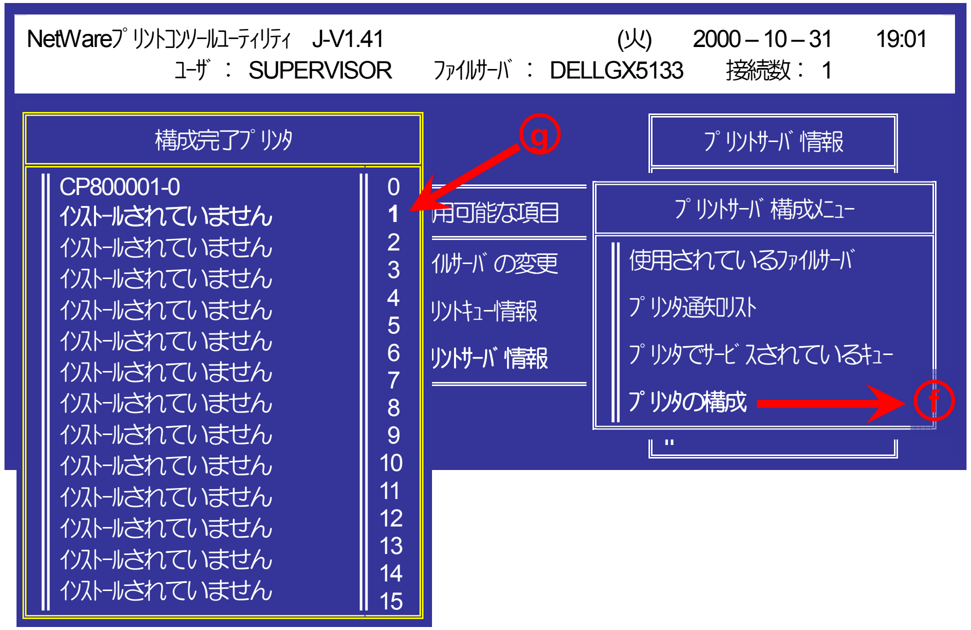



「プリントサーバ情報」メニューから［プリントサーバ構成］を選択します(ⓔ)

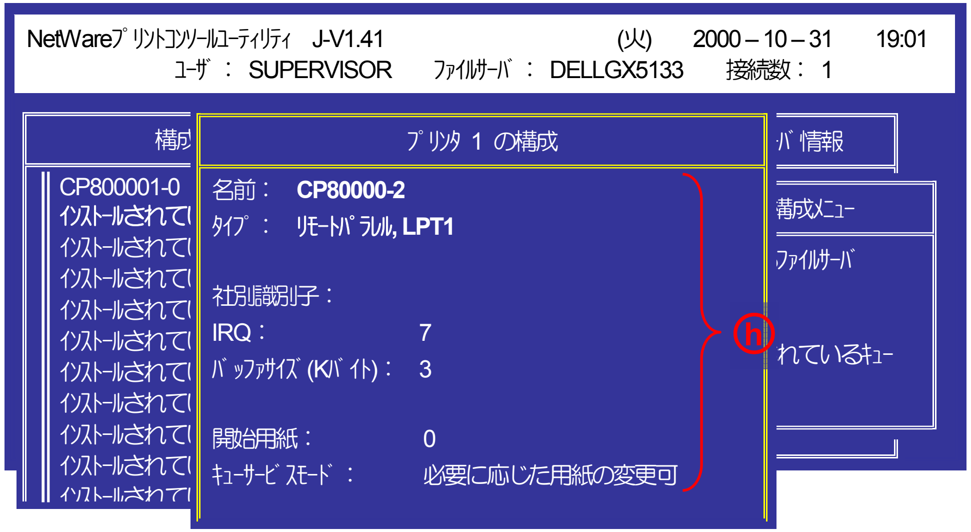


「プリントサーバ構成メニュー」から、［プリンタ構成］を選択します(ⓕ)。

「構成完了プリンタ」メニューから、未インストール（［ｲﾝｽﾄｰﾙされていません］と表示されているところ）のプリンタ番号を選択します(ⓖ)。

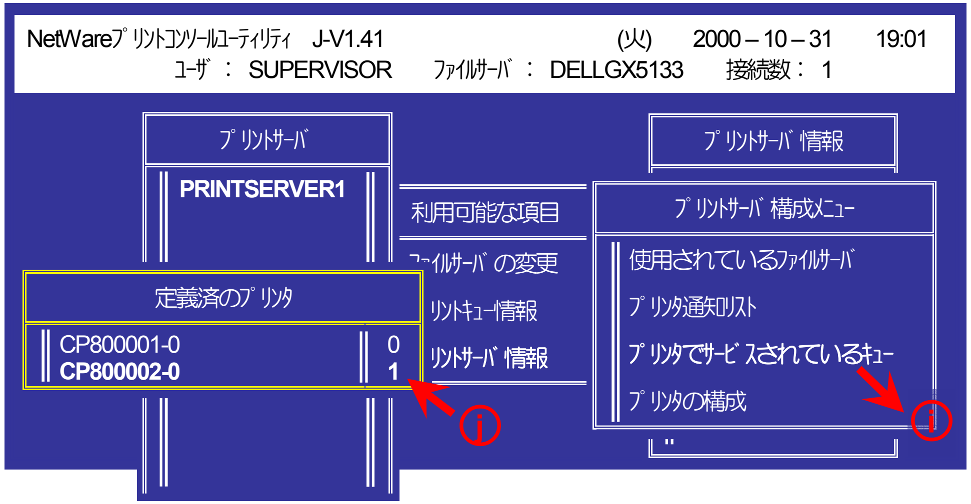



プリンタ名はLANボードのマシン名(設定変数machine_nameに設定されている文字列)に「**-0**」を付加したものを入力してください。LANボードのマシン名は工場出荷時の状態ではEthernetアドレス下**6**桁に「**CP**」を付加したものとなっています。また、プリンタのタイプは「**ﾘﾓｰﾄﾊﾟﾗﾚﾙ, LPTn**」としてください。(ⓗ)

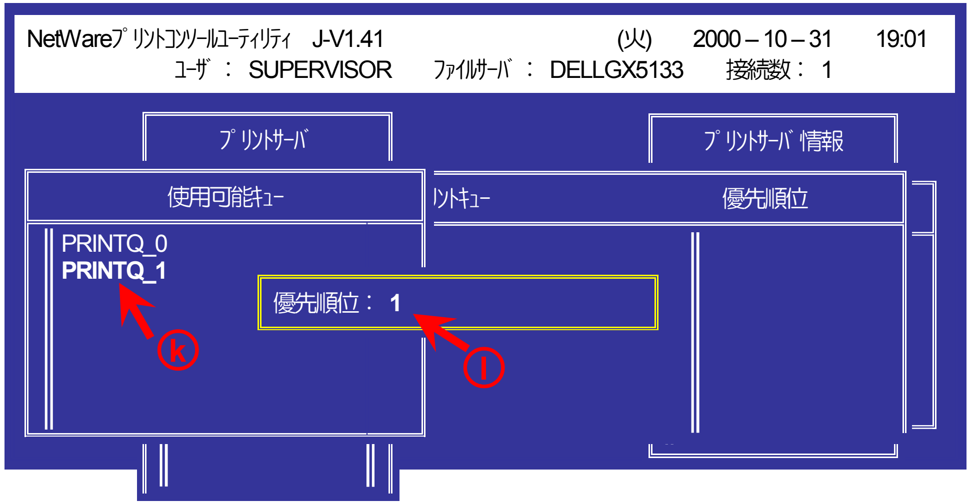


再び「プリントサーバ構成メニュー」に戻り、［プリンタでサービスされているキュー］を選択します(ⓘ)。

続いて「定義済みのプリンタ」メニュー からⓖ～ⓗで追加したプリンタを選択します(ⓙ)。




ⓑで設定したプリントキューを選択し(ⓚ)、その優先順位を決定します(ⓛ)。 優先順位をつけるからには、複数のキューを設定することもできます。 また、同一のキューを複数のプリンタに割り当てることもできますが、詳しくはNetWareのマニュアル等をご参照ください。




⑩ **PSERVERのRELOAD**

《注意》このオペレーションは、リモートプリンタモードで運用される場合においてのみ必要となるものです。またこのオペレーションでは、一時的にではありますが、現在運用中のリモートプリンタが使用不能に陥る場合があります。オペレーションの実施に際しては事前にシステム管理者の了承を得てください。

前述「④**PSERVERのRELOAD**」の手順に従い、サーバのコンソール画面で、PSERVERをリロード(RELOAD)します。

リロード後、追加を行ったプリンタが「プリントサーバコンソール」に追加表示されていることで、プリンタの追加が正しく行えたことを確認します。

```
Novell NetWare v3.2J (40 user)  10/31/97
(C) Copyright 1983-1997 Novell Inc.
All Rights Reserved

Tuesday  October  31, 2000  6:58:31 pm

10/30/00 8:11pm: 0.0.0 Remote Console Connection Granted for ~
FSERVER:UNLOAD PSERVER
Module PSERVER.NLM unloaded
FSERVER:LOAD PSERVER PRINTSERVER
```

以上の手順で**NetWare**サーバへの設定は終了です。引き続き**LANボードの設定**を行ってください。LANボードの設定にて『**「NetWareモード」**(設定変数**nw_mode**)へ「**rprinter**」を設定、「プリントサーバ名」(設定変数**pserver**)へこれまで設定を行った**NetWare**プリントサーバ名を設定』した後、**LAN**ボードをリセットするか、プリンタの電源を再投入します。LANボードの［リセットSW］を押下するか、プリンタ本体の電源を「切」→「入」してください。しばらく待った後「プリントサーバコンソール」の［追加を行ったプリンタ］（LANボードのマシン名(設定変数machine_nameに設定されている文字列)に「-0」を付加した名前）欄に押下して表示されるプリンタ動作状態表示欄が「プリンタ未接続」から「プリントジョブ待機中」へ表示が変わることで確認できます。

プリンタの印刷動作をより詳細に設定するために、NetWareには **PRINTDEF, PRINTCON, CAPTURE** 等のコマンドが用意されています。内容については、NetWareのマニュアルをご参考ください。

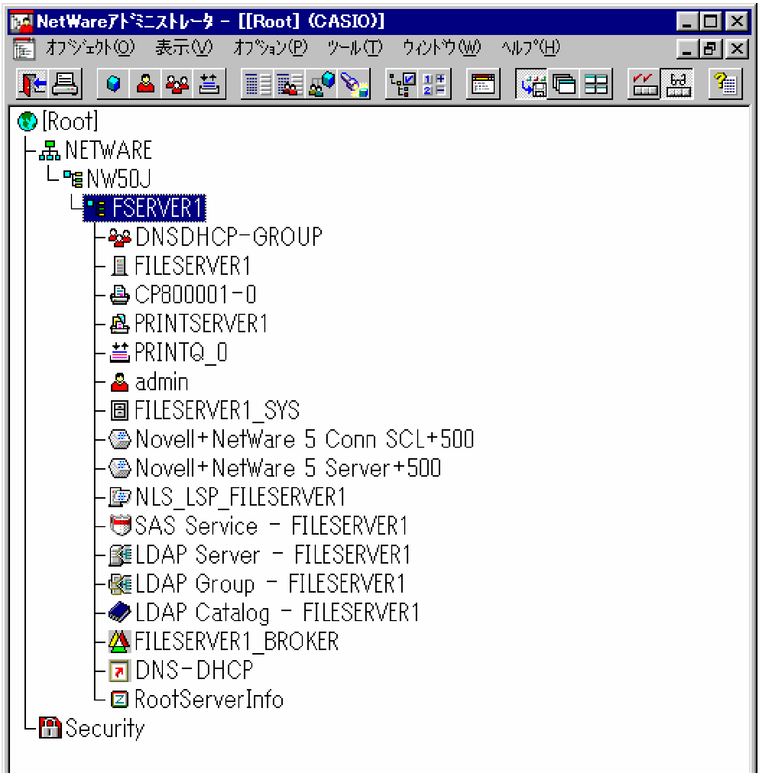
## ３.２.３. NetWare 5.xJ のリモートプリンタモード設定

⑪ **NetWare**アドミニストレータを実行します。

1) 「**SYS:¥PUBLIC¥WIN32¥NWADMIN32.EXE**」を実行します。

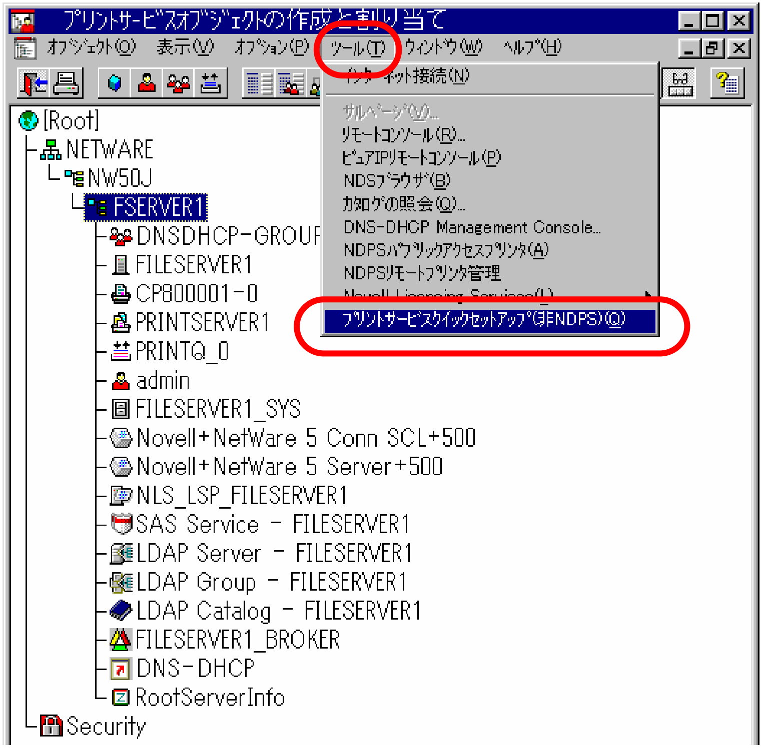



2) コンテナオブジェクトを展開し、ファイルサーバ／プリントサーバのコンテキストを表示させせます。

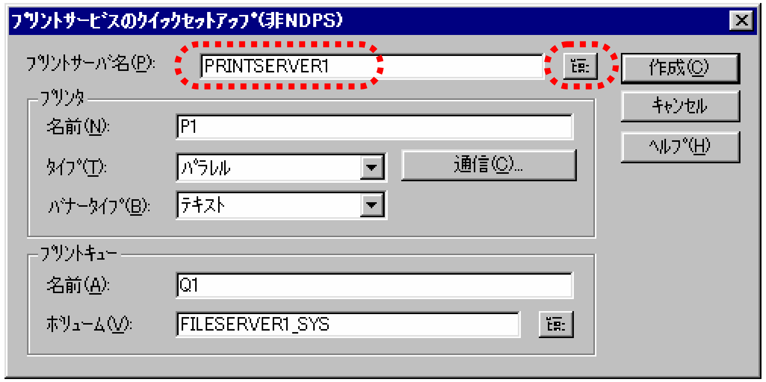


⑫ クイックセットアップによる設定。

3) プリントキューを作成するコンテナオブジェクトを選択(シングルクリック)し、［ツール］メニューから［プリントサービスクイックセットアップ(非NDPS)］を選択してクイックセットアップを起動します。



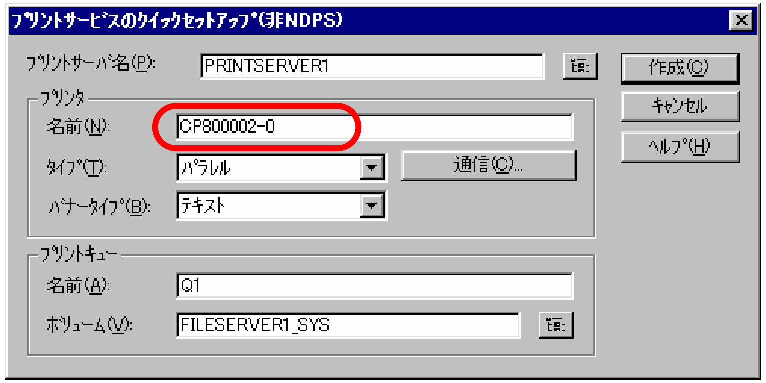
4) プリントキューを作成する［プリントサーバ名］を確認します。異なる場合は【ブラウズ】ボタンをクリックして、正しいプリントサーバを選択します。



5) 「プリンタ」の［名前］を入力します。

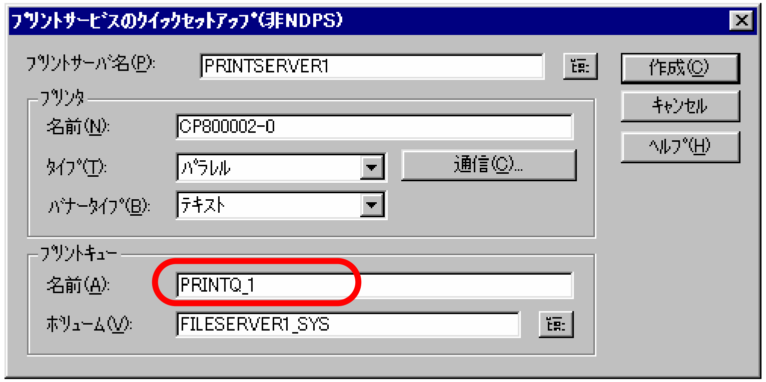
※プリンタ名はLANボードのマシン名(設定変数**machine_name**に設定されている文字列)に「**-0**」を付加した文字列を入力してください。LANボードのマシン名は工場出荷時の状態(または、各種設定用メモリの初期化時の状態)では**Ethernet**アドレスの下**6**桁に「**CP**」を付加した文字列となっています。

(例)LANボードのEthernetアドレス「**080074800002**」の場合、工場出荷時状態(デフォルト)のマシン名は「**CP800002**」となっていますので、新しいプリンタ名には図のように「**CP800002-0**」と入力してください。




6) 「プリントキュー」の［名前］を入力します。

※プリントキューは既に設定されているものがあると思われますが、既存の運用環境を保全するため、ここでは新規のプリントキュー名を作成します。

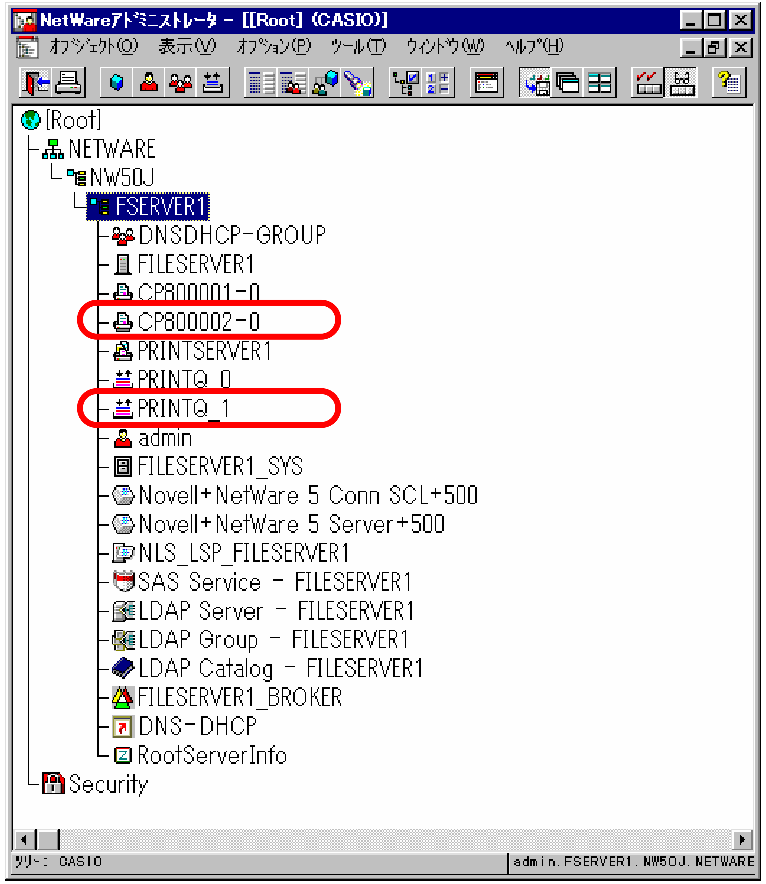



7) 必要に応じて「プリントキュー」の［ボリューム］の設定を変更します。

その他の設定は、変更しないでください。各設定内容を確認後【作成】をクリックして設定を保存することにより、クイックセットアップを終了します。

8) 「**NetWare**アドミニストレータ」画面へ戻ります。

作成したプリンタオブジェクト、プリントキューオブジェクトが、ツリー上の正しい位置に表示されていることを確認してください。




9) 以上で、クイックセットアップによるプリンタの設定は終了です。

※リモートプリンタモードで運用を行うネットワークプリンタ（LANボード）を複数インストールする場合は、続けてこれまでの手順 3) ～8) を繰り返して行ってください。

10)追加したプリンタを有効にします。

**PSERVER**の**RELOAD**を行います。

《注意》このオペレーションは、リモートプリンタモードで運用される場合においてのみ必要となるものです。またこのオペレーションでは、一時的にではありますが、現在運用中のリモートプリンタが使用不能に陥る場合があります。オペレーションの実施に際しては事前にシステム管理者の了承を得てください。

前述「**④PSERVERのRELOAD**」の手順に従い、ファイルサーバのコンソール画面で、PSERVERをリロード(RELOAD)します。
リロード後、追加を行ったプリンタが「プリンタリスト」に追加表示されていることで、プリンタの追加が正しく行えたことを確認します。

以上の手順で**NetWare**サーバへの設定は終了です。引き続き**LANボードの設定**を行ってください。LANボードの設定にて『**「NetWareモード」**(設定変数**nw_mode**)へ「**rprinter**」を設定、「プリントサーバ名」(設定変数**pserver**)へこれまで設定を行った**NetWare**プリントサーバ名を設定』した後、**LAN**ボードをリセットするか、プリンタの電源を再投入します。LANボードの［リセットSW］を押下するか、プリンタ本体の電源を「切」→「入」してください。しばらく待った後「プリンタリスト」で［追加を行ったプリンタ］（LANボードのマシン名(設定変数machine_nameに設定されている文字列)に「-0」を付加した名前）を選択しEnterキーを押下して表示されるプリンタ動作状態表示の［カレントステータス］欄が「プリンタ未接続」から「プリントジョブ待機中」へ表示が変わることで確認できます。

# 3.3. プリントサーバモードの設定

LANボードの諸設定は、NetWare環境で使用するものとしては基本的にリモートプリンタモードをデフォルトとしてあります。ログインスロットを余分に消費しない点、未暗号化パスワードの使用許可設定を行う点、バインンダリエミュレーションモードでのサポート(NetWare 4.1J 以降)、などの諸点を考慮すると、弊社としてはリモートプリンタモードを推奨します。

（注）NetWare 4.1J 以降では、バインダリエミュレーションモードでのサポートとなります。

## 3.3.1. 「未暗号化パスワード使用許可の設定

ファイルサーバのコンソール画面で、「未暗号化パスワード使用許可」の設定を行います。

《注意》ファイルサーバを次回起動時にも設定する必要がありますので、**autoexec.ncf**ファイルにも設定してください。

① 動作中のファイルサーバに、未暗号化パスワード使用許可の設定を行います。

1) ファイルサーバの「**SYSTEM**コンソール」にて、
「**set allow unencrypted passwords = ON**」
とコマンド入力します。

ファイルサーバ SYSTEMコンソール

```
Novell NetWare 4.11  1996 August 22
(C) Copyright 1983-1996 Novell Inc.
All Rights Reserved
特許申請中 - Novell Inc.

Wednesday, 2000 November 1   12:20:23 JST

OEM識別: 999
ﾗｲｾﾝｽ接続の最大数: 100
ｲﾝｽﾄｰﾙ済みﾗｲｾﾝｽ
ｼﾘｱﾙ番号        接続数        ﾗｲｾﾝｽﾀｲﾌﾟ        ﾊﾞｰｼﾞｮﾝ   有効期限
12345678        100           WEB/CONN         4.11      NONE

FILESERVER1: set allow unencrypted passwords = on
```

↓ コマンド入力後Enterキー押下

2) 「**Allow Unencrypted Passwords を ON に設定しました**」と表示され、**set**コマンドは正常に実行されました。

ファイルサーバ SYSTEMコンソール

```
Novell NetWare 4.11  1996 August 22
(C) Copyright 1983-1996 Novell Inc.
All Rights Reserved
特許申請中 - Novell Inc.

Wednesday, 2000 November 1   12:20:23 JST

OEM識別: 999
ﾗｲｾﾝｽ接続の最大数: 100
ｲﾝｽﾄｰﾙ済みﾗｲｾﾝｽ
ｼﾘｱﾙ番号       接続数        ﾗｲｾﾝｽﾀｲﾌﾟ      ﾊﾞｰｼﾞｮﾝ  有効期限
12345678       100           WEB/CONN       4.11     NONE

FILESERVER1: set allow unencrypted passwords = on
Allow Unencrypted Passwords をONに設定しました
FILESERVER1:
```

② **autoexec.ncf**ファイルへ「未暗号化パスワード使用許可」の設定を行います。

1) ファイルサーバの「**SYSTEM**コンソール」にて、「**INSTALL**」ユーティリティを起動します。

NetWare 5.0J 以降では「**NWCONFIG**」ユーティリティを起動します。

ファイルサーバ SYSTEMコンソール

```
Novell NetWare 4.11  1996 August 22
(C) Copyright 1983-1996 Novell Inc.
All Rights Reserved
特許申請中 - Novell Inc.

Wednesday, 2000 November 1   12:20:23 JST

OEM識別: 999
ﾗｲｾﾝｽ接続の最大数: 100
ｲﾝｽﾄｰﾙ済みﾗｲｾﾝｽ
ｼﾘｱﾙ番号       接続数        ﾗｲｾﾝｽﾀｲﾌﾟ      ﾊﾞｰｼﾞｮﾝ  有効期限
12345678       100           WEB/CONN       4.11     NONE

FILESERVER1: load install
```

↓ コマンド入力後Enterキー押下

2) 「インストールオプション」メニューから、「**NCF**ファイルオプション」を選択します。




「**NCF**ファイルオプション」を選択し、Enterキー押下

3) 「利用可能な**NCF**ファイルオプション」メニューから「**AUTOEXEC.NCF**ファイルの編集」を選択します。



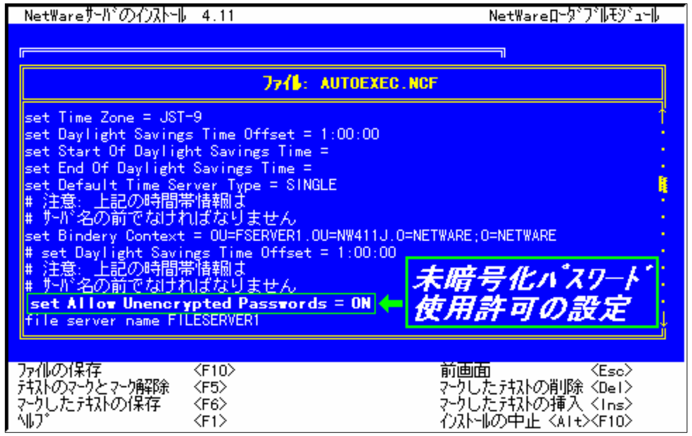

「**AUTOEXEC.NCF**ファイルの編集」を選択し、Enterキー押下

4) 未暗号化パスワード使用許可設定のためのコマンドを追加します。

※**AUTOEXEC.NCF**の適切な位置に

「**set　allow　unencrypted　passwords　=　ON**」

と１行追加します。




「**set allow unencrypted passwords = ON**」行を追加後、【**F10**】キーを押下し**AUTOEXEC.NCF**ファイルを保存します。保存終了後、Escapeキーを２回押下します。

5) 「インストール」ユーティリティを終了します。



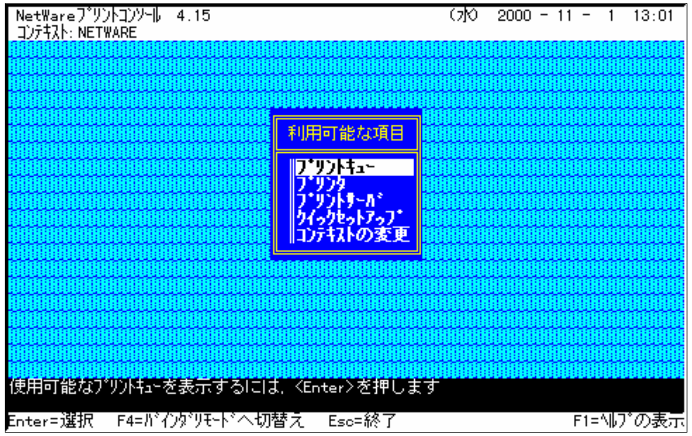

「**Yes**」を選択後Enterキーを押下し、「インストール」を終了します。

## ３.３.２. NetWare 4.xJ のプリントサーバモードの設定

① PCONSOLEを実行します。

1) PCONSOLEを起動後、【**F4**】キーを押下し「バインダリモードへ切替え」を行います。

※**NetWare 4.x** では、プリントサーバモードはバインダリエミュレーションモードでのサポートとなります。

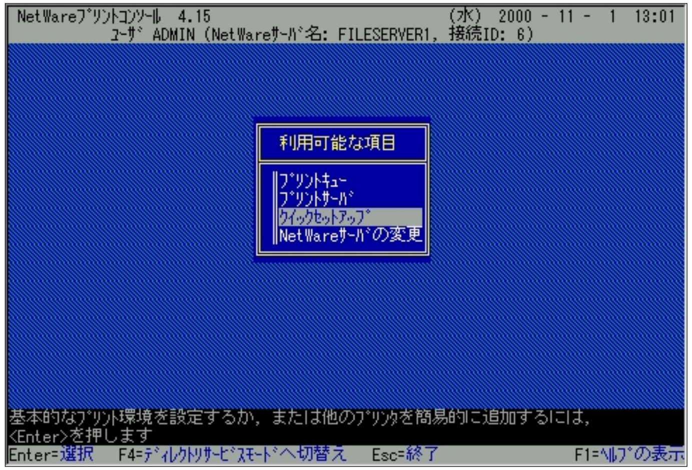



【**F4**】キーを押下し「バインダリモードへ切替え」を行います。



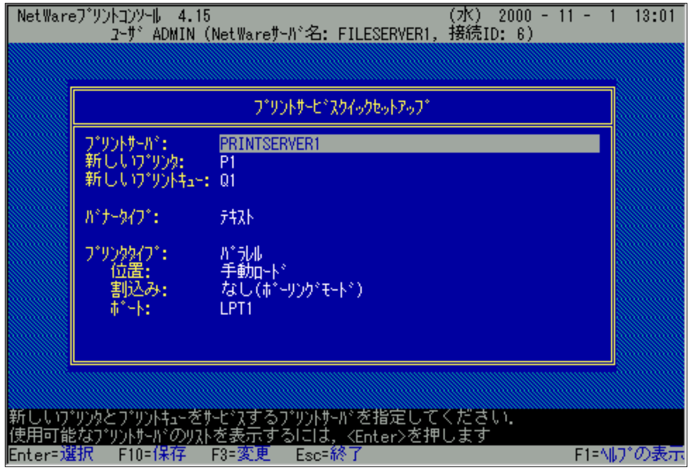
## ② クイックセットアップによる設定。

1) 「利用可能な項目」メニューから［クックセットアップ］を選択します。




Enterキー押下

2) ［プリントサーバ］欄へカーソルを移動します。




プリントサーバ名の入力開始

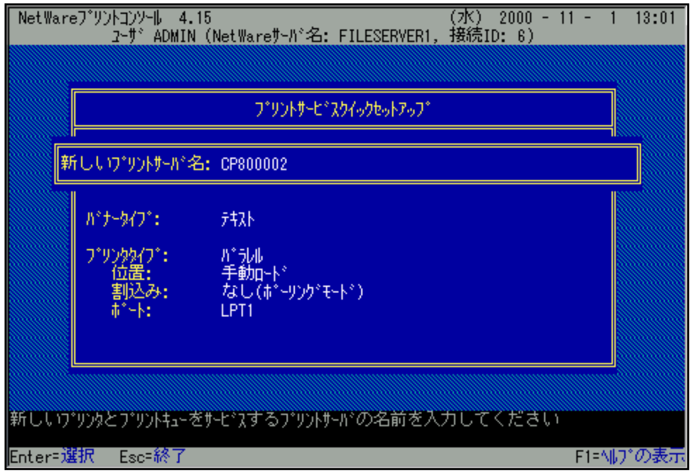
3) ［新しいプリントサーバ名］の入力を開始します。

入力ボックスはプリントサーバ名の入力を開始すると自動的に表示されます。

入力終了後、Enterキーを押下して確定します。

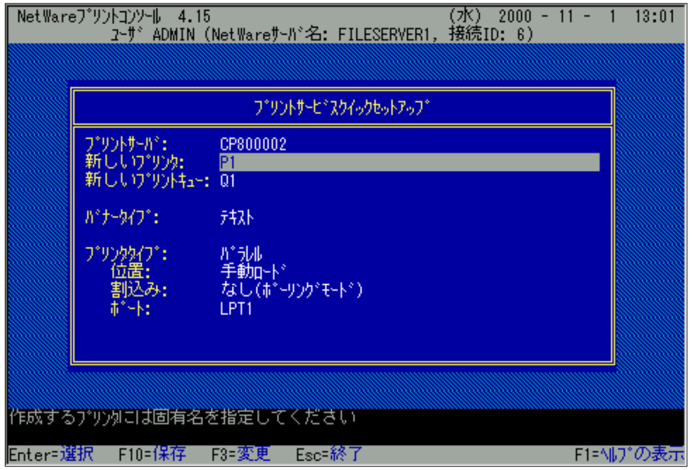
※プリントサーバ名は[LANボードのマシン名(設定変数**machine_name**に設定されている文字列)]を入力してください。LANボードのマシン名は工場出荷時の状態では[**Ethernet**アドレス]の下6桁に「**CP**」を付加した文字列となっています。

(例)LANボードのEthernetアドレスが「**080074800002**」の場合、工場出荷時状態(デフォルト)のマシン名は「**CP800002**」となっていますので、［新しいプリントサーバ名］には図のように「**CP800002**」と入力してください。




プリントサーバ名入力後、Enterキー押下

4) ［新しいプリンタ］欄へカーソルを移動します。




プリンタ名の入力開始

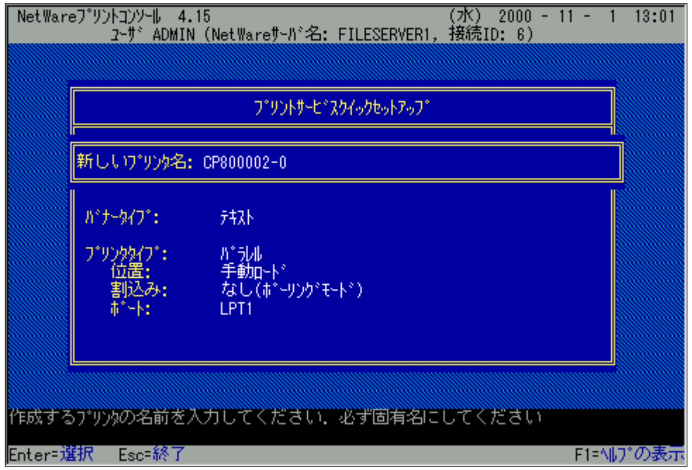
5) ［新しいプリンタ名］の入力を開始します。

入力ボックスはプリンタ名の入力を開始すると自動的に表示されます。

入力終了後、Enterキーを押下して確定します。

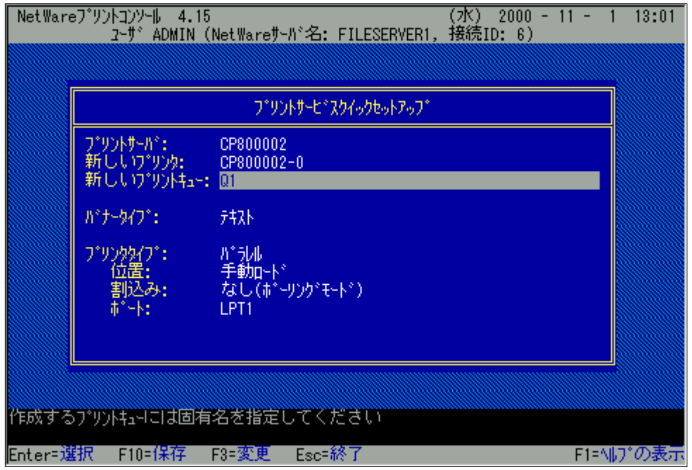
※プリンタ名は**LANボードのマシン名(設定変数machine_nameに設定されている文字列)**に「**-0**」を付加した文字列を入力してください。LANボードのマシン名は工場出荷時の状態(または、各種設定用メモリの初期化時の状態)では**Ethernetアドレス**の下**6**桁に「**CP**」を付加した文字列となっています。

(例)LANボードの**Ethernet**アドレスが「**080074800002**」の場合、工場出荷時状態(デフォルト)のマシン名は「**CP800002**」となっていますので、［新しいプリンタ名］には図のように「**CP800002-0**」と入力してください。




プリンタ名入力後、Enterキー押下

6) ［新しいプリントキュー］欄へカーソルを移動します。

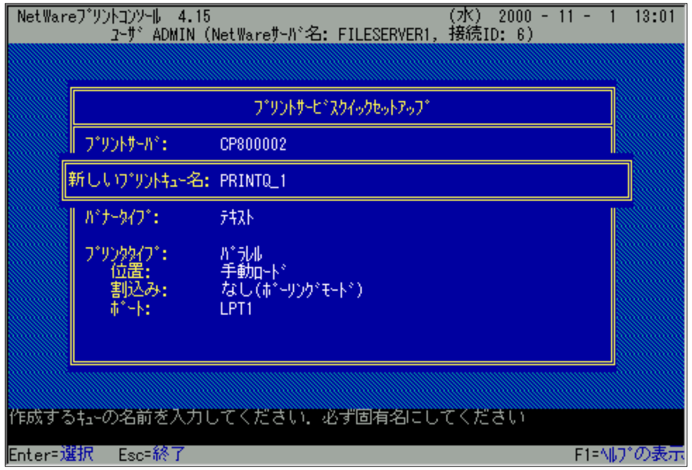



プリントキュー名の入力開始

7) 続けて［新しいプリントキュー］名を入力します。

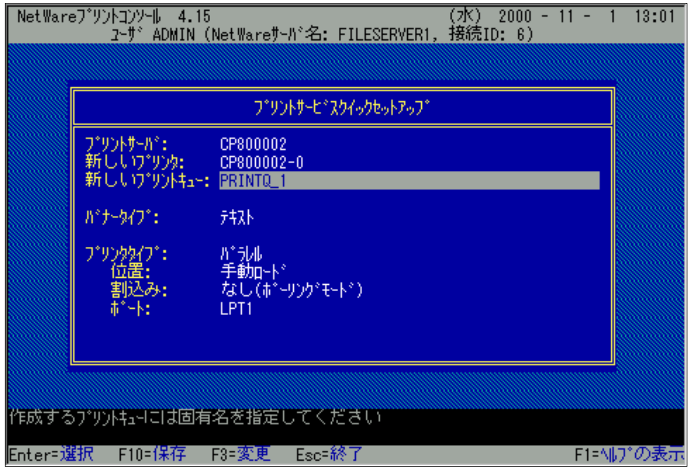
入力ボックスはプリントキュー名の入力を開始すると自動的に表示されます。

※プリントキューは既に設定されているものがあると思われますが、既存の運用環境を保全するため、ここでは新規のプリントキュー名を作成します。



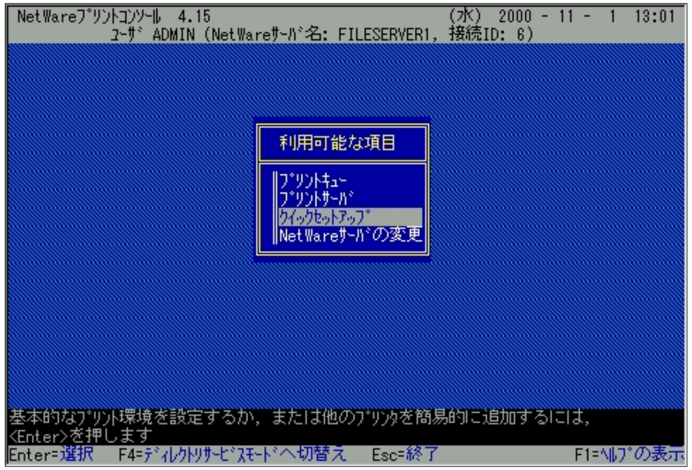

プリントキュー名入力後、Enterキー押下

8) 各設定内容を確認後、**【F10】**キーを押下して設定を保存することにより、クイックセットアップを終了します。




【F10】キー押下

9) 以上で、クイックセットアップによるプリンタの設定は終了です。




10) プリントサーバ（プリントサーバモードで運用を行うLANボード）を複数インストールする場合は、続けてこれまでの手順 **1)**～**8)** を繰り返して行ってください。

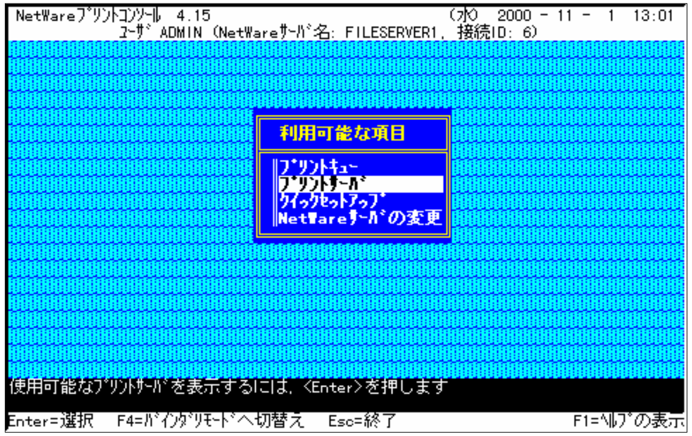
※複数のファイルサーバで１台のプリントサーバ（プリントサーバモードで運用を行うLANボード）を使用する場合、「利用可能な項目」メニューにて［**NetWare**サーバの変更］を選択し、「カレントサーバ」メニューから該当の**NetWare**サーバを選択した後、これまでの手順 **1)**～**9)** を行ってください。

（注）以上の手順で**NetWare**サーバへの設定は終了です。引き続き**LAN**ボードの設定を行ってください。LANボードの設定にて『「**NetWare**モード」(設定変数**nw_mode**)へ「**pserver**」を設定、「ファイルサーバ名」(設定変数**fserver1**～**fserver4**のいずれか)へこれまで設定を行った**NetWare**ファイルサーバ名を設定』した後、**LAN**ボードをリセットするか、プリンタの電源を再投入します。LANボードの［リセットSW］を押下するか、プリンタ本体の電源を「切」→「入」してください。しばらく待ちますと、LANボードのマシン名(設定変数machine_nameに設定されている文字列)がプリントサーバとしてファイルサーバへログインされます。ファイルサーバの「コンソールモニタ」の「接続情報」、またはクライアントパソコンから「**NLIST USER /A /B**」「**NLIST USER={LAN**ボードマシン名**} /A /B**」コマンド等を実行すると、LANボードのマシン名がプリントサーバとしてしてログインしていることを確認できます。

③ クイックセットアップを使用しない場合の設定方法。

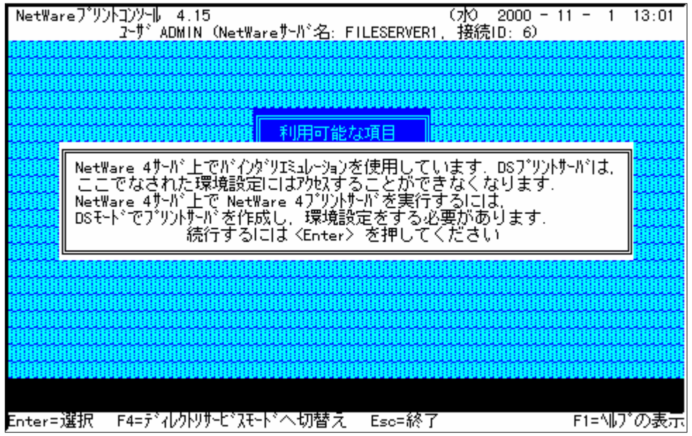
1) プリントサーバ情報を設定します。

i) 「利用可能な項目」メニューから［プリントサーバ］を選択します。




［プリントサーバ］を選択しEnterキー押下

※NetWare 4 サーバ上でバインダリエミュレーションを使用する際の注意メッセージが表示されますが、Enterキーを押下してプリントサーバ情報の設定を続行します。




Enterキー押下

ii) ここでのプリントサーバはこれからインストールを行うＬＡＮボードそのものを意味しますので、新規に作成を行います。

※【Insert】キーを押下し｢挿入｣を行います。




Insertキー押下

iii) ［新しいプリントサーバ名］の入力を行います。

プリントサーバ名は**LANボードのマシン名(設定変数machine_nameに設定されている文字列)**を入力してください。
LANボードのマシン名は工場出荷時の状態では**Ethernetアドレス**の下**6**桁に「**CP**」を付加した文字列となっています。

(例)LANボードのEthernetアドレスが「**080074800002**」の場合、工場出荷時状態(デフォルト)のマシン名は「**CP800002**」となっていますので、新しいプリントサーバ名には図のように「**CP800002**」と入力してください。




［新しいプリントサーバ名］入力後Enterキー押下

iv) 「プリントサーバ」メニューから **iii)** で作成したプリントサーバを選択して
Enterキーを押下します。




「プリントサーバ」を選択しEnterキー押下

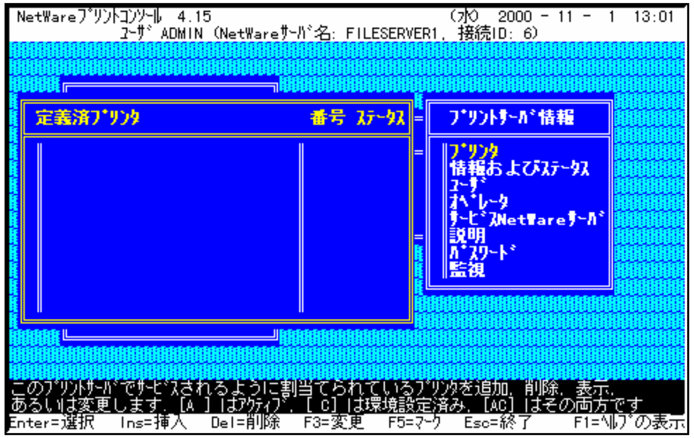
v) 「プリントサーバ情報」メニューから［プリンタ］を選択します。




［プリンタ］を選択しEnterキー押下

vi) 「定義済プリンタ」へプリンタの追加を行います。

【**Insert**】キーを押下して、挿入を選択します。

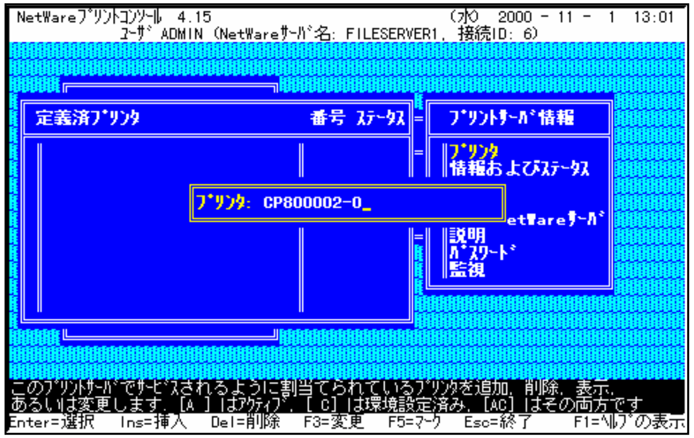



【**Insert**】キー押下

vii) ［プリンタ］名の入力を行います。

プリンタ名には図のように、LANボードのマシン名(設定変数**machine_name**に設定されている文字列)に「**-0**」を付加したものを入力してください。LANボードのマシン名は工場出荷時の状態では**Ethernet**アドレスの下**6**桁に「**CP**」を付加した文字列となっています。

(例)LANボードの**Ethernet**アドレスが「**080074800002**」の場合、工場出荷時状態(デフォルト)のマシン名は「**CP800002**」となっていますので、プリンタ名には図のように「**CP800002-0**」と入力してください。




Enterキー押下にて入力確定

viii) 「定義済プリンタ」メニューから vii) で追加したプリンタを選択し、プリンタの環境設定を行います。




追加したプリンタを選択、Enterキー押下

ix) ここではプリントキュー割り当てのみ行います。

［プリントキュー割り当て］を選択します。

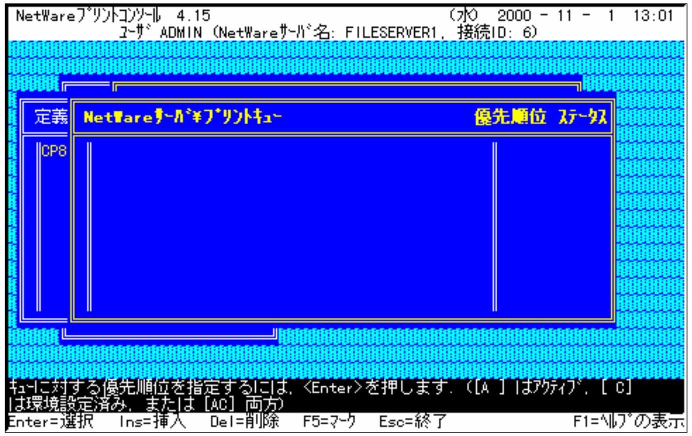
※［プリンタタイプ］は「パラレル」に設定してください。［環境設定］を選択して設定する「パラレルプリンタ指定」は［ポート］を「**LPT1**」に、［位置］を「手動ロード」に、それぞれ設定してください。その他は必要に応じて設定してください。




［プリントキュー割り当て］を選択、Enterキー押下

x) 割り当てるプリントキューの追加を行います。

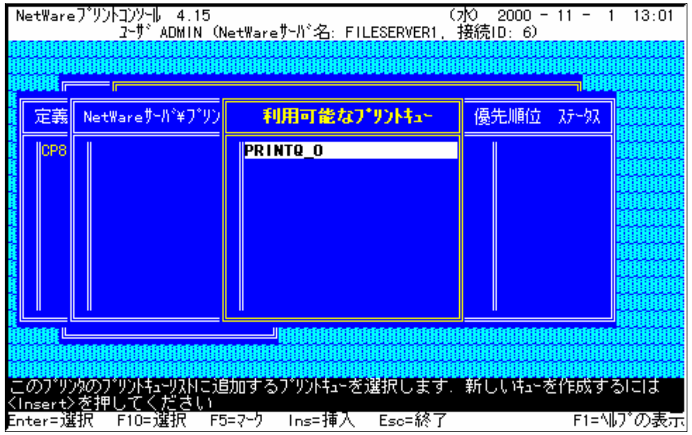
【Insert】キーを押下して、挿入を選択します。




【Insert】キー押下

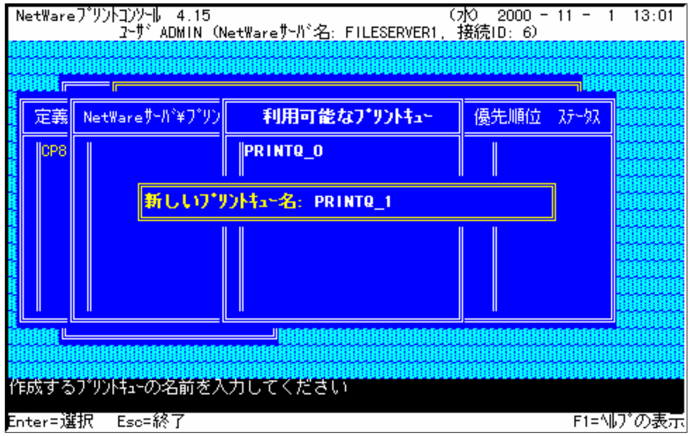
xi) プリントキューは既に設定されているものがあると思われますが、既存の運用環境を保全するため、ここでは新規にプリントキューを作成します。

「利用可能なプリントキュー」メニューから【Insert】キーを押下し、プリントキューの追加を選択します。




【Insert】キー押下

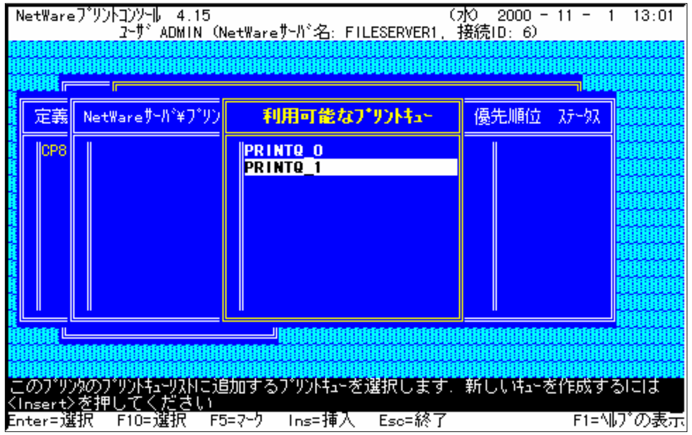
xii) ［新しいプリントキュー名］を入力します。




Enterキー押下にて入力確定

xiii) xii) で追加したプリントキューを選択してEnterキーを押下します。

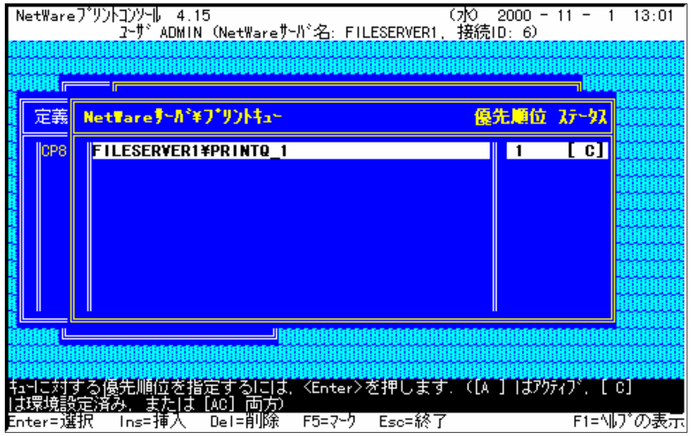
※プリントキューを複数割り当てることもできます。




プリントキュー選択後、Enterキー押下

xiv)必要に応じてプリントキューの優先順位を変更します。

Escapeキーを複数回押下します。




Escapeキーを複数回押下

xv) プリントサーバ情報の設定は終了しました。

Escapeキーを複数回押下して**PCONSOLE**を終了します。




Escapeキーを複数回押下し、
**PCONSOLE.EXE**を終了

プリントサーバ（プリントサーバモードで運用を行うLANボード）を複数インストールする場合は、続けてこれまでの手順 ii)～xiv) を繰り返して行ってください。

※複数のファイルサーバで１台のプリントサーバ（プリントサーバモードで運用を行うLANボード）を使用する場合、「利用可能な項目」メニューにて［**NetWare**サーバの変更］を選択し、「カレントサーバ」メニューから該当の**NetWare**サーバを選択した後、これまでの手順 **i)**～**xiv)** を行ってください。

（注）以上の手順で**NetWare**サーバへの設定は終了です。引き続き**LAN**ボードの設定を行ってください。LANボードの設定にて『「**NetWare**モード」(設定変数**nw_mode**)へ「**pserver**」を設定、「ファイルサーバ名」(設定変数**fserver1**～**fserver4**のいずれか)へこれまで設定を行ったNetWareファイルサーバ名を設定』した後、**LAN**ボードをリセットするか、プリンタの電源を再投入します。LANボードの［リセットSW］を押下するか、プリンタ本体の電源を｢切｣→｢入｣してください。しばらく待ちますと、LANボードのマシン名(設定変数machine_nameに設定されている文字列)がプリントサーバとしてファイルサーバへログインされます。ファイルサーバの「コンソールモニタ」の「接続情報」、またはクライアントパソコンから「**NLIST USER /A /B**」「**NLIST USER={LAN**ボードマシン名**} /A /B**」コマンド等を実行すると、LANボードのマシン名がプリントサーバとしてしてログインしていることを確認できます。

④ 注意事項。

1) プリンタの印刷動作をより詳細に設定するために、NetWareには **PRINTDEF, PRINTCON, CAPTURE** 等のコマンドが用意されています。内容については、NetWareのマニュアルをご参考ください。

2) これまでの操作例は「**NetWare 4.11J**」の画面表示を元に説明しています。「**NetWare 4.xJ**」は、ほとんど同じ操作でお使いいただけます。「**NetWare 3.2J**」以前のバージョンでは、**PCONSOLE**、プリントサーバコンソール等の画面表示が変更されていますが、設定の手順は概ね同様です。また、「**NetWare 5.xJ**」では使用するNetWareユーティリティが異なり、設定の手順も変更になっていますが、基本的な考え方は概ね同様です。「**NetWare 3.xJ**」「**NetWare 5.xJ**」のバージョンについては次ページ以降を参照してください。

3) 詳しくはシステム管理者にお尋ねください。

## ３.３.３. NetWare 3.xJ のプリントサーバモードの設定

⑤ファイルサーバのコンソール画面で、「末暗号化パスワード使用許可」の設定を行います。

《注意》ファイルサーバを次回起動時にも設定する必要がありますので、**autoexec.ncf**ファイルにも設定してください。

設定方法は、「３.３.１. 「末暗号化パスワード使用許可の設定」を参照してください。

⑥ **PCONSOLE**を実行します。

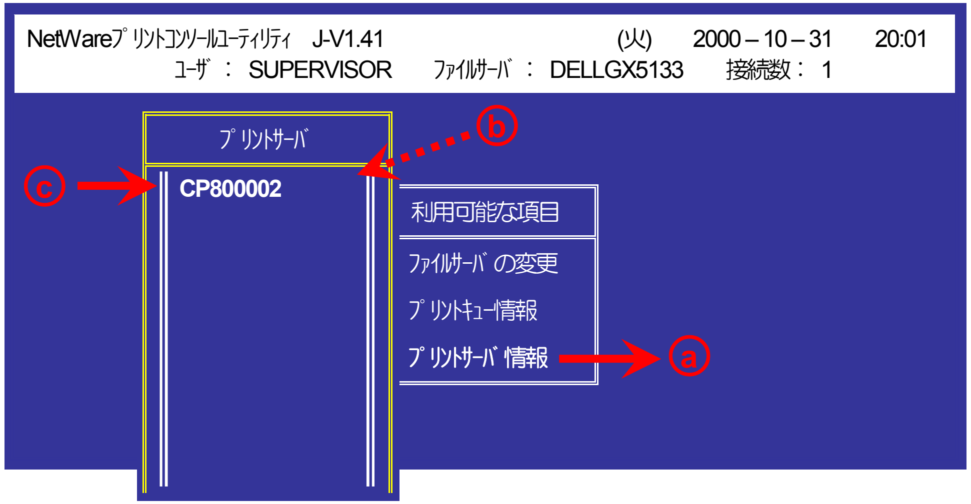
⑦プリントサーバ情報を設定します。

i) まず「利用可能な項目」メニューから［プリントサーバ情報］を選択します( ⓐ )。

プリントサーバはこれからインストールを行うLANボードそのものを意味しますので、新規に作成を行います。( ⓑ )

【**Insert**】キーを押下し「新しいプリントサーバ名」の入力を行います。プリントサーバ名は**LAN**ボードのマシン名(設定変数**machine_name**に設定されている文字列)を入力してください。

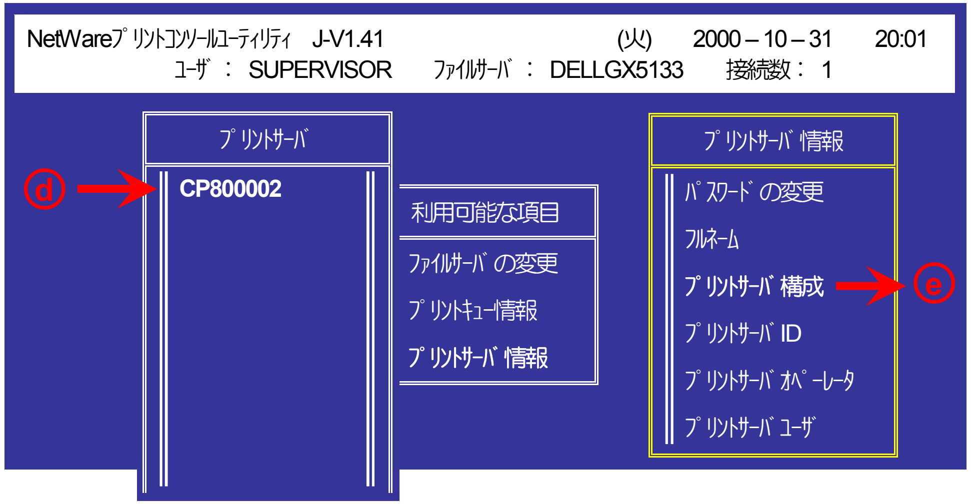
LANボードのマシン名は工場出荷時の状態では**Ethernet**アドレスの下**6**桁に「**CP**」を付加したものとなっています( ⓒ )。




ii) 新規に作成したプリントサーバに対してプリントサーバ

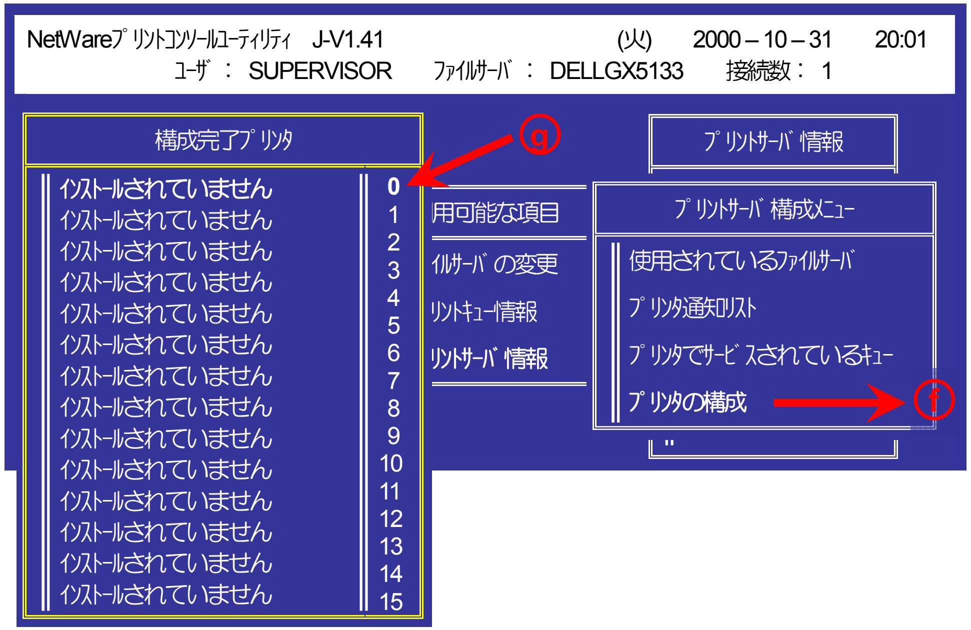
情報の設定を行います。「プリントサーバ」メニューから新規に作成したプリントサーバ( ⓓ )。を選択してEnterキーを押下します。

iii) 「プリントサーバ情報」メニューから［プリントサーバ構成］を選択します(ⓔ)

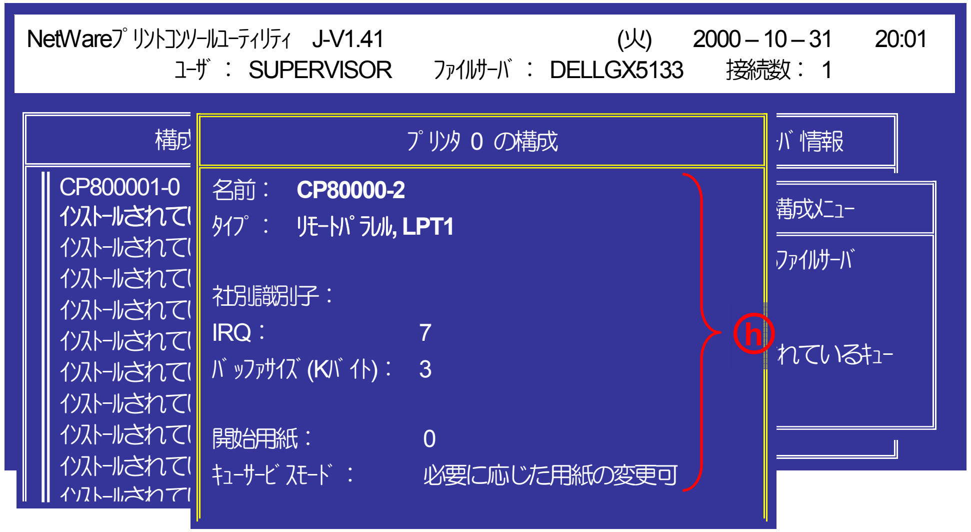



iv) 「プリントサーバ構成メニュー」から、［プリンタの構成］を選択します(ⓕ)。

「構成完了プリンタ」メニューから、未インストール（［ｲﾝｽﾄｰﾙされていません］と表示されているところ）のプリンタ番号を選択します(ⓖ)。



v) プリンタ名は<u>**LAN**ボードのマシン名(設定変数 **machine_name**に設定されている文字列)</u>に「**-0**」を付加したものを入力してください。LANボードのマシン名は工場出荷時の状態では<u>**Ethernet**アドレス</u>下**6**桁に「**CP**」を付加したものとなっています。また、プリンタのタイプは「ﾘﾓｰﾄﾊﾟﾗﾚﾙ, **LPTn**」としてください。(ⓗ)

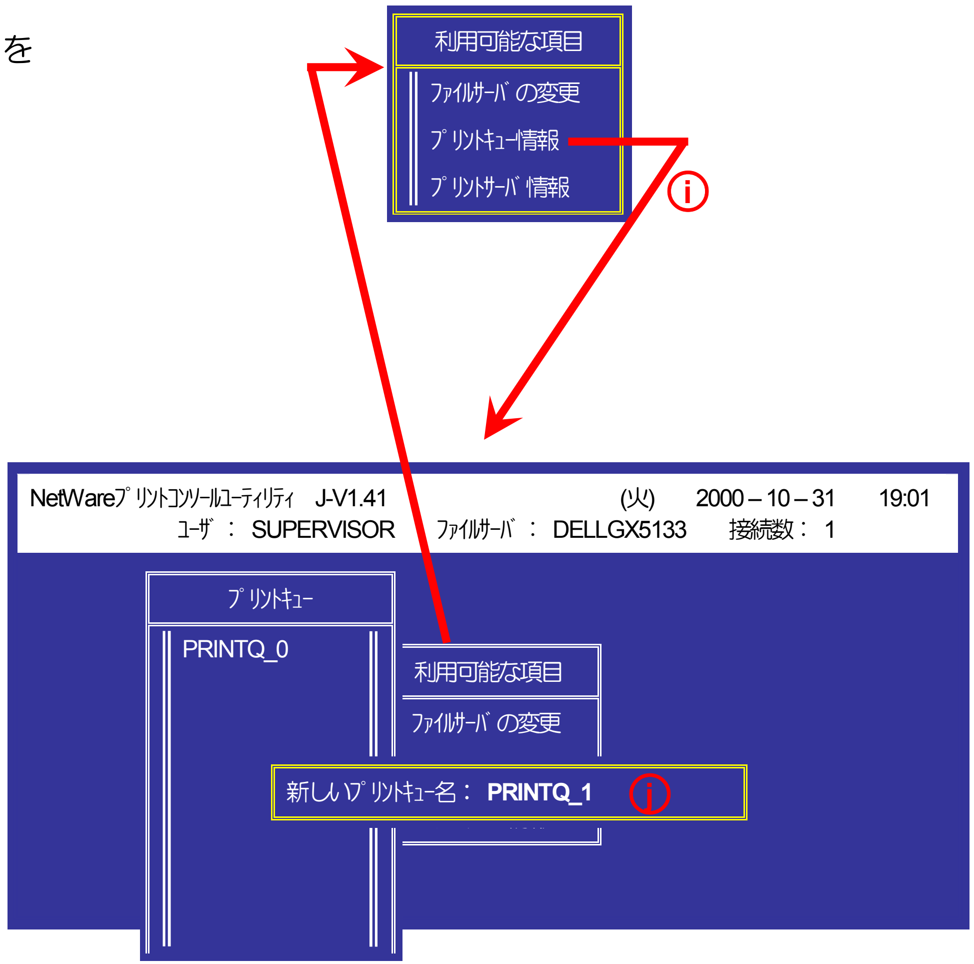


⑧ プリントキュー情報を設定します。

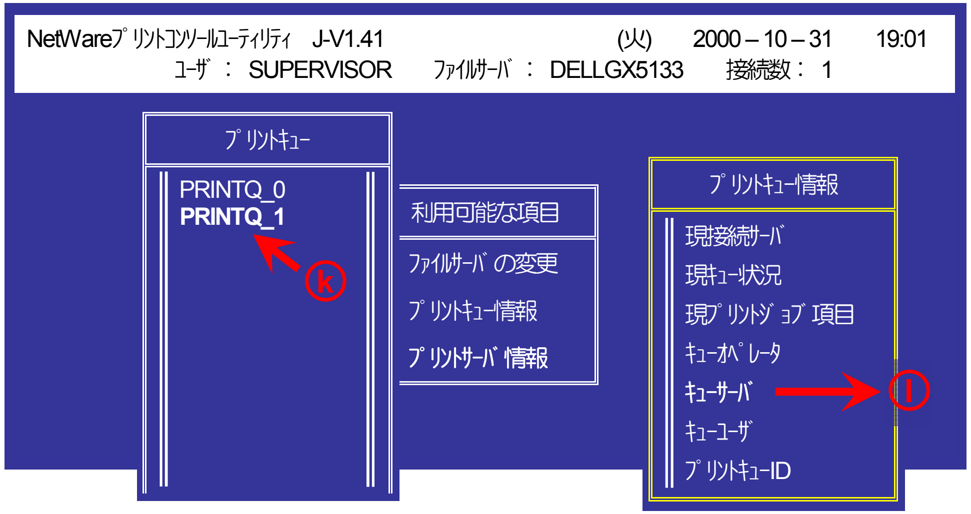
vi) 「利用可能な項目」メニューに戻り［プリントキュー情報］を選択します(ⓘ)。

vii)プリントキューは既に設定されているものがあると思われますが、既存の運用環境を保全するため、ここでは新規にプリントキューを作成します(ⓘ)。

【Insert】キーを押下し「新しいプリントキュー名」の入力を行います。

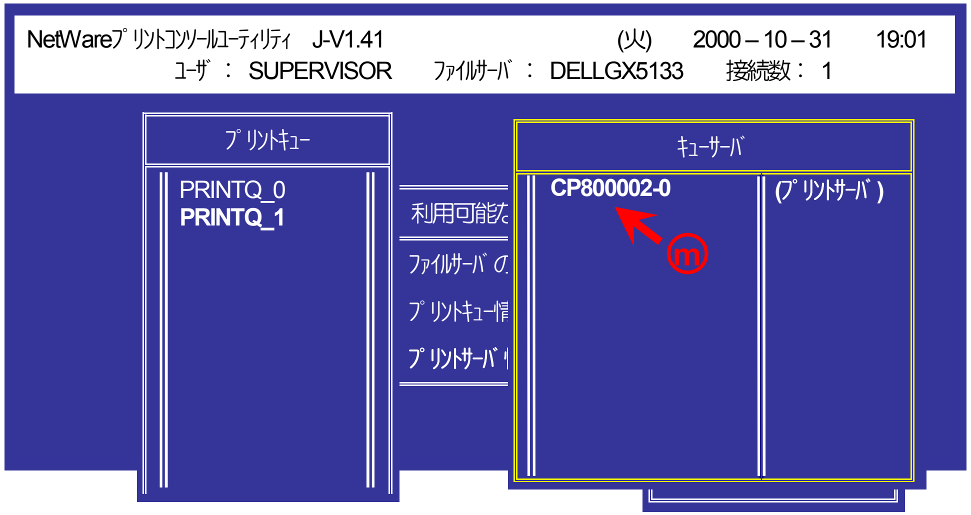


新規に作成されたプリントキューにキューサーバを設定すべく、作成したプリンタキューを選択し(ⓚ)Enterキーを押下して表示される「プリントキュー情報」メニューから［キューサーバ］を選択します(ⓛ)。




キューサーバとしてⓒで追加してプリントサーバを設定してください(ⓜ)。

【Insert】キーを押下し表示されたプリントサーバ一覧からⓒで追加したプリントサーバを選択しEnterキーを押下することにより設定します。



（注）以上の手順で**NetWare**サーバへの設定は終了です。引き続き**LANボードの設定**を行ってください。LANボードの設定にて『「**NetWareモード**」(設定変数**nw_mode**)へ「**pserver**」を設定、「ファイルサーバ名」(設定変数**fserver1**～**fserver4**のいずれか)へこれまで設定を行った**NetWare**ファイルサーバ名を設定』した後、**LAN**ボードをリセットするか、プリンタの電源を再投入します。LANボードの［リセットSW］を押下するか、プリンタ本体の電源を「切」→「入」してください。しばらく待ちますと、LANボードのマシン名(設定変数machine_nameに設定されている文字列)がプリントサーバとしてファイルサーバへログインされます。ファイルサーバの「コンソールモニタ」の「接続情報」、またはクライアントパソコンから「**USERLIST**」コマンド等を実行すると、LANボードのマシン名がプリントサーバとしてしてログインしていることを確認できます。

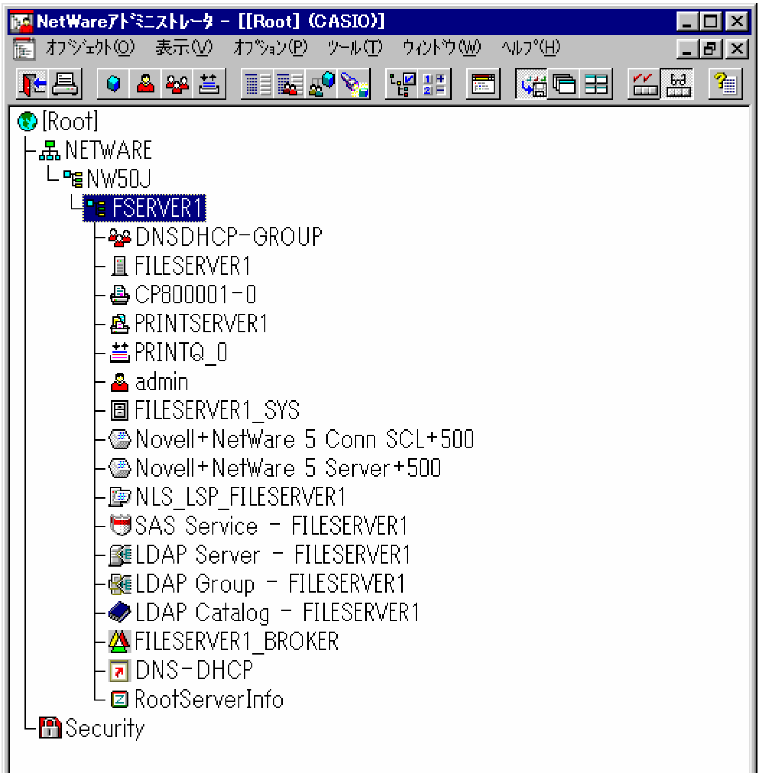
## ３.３.４. NetWare 5.xJ のプリントサーバモード設定

⑨ NetWareアドミニストレータを実行します。

1) 「**SYS:¥PUBLIC¥WIN32¥NWADMIN32.EXE**」を実行します。

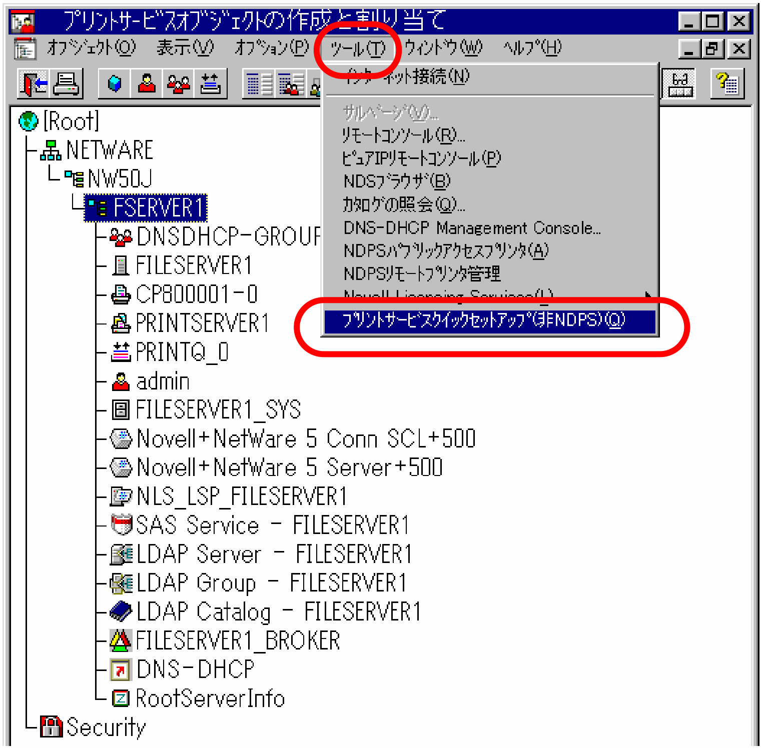



2) コンテナオブジェクトを展開し、ファイルサーバ／プリントサーバのコンテキストを表示させせます。



⑩ クイックセットアップによる設定。

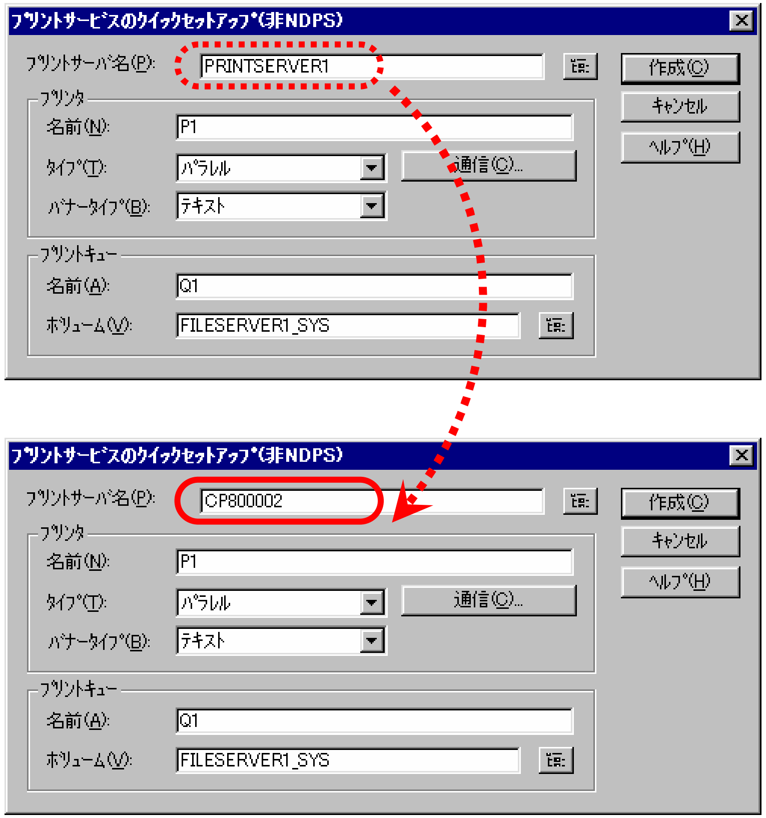
1) プリントキューを作成するコンテナオブジェクトを選択(シングルクリック)し、［ツール］メニューから［プリントサービスクイックセットアップ(非NDPS)］を選択してクイックセットアップを起動します。



2) ［プリントサーバ名］を入力します。

※プリントサーバ名は**LANボードのマシン名(設定変数machine_name**に設定されている文字列)を入力してください。
LANボードのマシン名は工場出荷時の状態(または､各種設定用メモリの初期化時の状態)では**Ethernet**アドレスの下**6**桁に「**CP**」を付加した文字列となっています。

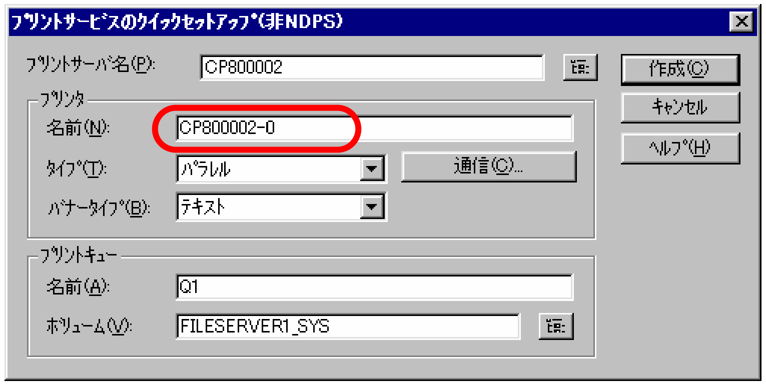
(例)LANボードのEthernetアドレスが「**080074800002**」の場合、工場出荷時状態(デフォルト)のマシン名は「**CP800002**」となっていますので、プリントサーバ名は図のように「**CP800002**」と入力してください。




3) 「プリンタ」の［名前］を入力します。

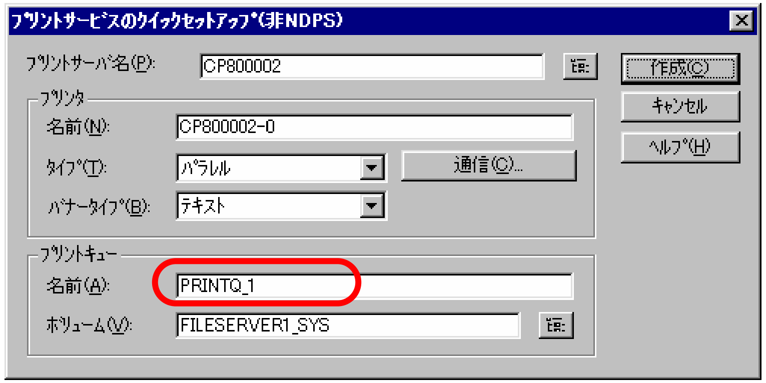
※プリンタ名は**LANボードのマシン名(設定変数machine_name**に設定されている文字列)に「**-0**」を付加した文字列を入力してください。LANボードのマシン名は工場出荷時の状態(または､各種設定用メモリの初期化時の状態)では**Ethernet**アドレスの下**6**桁に「**CP**」を付加した文字列となっています。

(例)LANボードのEthernetアドレス「**080074800002**」の場合、工場出荷時状態(デフォルト)のマシン名は「**CP800002**」となっていますので、新しいプリンタ名には図のように「**CP800002-0**」と入力してください。



4) 「プリントキュー」の［名前］を入力します。

※プリントキューは既に設定されているものがあると思われますが、既存の運用環境を保全するため、ここでは新規のプリントキュー名を作成します。

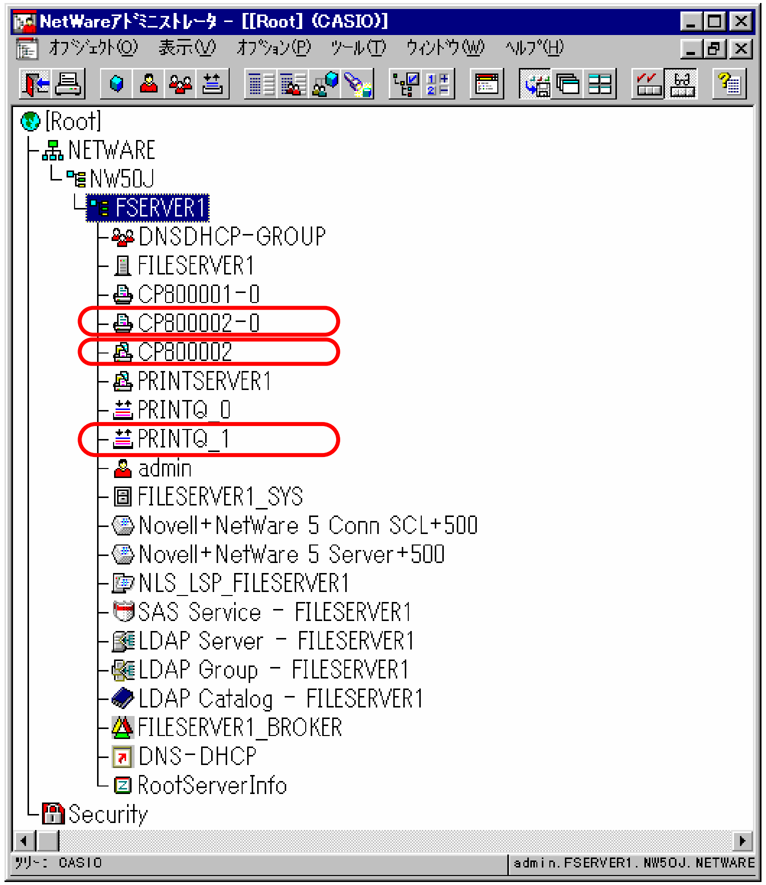



5) 必要に応じて「プリントキュー」の［ボリューム］の設定を変更します。

その他の設定は、変更しないでください。各設定内容を確認後【作成】をクリックして設定を保存することにより、クイックセットアップを終了します。

6) 「**NetWare**アドミニストレータ」画面へ戻ります。

作成したプリントサーバオブジェクト、プリンタオブジェクト、プリントキューオブジェクトが、ツリー上の正しい位置に表示されていることを確認してください。




7) 以上で、クイックセットアップによるプリンタの設定は終了です。

※プリントサーバモードで運用を行うネットワークプリンタ（LANボード）を複数インストールする場合は、続けてこれまでの手順 1) ～5) を繰り返して行ってください。

（注）以上の手順でNetWareサーバへの設定は終了です。引き続きLANボードの設定を行ってください。LANボードの設定にて『「**NetWareモード**」(設定変数**nw_mode**)へ「**pserver**」を設定、「ファイルサーバ名」(設定変数**fserver1～fserver4**のいずれか)へこれまで設定を行ったNetWareファイルサーバ名を設定』した後、**LAN**ボードをリセットするか、プリンタの電源を再投入します。LANボードの［リセットSW］を押下するか、プリンタ本体の電源を「切」→「入」してください。しばらく待ちますと、LANボードのマシン名(設定変数machine_nameに設定されている文字列)がプリントサーバとしてファイルサーバへログインされます。ファイルサーバの「コンソールモニタ」の「接続情報」、またはクライアントパソコンから「**NLIST USER /A /B**」「**NLIST USER={LANボードマシン名} /A /B**」コマンド等を実行すると、LANボードのマシン名がプリントサーバとしてしてログインしていることを確認できます。

⑪ 注意事項。

1) プリンタの印刷動作をより詳細に設定するために、NetWareには **PRINTDEF, PRINTCON, CAPTURE** 等のコマンドが用意されています。内容については、NetWareのマニュアルをご参考ください。

2) 詳しくはシステム管理者にお尋ねください。

# 3.4. IPX版設定ユーティリティによる設定

IPX版設定ユーティリティを使用しますと、NetWare環境においてLANボードの設定変数設定を行うことができます。　設定可能項目はNetWare環境にて使用する項目に限定されているわけではありません。 IP環境にて使用する設定項目に関してもIPX版設定ユーティリティを用いて設定することが可能です。　各設定は管理者でなければ出来ません。

IPX版設定ユーティリティの詳細については、「4.2. NetWare環境での設定」を参照してください。

また、設定可能項目については、「5.2. LANボードの設定変数一覧」も参照してください。

| 変数グループ | 設定項目 | 設定内容または推奨値など | デフォルト |
|---|---|---|---|
| --------- | **admin_passwd** | LANボード設定管理者用パスワード | 未設定 |
| **common** | **machine_name** | LANボードのマシン名(SNMP,NetWareにて使用)。デフォルト値での使用を推奨。 | **CPxxxxxx** |
| | **comment** | コメント | 未設定 |
| | **link_mode** | 通信速度決定方法の設定。**auto,100m/full,100m/half,10m/full,10m/half** より選択 ※1<br>・現在TELNETで正常に通信が行えていますので、このままお使いになることを推奨します。 | **auto** |
| **tcpip** | **ip_config** | IPアドレス決定方法。**memory,rarp,bootp,dhcp** より選択 ※1 | **memory** |
| | **ip_address** | IPアドレス設定値。（**ip_config**が**memory**の時に有効) ※1 | **0.0.0.0** |
| | **netmask** | サブネットマスク ※1 ※2 | **0.0.0.0** |
| | **gateway** | ゲートウェイアドレス ※1 ※2 | **0.0.0.0** |
| | **ftp_passwd** | passwordを要求するFTPクライアントの場合に設定 | **off** |
| | **tcp_keep_alive** | TCP・キープ・アライブ・パケットの送信間隔。(0～79秒) | **30** |
| | **print_reset** | プリンタ制御ソフトウェアリセット機能の設定。(**enable**:使用する、**disable**:使用しない) ※3 | **enable** |
| **snmp** | **snmp_mode** | SNMPの動作モードを設定。(**enable**:使用する、**disable**:使用しない) | **enable** |
| | **snmp_name** | SNMPのコミュニティ名を設定 | **public** |
| | **snmp_host** | Trap/パケットを送信するホストのIPアドレスを設定。 | **0.0.0.0** |
| **nw_param** | **nw_mode** | リモートプリンタモードでは［**rprinter**］、プリントサーバモードでは［**pserver**］、未使用は［**disable**］を設定。 | **rprinter** |
| | **nw_packet** | AUTO,IEEE802.2,IEEE802.3,ETHERNETⅡ のどれかを選択<br>入力はそれぞれ［**auto**］［**ieee802_2**］［**ieee802_3**］［**ethernet_ii**］としてください。 | **auto** |
| | **nw_spx_abort** | SPX監視停止タイムアウト時間。(**30** ～ **300** 秒) | **30** |

| 変数グループ | 設定項目 | 設定内容または推奨値など | デフォルト |
|---|---|---|---|
| | **nw_spx_listen** | SPX監視検査タイムアウト時間。(1 ～ 180 秒) | 6 |
| | **nw_spx_verify** | SPX確認待機タイムアウト時間。(1 ～ 15 秒) | 3 |
| | **pserver** | リモートプリンタモードでは、必ずプリントサーバ名を入力。 | 未設定 |
| | **timeout** | リモートプリンタモードで印刷終了後、他プロトコルによる印刷を開始するまでのタイムアウト時間。（この間にリモートプリンタモードの印刷が投入されると優先して印刷します。）(1～ 255 秒) | 10 |
| | **fserver1** | プリントサーバモードではファイルサーバは最大4台まで設定が可能です。(**fserver1**～**fserver4** のうち必ず1つ以上にファイルサーバ名を入力してください)。なお、同じファイルサーバ名を入力しないでください。 | 未設定 |
| | **fserver2** | | 未設定 |
| | **fserver3** | | 未設定 |
| | **fserver4** | | 未設定 |
| | **polltime** | プリントサーバモードにて、印刷キューへ印刷データの有無を問い合わせる間隔。(1 ～ 255 秒) | 15 |
| | **nw_passwd** | プリントサーバモードで、LANボードがプリントサーバとしてファイルサーバへログインする際に使用するパスワード。 | 未設定 |
| | **nw_ncp_timeout** | NCPタイムアウト監視時間。(1 ～ 255 秒) | 3 |
| | **nw_ncp_retry** | NCPパケット再送信回数。(1 ～ 255 回) | 20 |

※1）操作パネルでも設定可能です。後から設定した値が保存されます。
※2）ip_configがbootp/dhcpの場合、本設定が0.0.0.0の場合のみBOOTPサーバ/DHCPサーバより通知される設定を使用します。
※3）使用可能な環境に制限があります。詳しくは「5.2. LANボードの設定変数一覧」を参照してください。

# 4. LANボードの設定

LANボードの設定はIP環境およびNetWare(IPX)環境それぞれにて行うことができます。　設定可能項目は各環境にて使用する項目に限定されているわけではありません。　他の環境にて使用する設定項目に関しても各環境にて設定することが可能です。

IP環境では、お使いのオペレーティングシステムにインストールされているソフトウェアのTELNET（「4.1.1. TELNETによる設定」を参照）またはWebブラウザ（「4.1.2. WWWブラウザによる設定」を参照）を使用してLANボードの設定変数設定を行うことができます。

NetWare環境では、LANボード付属CDに収納されておりますIPX版設定ユーティリティ（「4.2. NetWare環境での設定」を参照）を使用してLANボードの設定変数設定を行うことができます。

なお、各設定は管理者でなければ出来ません。

また、設定可能項目については、「5.2. LANボードの設定変数一覧」も参照してください。

## 4.1. IP環境での設定

IP(Internet Protocol)環境においては、TCP/IPを使用する以下のプロトコルにてLANボードの設定を行うことができます。

| プロトコル名 | 機　能　概　要 |
|---|---|
| TELNET | LANボードの内部設定の参照・変更に使用します。これによりLANボードの設定変数の設定が行えます。　また、LANボードの動作状態を表示することもできます。<br>TELNETはRFC854、RFC855に準拠します。実装はBSD系に準拠します。 |
| HTTP | LANボードの内部設定の参照・変更に使用します。これによりLANボードの設定変数の設定が行えます。　また、LANボードの基本動作状態やプリンタの状態を表示することもできます。<br>WWW(World Wide Web)ブラウザが必要です。 |

## 4.1.1. TELNETによる設定

TELNETを使用することにより、LANボードの内部設定の参照・変更を行うことができます。　また、LANボードの動作状態を表示することもできます。

なお、TELNETは、お使いのオペレーティングシステムにインストールされているソフトウェアを使用されることを前提としており、LANボードの付属ユーティリティとして提供するものではありません。

TELNETは、お使いのオペレーティングシステムやソフトウェアによって異なります。　ここでは通常オペレーティングシステムに付属しているTELNETクライアントソフトウェアを例に説明します。

### 4.1.1.1. 起動および接続方法

TELNETクライアントソフトウェアを起動してLANボードへ接続し、ユーザ名／パスワードを入力してログインを完了します。ログインが完了すると、入力したユーザ名を元にしたプロンプトが表示されます。

```
C:¥>telnet 130.10.90.196
CASIO CP-NW200T Ver.NC0T 2.01
USER: cpadmin
Password:

cpadmin>
```

※*斜体部分を入力します。*

・「USER:」と表示されるのでユーザ名を入力します。
・ユーザ名は管理者以外は特に定められてはいません。管理者のユーザ名は「***cpadmin***」です。
・管理者は更にパスワードを要求されますので設定されているパスワードを入力してください。（初期状態は未設定）
・管理者以外は以下のコマンドが使えません。

　　·***set***　　·***reset***

管理者のパスワードが不一致の場合、「Login incorrect」と表示されますので、再度ユーザ名入力からやり直してください。

```
C:¥>telnet 130.10.90.196
CASIO CP-NW200T Ver.NC0T 2.01
USER: cpadmin
Password:
Login incorrect

USER:
```

既に他の管理者がLANボードへ接続している場合、「Login incorrect. Already used by another administrator.」と表示されますので、管理者以外のユーザ名を再度入力してください。

```
C:¥>telnet 130.10.90.196
CASIO CP-NW200T Ver.NC0T 2.01
USER: cpadmin
Password:
Login incorrect. Already used by another administrator.

USER:
```

LANボードへ接続した状態で約5分間無操作状態が続きますと、LANボードはTELNET接続を強制切断します。　強制切断後は接続操作を始めからやり直してください。

```
C:¥>telnet 130.10.90.196
CASIO CP-NW200T Ver.NC0T 2.01
USER: cpadmin
Password:

cpadmin>
cpadmin>
Idle time limit reached.

ホストとの接続が切断されました。

C:¥>
```

### 4.1.1.2. 使用可能コマンド

TELNETにて使用可能なコマンドを説明します。コマンドはプロンプト表示状態（「入力したユーザ名」+”>”）で入力してください。

```
cpadmin>help
```

① help コマンド

TELNETにて使用可能なコマンド一覧、各コマンドの入力ガイダンス、および各設定変数へ設定する値のガイダンスを表示します。

・コマンド一覧表示の例。

```
cpadmin>help
set <parameter=value>          set parameter
show [parameter/section/all]   show parameter
stat                           display status
quit                           quit without saving
exit                           save and exit
reset                          save and reset
help [command]                 display help

cpadmin>
```

※ここで表示されたコマンドによって、LANボードの設定内容を得、またその設定を変更することができます。製品では初期値が設定されておりますが、ip_address , netmask , gateway などはご使用になるIP環境にあわせて変更してください。

・各コマンドの入力ガイダンスの例

```
cpadmin>help show
Display parameter
usage:show [parameter/section/all]
---------------------------------------------------------
Command             display what
show [network]      Basic parameters
show all            All parameters
show tcpip          TCP/IP communication parameters
show common         Common parameters
show snmp           SNMP parameters
show nw_param       NetWare communication parameters
show port           Printing parameters

cpadmin>
```

・各設定変数へ設定する値のガイダンスの例

```
cpadmin>help ip_config
ip_config = memory/dhcp/bootp/rarp

cpadmin>help link_mode
link_mode = auto / 100M/Full / 100M/Half / 10M/Full / 10M/Half

cpadmin>
```

② show コマンド

指定した変数名、グループ名、または設定可能な変数すべての設定状態を表示します。

・変数名指定の例。

```
cpadmin>show ip_address
ip_address              : 130.10.90.186

cpadmin>
```

・グループ名指定の例。　※「***show***」のみを入力した場合、「***show network***」と入力した場合と同じ表示となります

```
cpadmin>show network
machine_name            : CP800001
comment                 :
link_mode               : auto
ip_config               : memory
ip_address              : 130.10.90.186
netmask                 : 255.255.0.0
gateway                 : 130.10.1.1
print_reset             : enable
nw_mode                 : rprinter

cpadmin>
```

・設定可能な変数すべて(all)指定の例。

```
cpadmin>show all
machine_name          : CP800001
comment               :
link_mode             : auto
ip_config             : memory
ip_address            : 130.10.90.186
netmask               : 255.255.0.0
gateway               : 130.10.1.1
ftp_passwd            : off
tcp_keep_alive        : 30
print_reset           : enable
snmp_mode             : enable
snmp_name             : public
snmp_host             : 130.10.1.10
nw_mode               : rprinter
nw_packet             : auto
pserver               :
timeout               : 10
nw_spx_abort          : 30
nw_spx_listen         : 6
nw_spx_verify         : 3
```

```
fserver1              :
fserver2              :
fserver3              :
fserver4              :
polltime              :15
nw_passwd             :
nw_ncp_timeout        : 3
nw_ncp_retry          : 20
banner0               : off
bojstring0            :
eojstring0            :
banner1               : off
bojstring1            :
eojstring1            :
printertype1          : PR201
tabsize1              : 8
banner2               : off
bojstring2            :
eojstring2            :
printertype2          : PR201
tabsize2              : 8

cpadmin>
```

※管理者用のパスワード設定変数「 admin_passwd 」は一覧表示されません。

③ set コマンド

指定した変数名に数値または文字列を設定します。

※setコマンドは管理者専用コマンドです。

```
cpadmin>set comment=CASIO-Color-PagePrinter_2nd-floor_north-east-coner
comment                 : comment=CASIO-Color-PagePrinter_2nd-floor_north-east-coner
```

```
cpadmin>set link_mode=100m/full
link_mode               : 100M/Full
```

```
cpadmin>set ip_address=130.10.90.186
ip_address              : 130.10.90.186

cpadmin>
```

※設定した数値または文字列は、後述「exitコマンド」「resetコマンド」にて設定値の保存を行った後、LANボードの［リセットSW］を押下するか、プリンタ本体の電源を「切」→「入」して次回LANボードが正常に起動した後に有効になります。
また、設定値の保存を行わない場合は、後述「quitコマンド」にてTELNET接続を終了してください。

特記事項：setコマンドを使用しますと、管理者用のパスワードを設定することができます。　パスワードは 英大文字／英小文字／数字 が設定可能です。　なお、英大文字と英小文字は区別されますのでご注意ください。

```
cpadmin>set admin_passwd=CASIO
admin_passwd            : CASIO

cpadmin>
```

設定されている管理者用のパスワードを未設定状態にする場合は、「 = 」の後に何も入力せずにEnterキーを押下して送信してください。

```
cpadmin>set admin_passwd=
admin_passwd            :

cpadmin>
```

④ stat コマンド

LANボードの状態を表示します。

・基本情報表示の例。

```
cpadmin>stat
CASIO CP-NW200T Ver.NC0T 2.01
Ethernet address  :  08:00:74:80:00:01
Link status       :  100Base/Full Duplex (Auto)
TCP/IP status     :  IP address       : 130.10.90.186
                     IP config        : Memory
                     Netmask          : 255.255.0.0
                     gateway          : 130.10.1.1
IPX packet type   :  IEEE802.2(Auto)
NetWare status    :  Mode             : rprinter
                     print server     : PRINTSERVER1
Printer status    :  Port status      : Printer ready
                     Model name       : N5300
                     Version No.      : GV0K 1.73/K4
                     Paper feeder     : MPF:A4
                                        CPF1:A4
                                        CPF2:B4
                                        CPF3:A3
                                        CPF4:Letter
                                        CPF5:B5
                                        CPF6:A4
                                        Duplex-unit
cpadmin>
```

・印刷ジョブ情報表示の例。

```
cpadmin>stat queue
Rank      Job     Owner                User-ID
1st       100     130.10.90.100        PowerUser
2nd       101     130.10.90.101        Administrator
3rd       102     130.10.91.52         guest
4th       103     130.10.92.143        casiotaro
5th       104     130.10.90.104        PrintUser
                  PRINTSERVER1   ※1

cpadmin>
```

※1：NetWareによる印刷の場合、送信元のプリントサーバ名またはファイルサーバ名が表示されます。

・接続中ホスト情報表示の例。

```
cpadmin>stat host
130.10.90.100     :  ftp
130.10.90.101     :  http   ※1
130.10.92.143     :  telnet
130.10.90.104     :  ftp
                     NetWare console   ※2

cpadmin>
```

※1：「http」はWWWブラウザにて設定変更を行っている場合に表示されます。

※2：「NetWare console」はIPX版設定ユーティリティにて接続中に表示されます。

⑤ quit コマンド

TELNETを終了し接続を切断します。 setコマンドにて変数へ数値または文字列を設定した場合は、設定値の保存は行わずに破棄した後にTELNETを終了します。

```
cpadmin>quit


ホストとの接続が切断されました。

C:¥>
```

⑥ exit コマンド

TELNETを終了し接続を切断します。 setコマンドにて変数へ数値または文字列を設定した場合は、設定値の保存を行った後にTELNETを終了し、接続を切断します。

※保存した設定値は、次回LANボードが正常に起動に起動した後に有効になります。 LANボードの［リセットSW］を押下するか、プリンタ本体の電源を「切」→「入」してください。

```
cpadmin>exit


ホストとの接続が切断されました。

C:¥>
```

※設定値の保存を行わない場合は、前述「quitコマンド」にてTELNET接続を終了してください。

⑦ reset コマンド

TELNETを終了し接続を切断した後、LANボードをリセットします。 setコマンドにて変数へ数値または文字列を設定した場合は、設定値の保存を行った後にTELNETを終了し、接続切断→リセットを行います。

※resetコマンドは、管理者専用コマンドです。

```
cpadmin>reset


ホストとの接続が切断されました。

C:¥>
```

## 4.1.2. WWWブラウザによる設定

WWW（World Wide Web）ブラウザを使用することにより、HTTPによりLANボードとの通信を行い、LANボードの内部設定の参照・変更を行うことができます。　また、LANボードの動作状態を表示することもできます。

なお、WWWブラウザは、お使いのオペレーティングシステムにインストールされているソフトウェアを使用されることを前提としており、LANボードの付属ユーティリティとして提供するものではありません。

WWWブラウザは、お使いのオペレーティングシステムやソフトウェアによって異なります。　以下に記載したソフトウェアをお使いください。（表記あるいはそれ以上のバージョンをお使いください。）

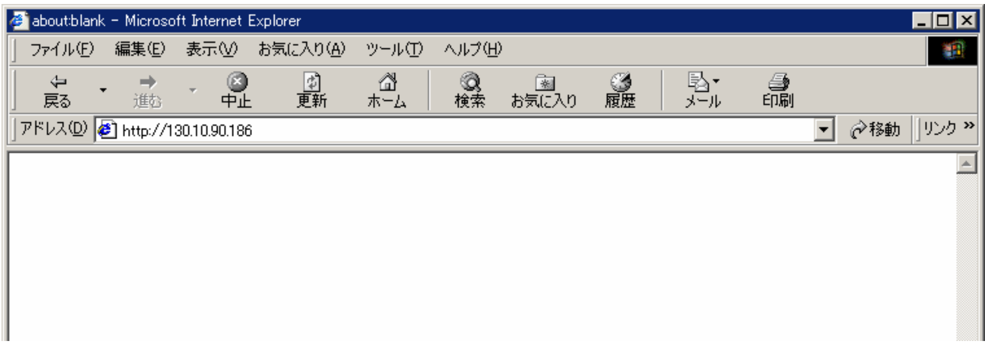
- Netscape Communicater 4.7
- Netscape 6
- Internet Explorer 5

ここでは MS-Windows 2000 にインストールした Internet Explorer Version 5 を例に説明します。

### 4.1.2.1. 接続方法

WWWブラウザソフトウェアを起動してアドレス欄へURLとしてLANボードのIPアドレスを入力します。

URLは「http://xxx.xxx.xxx.xxx」(xxx.xxx.xxx.xxxはLANボードのIPアドレス) と入力します。



## 4.1.2.2. 操作概要

WWWブラウザによるLANボードの内部設定の参照・変更操作の概要を説明します。を行うことができます。　また、LANボードの動作状態を表示することもできます。

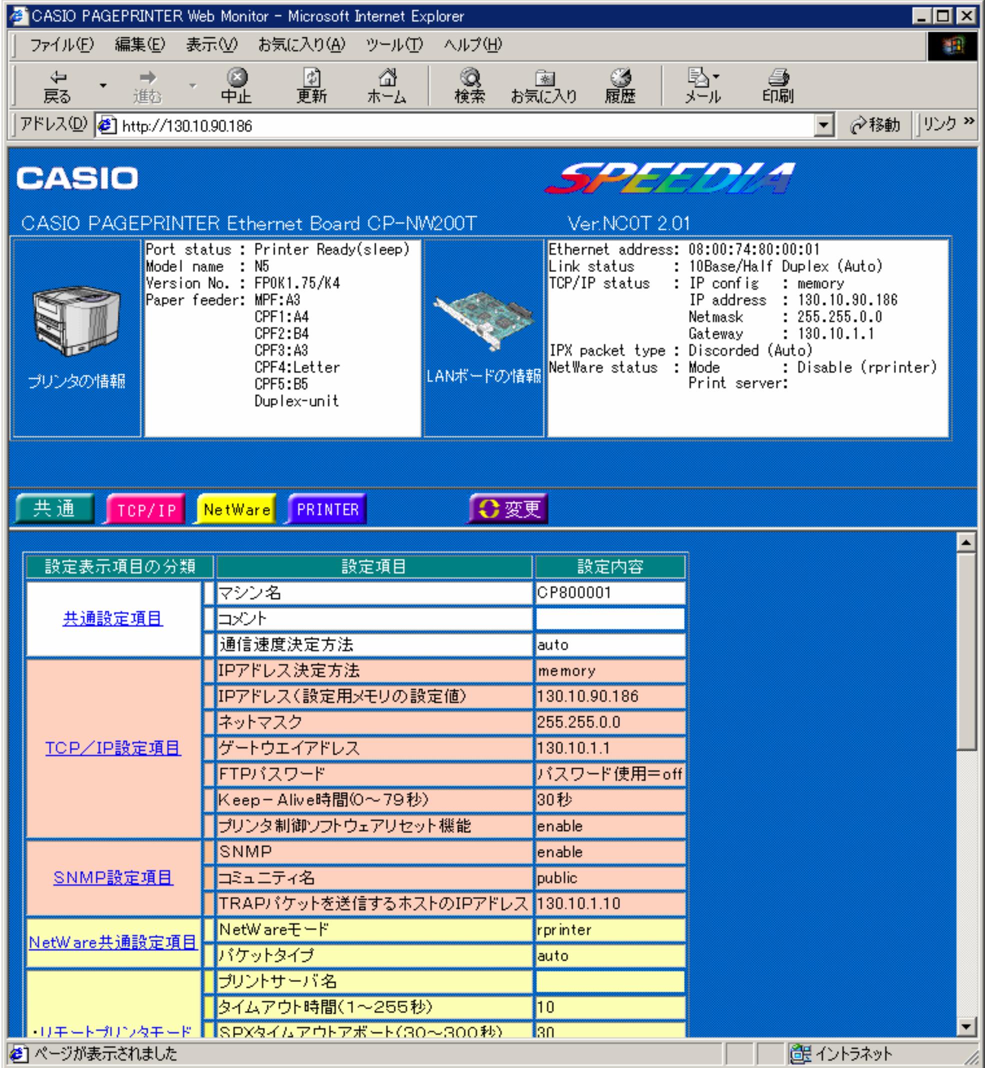
① 内部設定の参照、およびLANボード動作状態の表示。

URLを入力してLANボードへ接続し、始めに表示されるWebページで確認することができます。

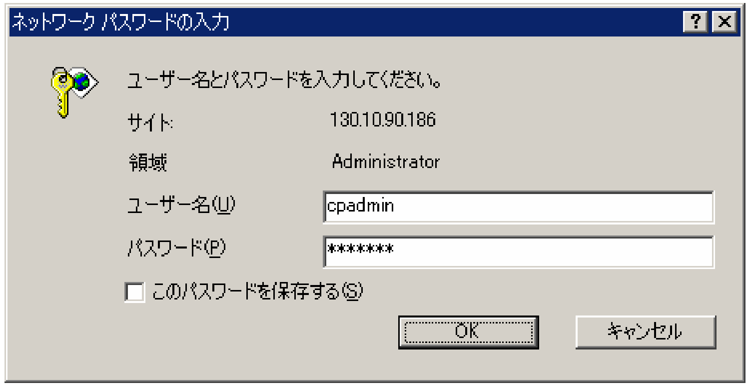
※LANボードの動作状態は自動更新されません。必要に応じてWWWブラウザの「更新」ボタンをクリックしてリロードしてください。

CASIO をクリックしますと、カシオ計算機(株)のホームページへ接続できます。

SPEEDIA をクリックしますと、カシオページプリンタウェブサイトへ接続できます。カシオページプリンタに関する最新情報が掲載されておりますので、ご覧ください。



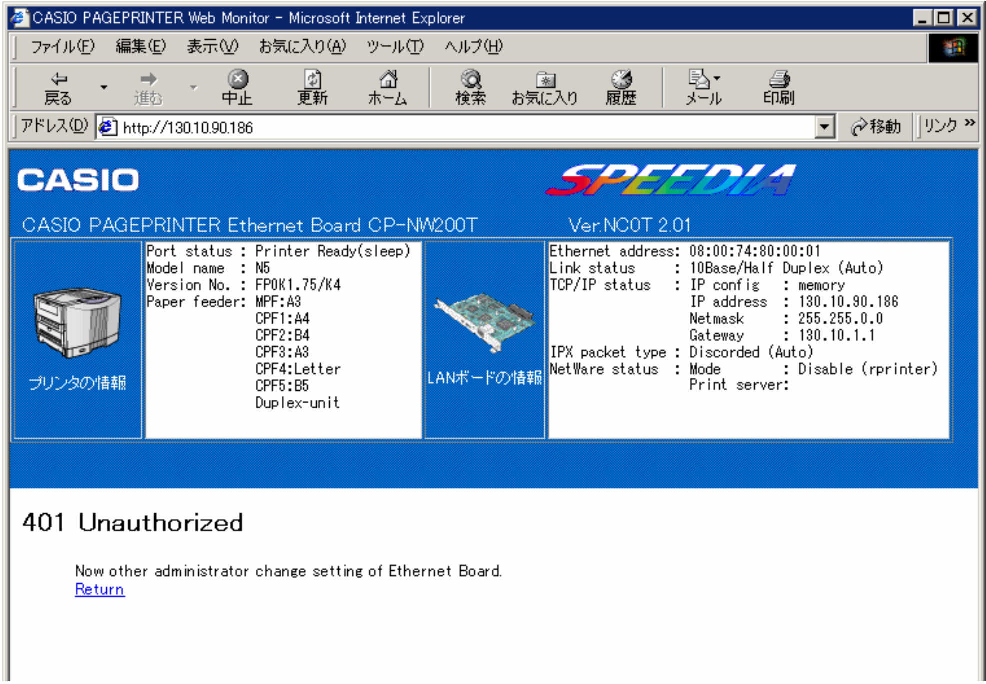
② 設定変更の開始。




設定変更を開始する場合には 

を クリックし、表示されるダイアログへ管理者ユーザ名「cpadmin」と設定されているパスワードを入力してください。

③ 他の管理者が接続中の表示。




設定変更は複数の管理者が同時に行うことはできません。（誤設定防止のため）

既に他の管理者がLANボードへ接続している場合は、設定変更は行えません。

「Return」をクリックすると①へ戻りますので、確認してからやり直してください。

④ 設定変更ページの操作。

設定変更ページを表示しますと、LANボードは管理者権限の占有を行ます。 管理者権限の解放を行う場合は、 一覧に戻る をクリックして管理者権限を解放してください。

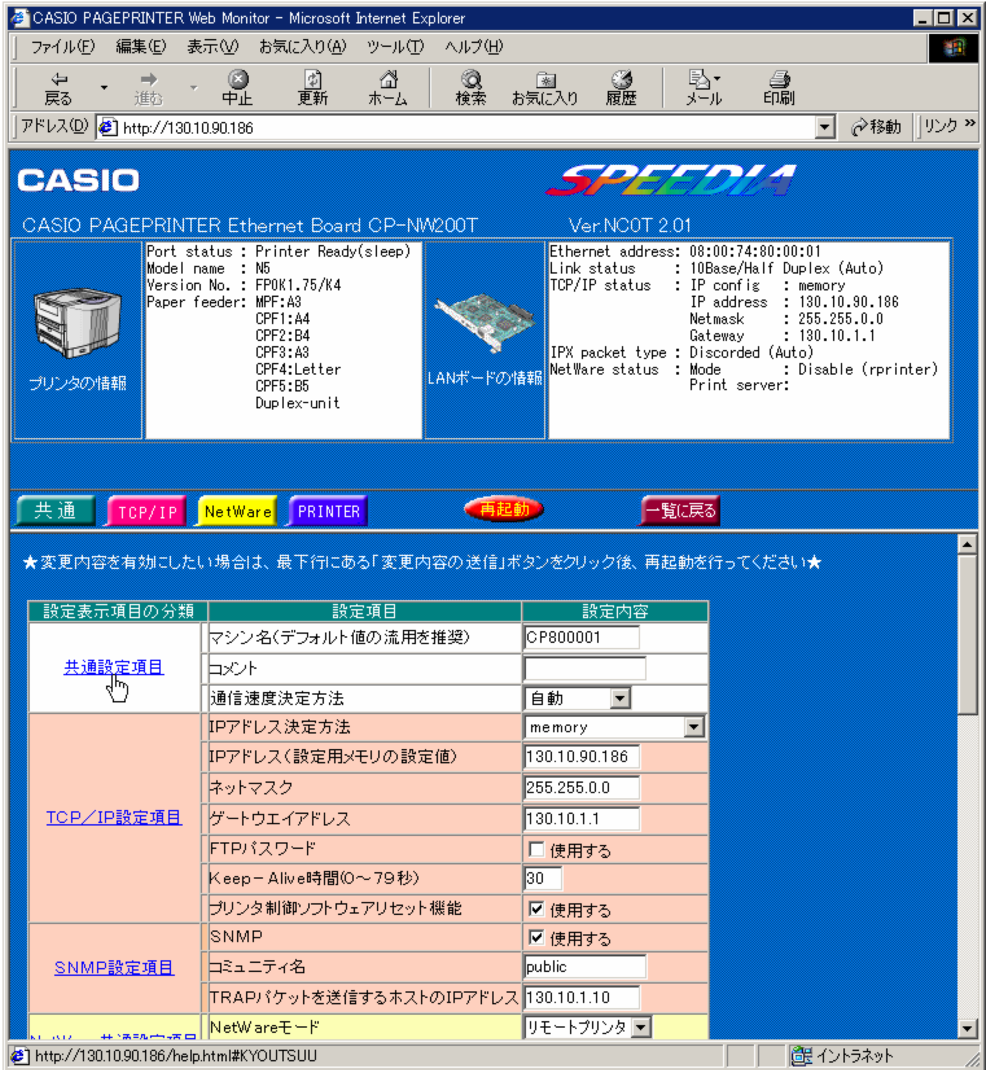
設定内容欄は、各設定項目ごとに異なります。

- 設定値を入力する欄では、数値または文字列を入力してください。
- 設定候補を選択する欄では、表示される設定候補の中から選択してください。
- チェックボックス欄では、クリックしてON/OFFを切りかえてください。

設定項目の分類欄を右図のようにクリックしますと、ヘルプページ(⑤参照)が別ウィンドウで表示されます。ヘルプページには設定項目に関する情報をまとめてありますので、設定内容が解らない場合などに参照してください。

設定変更を行った後は、必ず最下行にある 変更内容の送信 ボタンをクリックして、設定変更内容の送信を行いLANボードへ保存してください。(⑥参照)

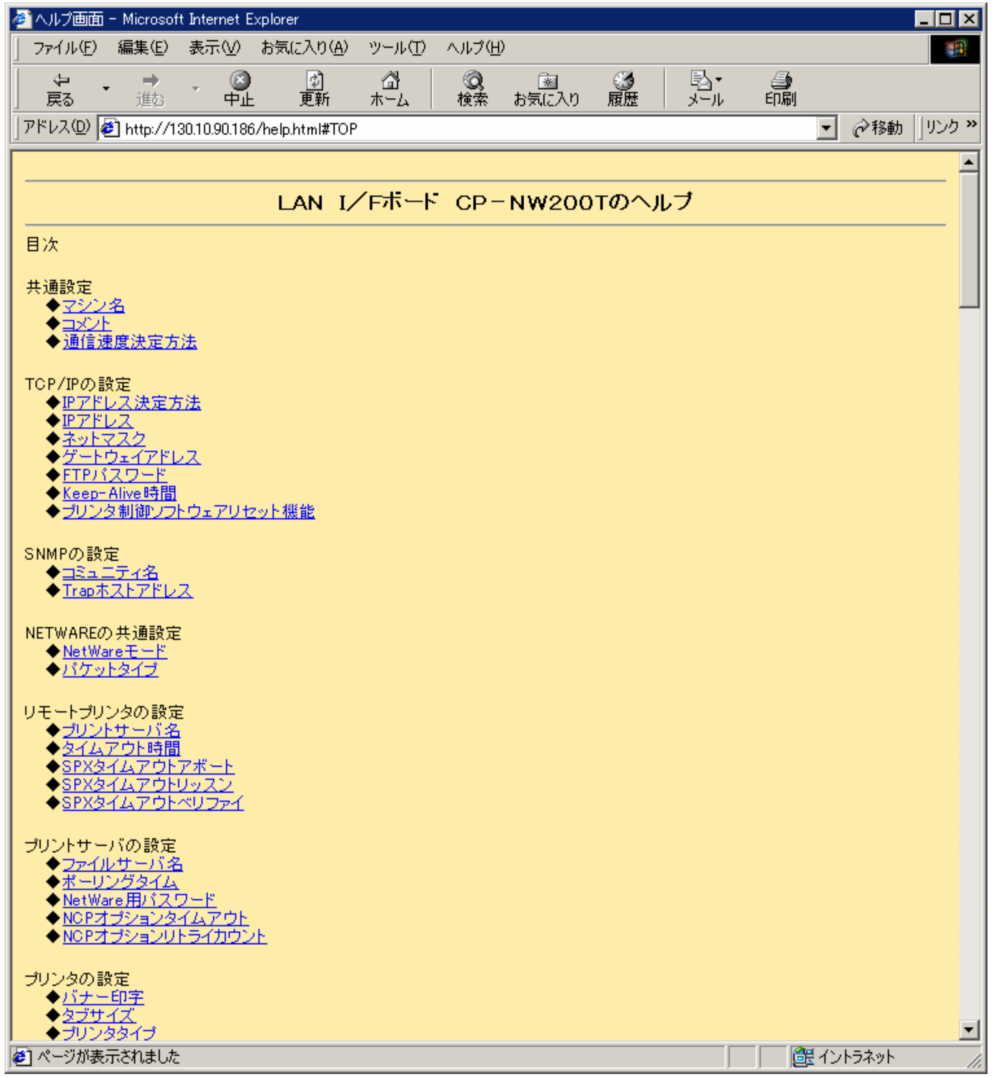
なお、設定変更ページの有効時間は約5分間となっています。設定変更に時間が掛かる場合は、途中で変更内容の送信を行ってください。 約5分間経過しますとLANボードは管理者権限を解放し、Webページによる設定変更を受け付けなくなります。



⑤ ヘルプページ。

ヘルプページには設定項目に関する情報をまとめてありますので、設定内容が解らない場合などに参照してください。

各項目名をクリックすると説明文へジャンプします。



⑥ 変更内容の送信。

設定変更を行った後は、必ず最下行にある

[変更内容の送信] ボタンをクリックして、設定変更内容の送信を行いLANボードへ保存してください。

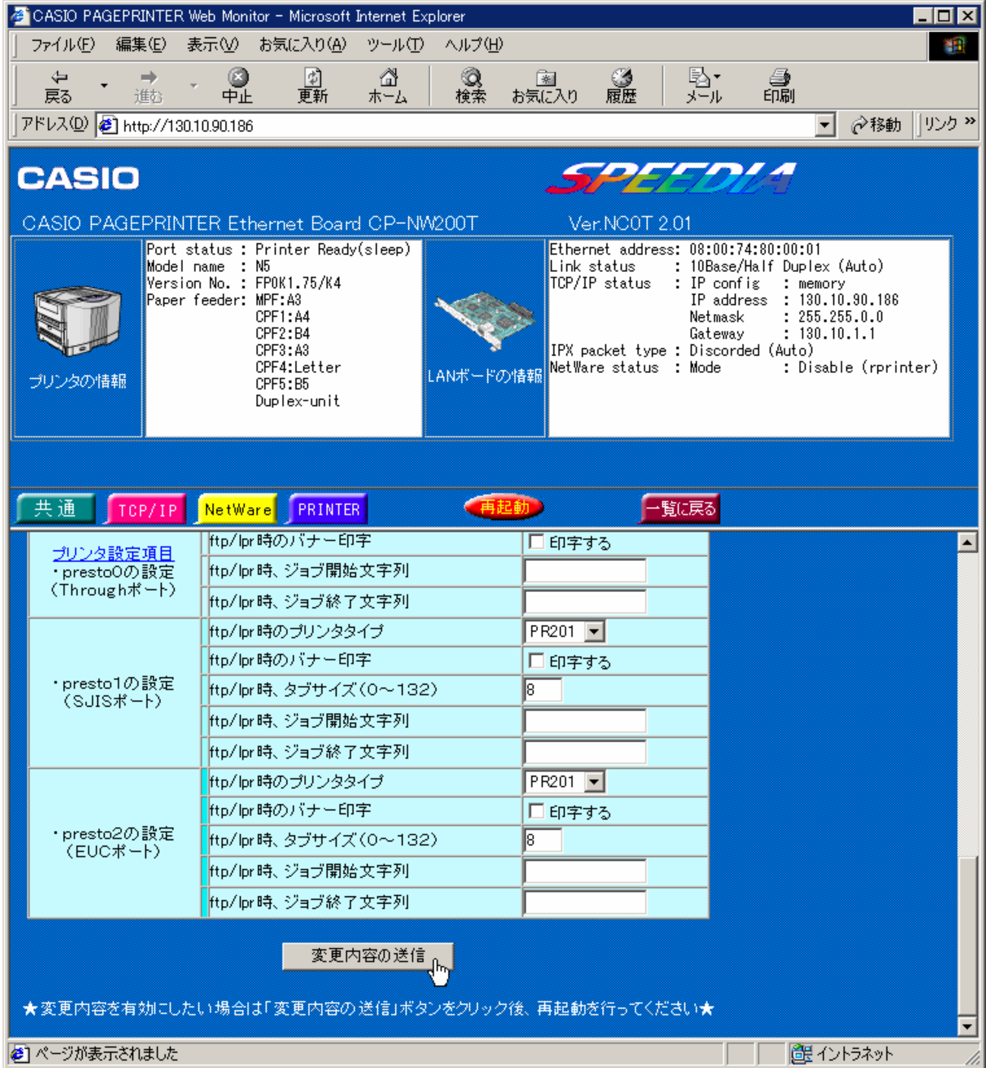
設定変更ページの有効時間は約5分間となっています。設定変更に時間が掛かる場合は、途中で変更内容の送信を行ってください。 約5分間経過しますとLANボードは管理者権限を解放し、Webページによる設定変更を受け付けなくなります。約5分間を経過してしまってから変更内容の送信を行った場合は変更内容受付拒否ページを表示します。（⑦参照） この場合は、設定変更操作を始めから（①から）やり直してください。

※設定変更内容は、次回LANボードが正常に起動に起動した後に有効になります。

[再起動] ボタンをクリックしてLANボードを再起動（リセット）してください。 または、LANボードの［リセットSW］を押下するか、プリンタ本体の電源を「切」→「入」してください。

後で再起動（リセット）を行う場合は、

[一覧に戻る] をクリックして管理者権限を解放してください。

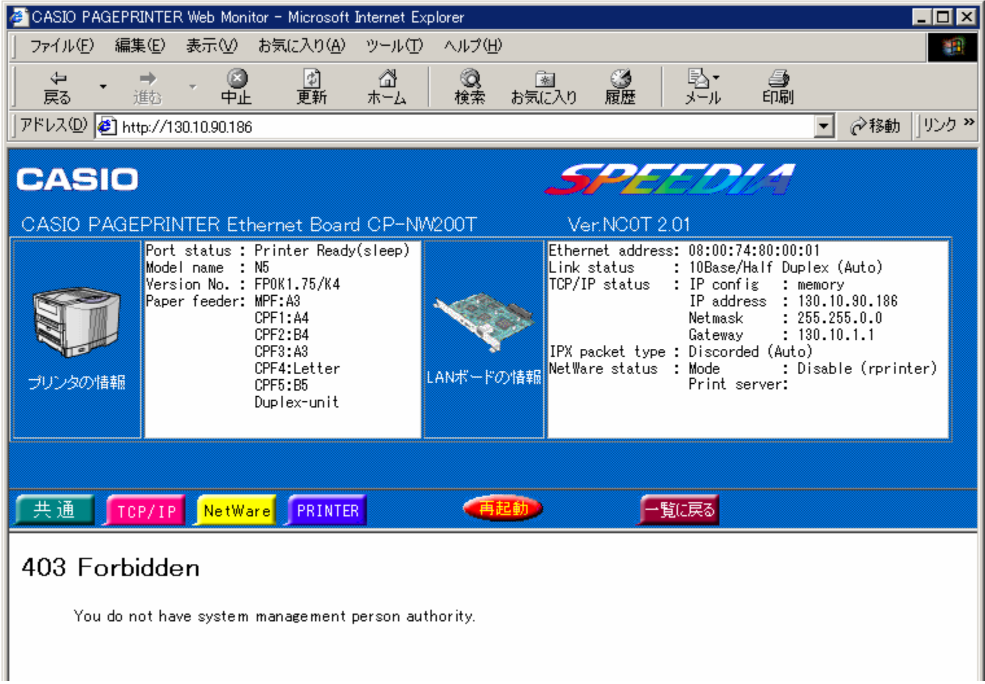


⑦ 変更内容受付拒否時の操作。

設定変更ページの有効時間は約５分間となっています。

約５分間経過しますとLANボードは管理者権限を解放し、Webページによる設定変更を受け付けなくなります。約５分間を経過してしまってから変更内容の送信を行った場合は変更内容受付拒否ページを表示します。

この場合は、設定変更操作を始めから（①から）やり直してください。



## 4.2. NetWare環境での設定

NetWare環境においては、IPXを使用する以下のユーティリティにてLANボードの設定を行うことができます。

| ユーティリティ名 | 機　能　概　要 |
|---|---|
| **IPX版設定ユーティリティ（LANCONF.EXE）** | LANボードの内部設定の参照・変更に使用します。これによりLANボードの設定変数の設定が行えます。<br>また、LANボードの動作状態を表示することもできます。<br>**MS-Windows 95/98/Me , MS-Windows NT 4.0 , MS-Windows 2000 , MS-Windows XP** の各オペレーティングシステム(OS)へIPX/SPX互換プロトコルを組み込んだ環境で動作します。<br>※**MS-DOS** へ **Novell Client** を組み込んだ環境では動作しません。<br>詳しくはシステム管理者へお尋ねください。 |

IPX版設定ユーティリティでは、CP-NW100 Series の各製品（CP-NW100, CP-NW100L, CP-NW100SP, CP-NW110）へ付属しております「MS-DOS用ユーティリティ（CP1CONF.EXE）」の代わりとしてお使いいただきます。（但し、MS-DOS環境では動作しない、など、動作するOS環境は異なります。）。

CP-NW100 Series での設定可能項目は、 CP-NW100 Series の各製品（CP-NW100, CP-NW100L, CP-NW100SP, CP-NW110）のCD-ROMに収納されている取扱説明書をお読みください。

### 4.2.1. IPX版設定ユーティリティのインストール

① IPX版設定ユーティリティ(LANCONF.EXE)をCD-ROMからインストールする場合。

i) 「IPX版設定ユーティリティ(LANCONF.EXE)」をインストールするには、LANボード付属のCD-ROMのセットアッププログラム(STARTUP.EXE)から行います。

コンピュータにCD-ROMをセットすると、自動的に「スタートアップメニュー」が表示されます。(しばらく待っても自動的に「スタートアップメニュー」が表示されないときは、エクスプローラなどからCD-ROMの "STARTUP.EXE" を実行してください。)

ii) 「セットアップタイプ」の選択画面が表示されます。
「カスタム」インストールを選択し【次へ(N)>】をクリックします。

iii) 「コンポーネントの選択」画面が表示されます。
「IPX版設定ユーティリティ」を選択(チェックボックスをオン)し、【次へ(N)>】をクリックします。
この時、すでにインストール済みの他のコンポーネントは選択しないでください。

iv) 「インストール先の選択」画面が表示されます。
インストール先ディレクトリを確認後、【次へ(N)>】をクリックします。

v) 「プログラムフォルダの選択」画面が表示されます。
プログラムフォルダを確認後、【次へ(N)>】をクリックします。

vi) 「使用許諾契約」画面が表示されます。
よくお読みいただき、使用許諾契約に同意される場合は【はい(Y)】をクリックしてください。
インストールを中止する場合は【いいえ(N)>】をクリックしてください。

vii) プログラムのインストールが開始されます。

viii) 「Readmeファイルの表示」確認画面が表示されます。

Readmeファイルを表示する場合には【はい(Y)】をクリックしてください。

Readmeファイルは必ずご覧ください。 本ユーザーズマニュアルに記述されていない最新情報が記載されています。

ix) 以上で「IPX版設定ユーティリティ(LANCONF.EXE)」のインストールは終了しました。

② ＬＡＮボード設定ユーティリティをフロッピーディスクからインストールする場合。

i) 「IPX版設定ユーティリティ(LANCONF.EXE)」をインストールするには、ＬＡＮボード付属のCD-ROMから「IPX版設定ユーティリティ」の「ＦＤ作成」をおこなってください。　ＦＤ作成については「スタートアップメニュー」の【ＦＤ作成】をクリックし、画面の指示に従って操作してください。

コンピュータにCD-ROMをセットすると、自動的に「スタートアップメニュー」が表示されます。(しばらく待っても自動的に「スタートアップメニュー」が表示されないときは、エクスプローラなどからCD-ROMの "STARTUP.EXE" を実行してください。)

ii) 「IPX版設定ユーティリティ(LANCONF.EXE)　ディスク　１」をフロッピードライブへ挿入します。

iii) 【スタート】をクリックし、【ファイル名を指定して実行(R)】をクリックします。

iv) 「ファイル名を指定して実行」画面にて「A:¥SETUP.EXE」と入力し、【ＯＫ】をクリックするとインストールプログラムが起動します。

※ここではフロッピードライブが "A" ドライブでの説明です。　ドライブ番号は、ご利用になるコンピュータによって異なることがあります。

v) 「セットアップ」画面が表示されます。

【次へ(N)>】をクリックします。

vi) 「使用許諾契約」画面が表示されます。

よくお読みいただき、使用許諾契約に同意される場合は【はい(Y)】をクリックしてください。

インストールを中止する場合は【いいえ(N)>】をクリックしてください。

vii) 「インストール先の選択」画面が表示されます。

インストール先ディレクトリを確認後、【次へ(N)>】をクリックします。

viii) 「プログラムフォルダの選択」画面が表示されます。

プログラムフォルダを確認後、【次へ(N)>】をクリックします。

ix) プログラムのインストールが開始されます。

x) 「Readmeファイルの表示」確認画面が表示されます。
Readmeファイルを表示する場合には【はい(Y)】をクリックしてください。

Readmeファイルは必ずご覧ください。 本ユーザーズマニュアルに記述されていない最新情報が記載されています。

xi) 以上で「IPX版設定ユーティリティ(LANCONF.EXE)」のインストールは終了しました。

## 4.2.2. IPX版設定ユーティリティの起動方法

① 「スタートメニュー」から起動する場合。
［スタート］メニュー → ［プログラム］ → ［CASIO SPEEDIA］に登録された［LANボード設定(コマンド)］ユーティリティをクリックします。




② 「ファイル名を指定して実行」から起動する場合。
［スタート］メニュー → ［ファイル名を指定して実行］にて開くダイアログの［名前］欄に
「C:¥Program Files¥CASIO¥SPEEDIA¥LANCONF¥LANCONF.EXE」 と入力し、【OK】ボタンをクリックします。

※設定を行うLANボードのマシン名があらかじめ分かっている場合は、引数として指定することにより該当のLANボードとの通信を開始します。

(例)LANボードのマシン名(設定変数**machine_name**設定文字列)が「**CP800001**」の場合、［名前］欄に
「C:¥Program Files¥CASIO¥SPEEDIA¥LANCONF¥LANCONF.EXE　CP800001」 と入力します。

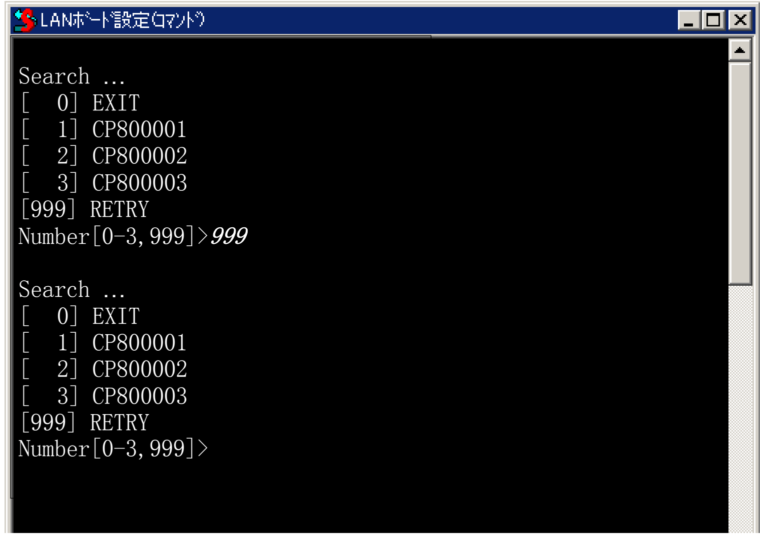
## 4.2.3. IPX版設定ユーティリティの説明

IPX版設定ユーティリティ(LANCONF.EXE)を使用することにより、LANボードの内部設定の参照・変更を行うことができます。 また、LANボードの動作状態を表示することもできます。

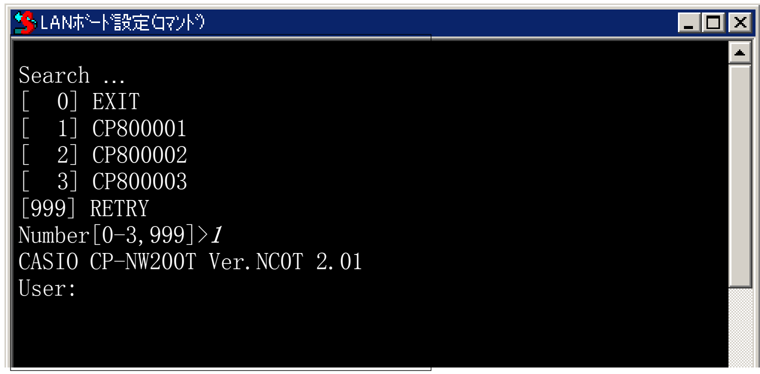
## 4.2.3.1. LANボードへの接続方法

IPX版設定ユーティリティ(LANCONF.EXE)を起動すると、お使いのNetWare環境で動作しているLANボードの検索を行います。検索には少々時間が掛かりますのでしばらくお待ちください。検索が終了すると現在接続可能なLANボードの一覧を表示します。

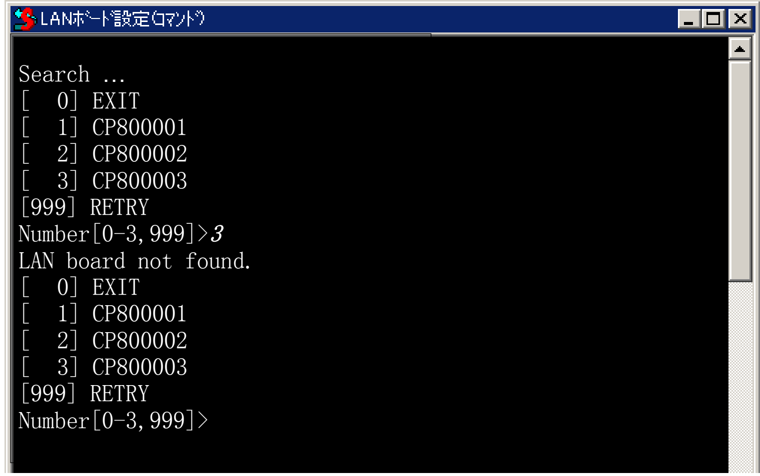
「999」を入力すると、再度LANボードの検索を行い、一覧表示を更新します。



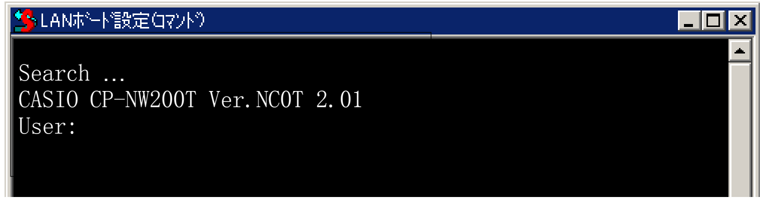

表示された一覧より接続したいLANボードの［Number］を入力して【Enter】キーを押下してください。指定されたLANボードへの接続処理を開始します。



選択したLANボードと接続できなかった場合、エラーメッセージを表示後、再度一覧表示を行います。




IPX版設定ユーティリティ(LANCONF.EXE)を起動する際、引数としてLANボードのマシン名を指定した場合は現在接続可能なLANボードの一覧表示は行わずに、指定されたLANボードへの接続処理を開始します。




指定したLANボードと接続できなかった場合、LANボードの検索を行った後、一覧表示を行います。



LANボードへ接続し、ユーザ名／パスワードを入力してログインを完了します。ログインが完了すると、入力したユーザ名を元にしたプロンプトが表示されます。

```
CASIO CP-NW200T Ver.NC0T 2.01
USER: cpadmin
Password:

cpadmin>
```

※*斜体部分を入力します。*

・「USER:」と表示されるのでユーザ名を入力します。
・ユーザ名は管理者以外は特に定められてはいません。管理者のユーザ名は「***cpadmin***」です。
・管理者は更にパスワードを要求されますので設定されているパスワードを入力してください。（初期状態は未設定）
・管理者以外は以下のコマンドが使えません。

・***set***　　・***reset***

管理者のパスワードが不一致の場合、「Login incorrect」と表示されますので、再度ユーザ名入力からやり直してください。

```
CASIO CP-NW200T Ver.NC0T 2.01
USER: cpadmin
Password:
Login incorrect

USER:
```

既に他の管理者がLANボードへ接続している場合、「Login incorrect. Already used by another administrator.」と表示されますので、管理者以外のユーザ名を再度入力してください。

```
CASIO CP-NW200T Ver.NC0T 2.01
USER: cpadmin
Password:
Login incorrect. Already used by another administrator.

USER:
```

LANボードへ接続した状態で約５分間無操作状態が続きますと、LANボードはIPX設定ユーティリティ(LANCONF.EXE)との接続を強制切断します。　IPX設定ユーティリティ(LANCONF.EXE)は強制切断を検出すると終了しますので、操作を始めからやり直してください。

```
CASIO CP-NW200T Ver.NC0T 2.01
USER: cpadmin
Password:

cpadmin>
cpadmin>
Idle time limit reached.

--- Hit any key to exit. ---
```

## 4.2.3.2. 使用可能コマンド

IPX版設定ユーティリティ(LANCONF.EXE)にて使用可能なコマンドは、接続したLANボードの「TELNET」にて使用可能なコマンドと同じです。接続先LANボードが CP-NW100 Series (CP-NW100, CP-NW100L, CP-NW100SP, CP-NW110) の場合は、CP-NW100 Series のマニュアルを参照してください。ここでは CP-NW200T へ接続した場合の説明をします。

コマンドはプロンプト表示状態（「入力したユーザ名」+”>”）で入力してください。

```
cpadmin>help
```

① help コマンド

IPX版設定ユーティリティ(LANCONF.EXE)にて使用可能なコマンド一覧、各コマンドの入力ガイダンス、および各設定変数へ設定する値のガイダンスを表示します。

・コマンド一覧表示の例。

```
cpadmin>help
set <parameter=value>          set parameter
show [parameter/section/all]   show parameter
stat                           display status
quit                           quit without saving
exit                           save and exit
reset                          save and reset
help [command]                 display help

cpadmin>
```

※ここで表示されたコマンドによって、LANボードの設定内容を得、またその設定を変更することができます。製品では初期値が設定されておりますが、nw_mode, pserver ,fserver1～fserver4 などはご使用になるNetWare環境にあわせて変更してください。

・各コマンドの入力ガイダンスの例

```
cpadmin>help show
Display parameter
usage:show [parameter/section/all]
---------------------------------------------------------
Command            display what
show [network]     Basic parameters
show all           All parameters
show tcpip         TCP/IP communication parameters
show common        Common parameters
show snmp          SNMP parameters
show nw_param      NetWare communication parameters
show port          Printing parameters

cpadmin>
```

・各設定変数へ設定する値のガイダンスの例

```
cpadmin>help nw_mode
nw_mode = disable/rprinter/pserver

cpadmin>help link_mode
link_mode = auto / 100M/Full / 100M/Half / 10M/Full / 10M/Half

cpadmin>
```

② show コマンド

指定した変数名、グループ名、または設定可能な変数すべての設定状態を表示します。

・変数名指定の例。

```
cpadmin>show nw_mode
nw_mode                 : rprinter

cpadmin>
```

・グループ名指定の例。　※「***show***」のみを入力した場合、「***show network***」と入力した場合と同じ表示となります

```
cpadmin>show network
machine_name            : CP800001
comment                 :
link_mode               : auto
ip_config               : memory
ip_address              : 130.10.90.186
netmask                 : 255.255.0.0
gateway                 : 130.10.1.1
print_reset             : enable
nw_mode                 : rprinter

cpadmin>
```

・設定可能な変数すべて(all)指定の例。

```
cpadmin>show all
machine_name          : CP800001
comment               :
link_mode             : auto
ip_config             : memory
ip_address            : 130.10.90.186
netmask               : 255.255.0.0
gateway               : 130.10.1.1
ftp_passwd            : off
tcp_keep_alive        : 30
print_reset           : enable
snmp_mode             : enable
snmp_name             : public
snmp_host             : 130.10.1.10
nw_mode               : rprinter
nw_packet             : auto
pserver               :
timeout               : 10
nw_spx_abort          : 30
nw_spx_listen         : 6
nw_spx_verify         : 3
```

```
fserver1              :
fserver2              :
fserver3              :
fserver4              :
polltime              :15
nw_passwd             :
nw_ncp_timeout        : 3
nw_ncp_retry          : 20
banner0               : off
bojstring0            :
eojstring0            :
banner1               : off
bojstring1            :
eojstring1            :
printertype1          : PR201
tabsize1              : 8
banner2               : off
bojstring2            :
eojstring2            :
printertype2          : PR201
tabsize2              : 8

cpadmin>
```

※管理者用のパスワード設定変数「 admin_passwd 」は一覧表示されません。

③ set コマンド

指定した変数名に数値または文字列を設定します。

※setコマンドは管理者専用コマンドです。

```
cpadmin>set comment=CASIO-Color-PagePrinter_2nd-floor_north-east-coner
comment                 : comment=CASIO-Color-PagePrinter_2nd-floor_north-east-coner
```

```
cpadmin>set link_mode=100m/full
link_mode               : 100M/Full
```

```
cpadmin>set pserver=printserver1
pserver                 : PRINTSERVER1

cpadmin>
```

※設定した数値または文字列は、後述「exitコマンド」「resetコマンド」にて設定値の保存を行った後、LANボードの［リセットSW］を押下するか、プリンタ本体の電源を「切」→「入」して次回LANボードが正常に起動した後に有効になります。また、設定値の保存を行わない場合は、後述「quitコマンド」にてIPX版設定ユーティリティ(LANCONF.EXE)接続を終了してください。

特記事項：setコマンドを使用しますと、管理者用のパスワードを設定することができます。　パスワードは 英大文字／英小文字／数字 が設定可能です。　なお、英大文字と英小文字は区別されますのでご注意ください。

```
cpadmin>set admin_passwd=CASIO
admin_passwd            : CASIO

cpadmin>
```

設定されている管理者用のパスワードを未設定状態にする場合は、「 = 」の後に何も入力せずにEnterキーを押下して送信してください。

```
cpadmin>set admin_passwd=
admin_passwd            :

cpadmin>
```

④ stat コマンド

LANボードの状態を表示します。

・基本情報表示の例。

```
cpadmin>stat
CASIO CP-NW200T Ver.NC0T 2.01
Ethernet address  :  08:00:74:80:00:01
Link status       :  100Base/Full Duplex (Auto)
TCP/IP status     :  IP address       :  130.10.90.186
                     IP config        :  Memory
                     Netmask          :  255.255.0.0
                     gateway          :  130.10.1.1
IPX packet type   :  IEEE802.2(Auto)
NetWare status    :  Mode             :  rprinter
                     print server     :  PRINTSERVER1
Printer status    :  Port status      :  Printer ready
                     Model name       :  N5300
                     Version No.      :  GV0K 1.73/K4
                     Paper feeder     :  MPF:A4
                                         CPF1:A4
                                         CPF2:B4
                                         CPF3:A3
                                         CPF4:Letter
                                         CPF5:B5
                                         CPF6:A4
                                         Duplex-unit
cpadmin>
```

・印刷ジョブ情報表示の例。

```
cpadmin>stat queue
Rank       Job      Owner                   User-ID
1st        100      130.10.90.100           PowerUser
2nd        101      130.10.90.101           Administrator
3rd        102      130.10.91.52            guest
4th        103      130.10.92.143           casiotaro
5th        104      130.10.90.104           PrintUser
6th        105      PRINTSERVER1    ※1

cpadmin>
```

※1：NetWareによる印刷の場合、送信元のプリントサーバ名またはファイルサーバ名が表示されます。

・接続中ホスト情報表示の例。

```
cpadmin>stat host
130.10.90.100     :  ftp
130.10.90.101     :  http    ※1
130.10.92.143     :  telnet
130.10.90.104     :  ftp
                  :  NetWare console    ※2

cpadmin>
```

※1：「http」はWWWブラウザにて設定変更を行っている場合に表示されます。

※2：「NetWare console」はIPX版設定ユーティリティにて接続中に表示されます。

⑤ quit コマンド

IPX版設定ユーティリティ(LANCONF.EXE)を終了し接続を切断します。 setコマンドにて変数へ数値または文字列を設定した場合は、設定値の保存は行わずに破棄した後にIPX版設定ユーティリティ(LANCONF.EXE)を終了します。

```
cpadmin>quit

※ユーティリティが終了し、ウィンドウが閉じます。
```

⑥ exit コマンド

IPX版設定ユーティリティ(LANCONF.EXE)を終了し接続を切断します。 setコマンドにて変数へ数値または文字列を設定した場合は、設定値の保存を行った後にIPX版設定ユーティリティ(LANCONF.EXE)を終了し、接続を切断します。

※保存した設定値は、次回LANボードが正常に起動に起動した後に有効になります。 LANボードの [リセットSW] を押下するか、プリンタ本体の電源を「切」→「入」してください。

```
cpadmin>exit

※ユーティリティが終了し、ウィンドウが閉じます。
```

※設定値の保存を行わない場合は、前述「quitコマンド」にてIPX版設定ユーティリティ(LANCONF.EXE)接続を終了してください。

⑦ reset コマンド

IPX版設定ユーティリティ(LANCONF.EXE)を終了し接続を切断した後、LANボードをリセットします。 setコマンドにて変数へ数値または文字列を設定した場合は、設定値の保存を行った後にIPX版設定ユーティリティ(LANCONF.EXE)を終了し、接続切断→リセットを行います。

※resetコマンドは、管理者専用コマンドです。

```
cpadmin>reset
```

※ユーティリティが終了し、ウィンドウが閉じます。

# 5．設定可能変数一覧

## 5.1．プリンタ本体の操作パネルで設定可能な変数一覧

＜ ご注意 ＞

下記プリンタ機種の場合、本LANボード(CP-NW200T)をご使用いただくためには、プリンタ本体のプリンタ制御ソフトウェアが以下のバージョンである必要があります。

■ N5serirs、N4-614series、CP-E8000series ・・・・・ プリンタ制御ソフトウェア Ver.1.73 以上

※ N6000series、N5000series、CP-E8500series は、初期バージョンよりご使用いただけます。

「ステータスシート」を印刷（「オンライン」ボタンを押しながら電源スイッチを ON にします）し、バージョンをご確認ください。　例） I/F-Cont Ver:GV0K1.73/K4

最新のプリンタ制御ソフトウェアは、弊社インターネット・ホームページよりダウンロードすることが可能です。

カシオ ページプリンタ インターネット インフォメーション ホームページ　http://www.casio.co.jp/ppr/

詳しくは、弊社インターネットインフォメーション **http://www.casio.co.jp/ppr/** をご覧ください。

プリンタ本体の操作パネルで設定可能な変数は以下の5項目です。

※設定した内容は、操作パネルにて［オンライン］ボタンを押して、オンライン状態へ移行する際に保存されます。設定変更後は必ずオンライン状態にしてください。　また、保存した設定内容は次回LANボードが正常に起動した後に有効になります。LANボードの［リセットSW］を押すか、プリンタ本体の電源を「切」→「入」してください。

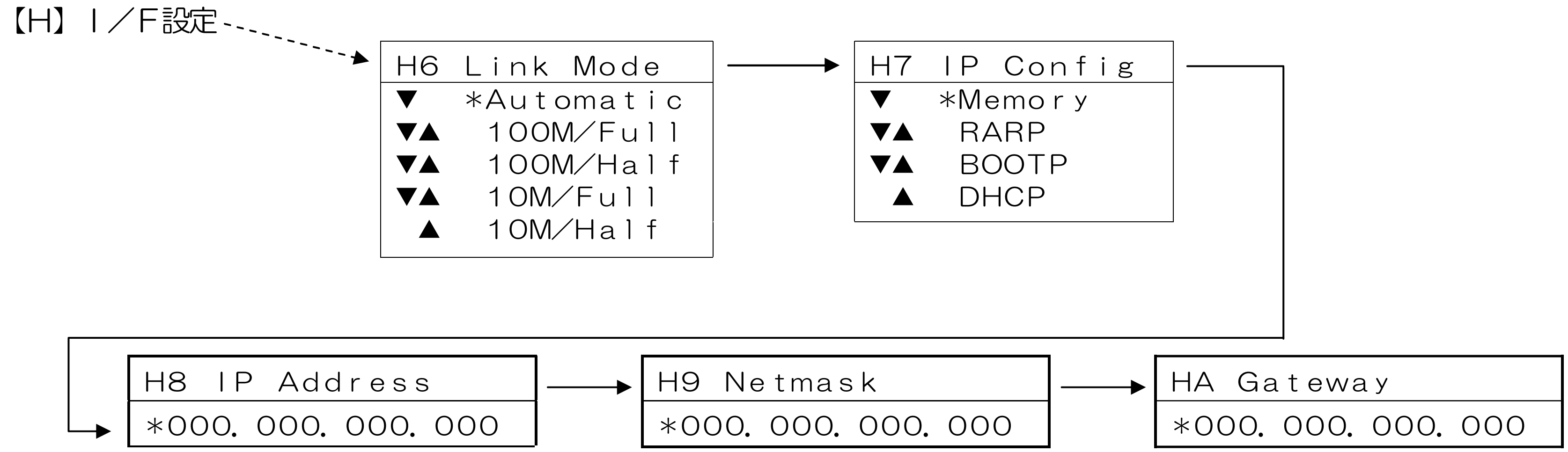
★プリンタ本体操作パネルの操作手順・操作例は、次ページ以降に記載してありますので参照してください。

【表　5.1.－1.　プリンタ本体操作パネルにて設定可能な項目一覧】

<table>
<tr><th>設定項目名称</th><th>プリンタ本体<br>操作パネル表示名称</th><th colspan="2">プリンタ本体操作パネルに表示される設定候補</th><th>LANボード<br>設定変数名</th></tr>
<tr><td>通信速度</td><td>Link Mode</td><td>Automatic<br>100M/Full<br>100M/Half<br>10M/Full<br>10M/Half</td><td rowspan="2">①設定候補選択キー（▲▼）で選択<br><br>②実行キーで確定</td><td>link_mode</td></tr>
<tr><td>IPアドレス<br>決定方法</td><td>IP Config</td><td>Memory<br>RARP<br>BOOTP<br>DHCP</td><td>ip_config</td></tr>
<tr><td>IPアドレス</td><td>IP Address</td><td>0.0.0.0<br>～<br>255.255.255.255</td><td rowspan="3">①設定候補選択キー（▲▼）で数値を変更（0～255）<br>②ユーザキーで桁移動　XXX．xxx．xxx．xxx<br>xxx．XXX．xxx．xxx<br>xxx．xxx．XXX．xxx<br>xxx．xxx．xxx．XXX<br><br>③実行キーで全桁確定</td><td>ip_address</td></tr>
<tr><td>サブネットマスク</td><td>Netmask</td><td>0.0.0.0<br>～<br>255.255.255.255</td><td>netmask</td></tr>
<tr><td>ゲートウェイ</td><td>IP Gateway</td><td>0.0.0.0<br>～<br>255.255.255.255</td><td>gateway</td></tr>
</table>

※各設定項目の説明は『5.2. LANボードの設定変数一覧』を参照してください。

■プリンタ本体へ本LANボード(CP-NW200T)を装着すると、操作パネルの設定メニューにて以下の項目が設定可能となります。




## 【図 5.1.—1. プリンタ本体操作パネルの操作例】

| ＜ボタンの操作＞ | ＜パネルの表示例＞ |
|---|---|
| i) ［オンライン］ボタンを押してオフラインの状態にします。<br>（オンラインのランプが消えます。） | オフライン |
| ii) ［メニュー］ボタンを8回押します。<br>（「*」は現在設定されている内容です。） | H0 タイムアウト<br>▼▲ * 30ビョウ |
| iii) ［項目］ボタンを8回押し、「IP Address」の設定にします。<br>（「*」は現在設定されている内容です。） | H8 IP Address<br>* 0. 0. 0. 0 |

iv) ［▼］［▲］ボタンを押して、数値を変更します。

```
H8 IP Address
 192.   0.   0.   0
```

現在設定している桁の数字が点滅します。

```
H8 IP Address
 19_.   0.   0.   0
```

［ユーザ］ボタンで次の桁へ移動します。

```
H8 IP Address
 192.   0.   0.   0
```

点滅する桁が移動します。

```
H8 IP Address
 192.   _.   0.   0
```

また、［ユーザ］ボタンで桁が変わります。

v) 最後の桁まで入力したら、［実行］ボタンを押してください。全桁の値が設定されます。 「＊」が表示され、設定値が確定したことを表します。

```
H8 IP Address
*192.168.   1.   1
```

vi) ［項目］ボタンを押して、「Netmask」（サブネットマスク）の設定に進み、以降iv)～vi)の操作を行います。「Gateway」（デフォルトゲートウェイ）も同様にiv)～vi)の操作で設定します。

```
H9 Netmask
*  0.   0.   0.   0
```

```
HA Gateway
*  0.   0.   0.   0
```

vii) ［オンライン］ボタンを押して通常表示に戻し、少し待ちます。

| |
|---|
| インサツ　デ　キマス |

viii) 最後にLANボードの［リセットSW］を押下するか、プリンタ本体の電源を「切」
→「入」してください。

※N４－６１４series をご利用いただいている場合、パネル設定項目は「Ｉ８　ＩＰ　Ａｄｄｒｅｓｓ」「Ｉ９　Ｎｅｔｍａｓｋ」「ＩＡ　Ｇａｙｅｗａｙ」となります。上記ⅱ）の手順で「メニュー」ボタンを「9回」押してください。

## 5.2. LANボードの設定変数一覧

TELNETおよびIPX版設定ユーティリティ(LANCONF.EXE)にて設定した内容は、「exitコマンド」「reset コマンド」にて「設定値の保存」を行った際に保存されます。 WWWブラウザにて設定した内容は、「変更内容の送信」操作を行った際に保存されます。これらの設定変更は同時に行えませんが、プリンタ本体の操作パネルによる設定変更は同時に行えます。操作パネルで設定可能な5項目の変数は［オンライン］ボタンを押してオンライン状態へ移行する際に保存され、最終的には後から保存を行った設定内容が有効となりますので、ご注意ください。なお、保存した設定内容は、次回LANボードが正常に起動した後に有効になります。LANボードの［リセットSW］を押すか、プリンタ本体の電源を「切」→「入」してください。

| 変数グループ | 変数名称／変数名 | 解　　説 | デフォルト |
|---|---|---|---|
| ――――― | 管理者用パスワード<br>admin_passwd | LANボード設定管理者用（ユーザ名：***cpadmin***）パスワードを指定します。<br>未設定時は未入力で接続できますが、LANボードの設定を管理者以外が安易に変えられないように設定することを推奨します。 | 未設定 |
| common | マシン名<br>machine_name | LANボードのマシン名を指定します。デフォルト値での使用を推奨します。<br>最大15Byteまで設定が可能です。英小文字で入力した場合、英大文字へ変換して設定します。<br>マシン名は、SNMPの標準MIBに定義している「システム管理名」、NetWareで使用する「マシン名(ファイルサーバへ設定するプリントサーバ名、プリントサーバへ設定するプリンタ名)」、などに使用します。 | CPxxxxxx |
| | コメント<br>comment | LANボードのコメントを指定します。最大48Byteまで指定が可能です。 | 未設定 |
| | 通信速度決定方法<br>link_mode | 通信速度の決定方法を指定します。<br>LANボードは 10Base-T と 100Base-TX の通信速度、および全二重と半二重の通信モードで使用することができます。ご使用になるシステム環境で定められている通信速度／通信モードを指定してください。<br>・auto指定時　：Auto Negotiation 機能を使用して 通信速度／通信モード を自動決定します。<br>・100M/Full 指定時　：100Mbpsの通信速度、全二重の通信モード、で通信を行います。<br>・100M/Half 指定時　：100Mbpsの通信速度、半二重の通信モード、で通信を行います。<br>・10M/Full 指定時　：10Mbpsの通信速度、全二重の通信モード、で通信を行います。<br>・10M/Half 指定時　：10Mbpsの通信速度、半二重の通信モード、で通信を行います。 | auto |

| 変数グループ | 変数名称／変数名 | 解　　説 | デフォルト |
|---|---|---|---|
| | | ※デフォルトでは「auto」 になっています。通常は「auto」でお使いください。「auto」でコンセントレータ（Hub）とのLinkが確立しない場合に、他の設定をお試しください。<br>★「auto」以外に設定した場合、『セルフプリント』『LAN設定情報の印刷』『TELNET』『WWWブラウザ』『IPX版設定ユーティリティ(LANCONF.EXE)』などで表示される通信速度(Link_status)は、実際に決定された通信速度と異なる表示となります。特に「全二重(Full)」に設定した場合、実際の通信速度は「半二重(Half)」であることがほとんどです。また、「10Mbps(10Base-T)」に設定してLANケーブルの接続先が100Mbps(100Base-Tx)の「Fast Ethernet Hub」(スィッチングHubではありません)場合、表示上は通信速度が決定して「通信可能」となっていますが、実際には通信速度が決定しておらず(Linkが確立いない)、通信が行えない状態となっています。　この場合、LANボードのオレンジ色のLEDが非常に短い周期で点滅していますので、確認してください。 | |
| tcpip | IPアドレス<br>決定方法<br>ip_config | IPアドレス決定方法を指定します。<br>IPアドレスの設定方法を設定値に応じて決定します。<br>・memory指定時 : ip_address の設定値をIPアドレスとして設定します。<br>・bootp指定時　: BOOTPを使用してIPアドレスを設定します。<br>・dhcp指定時　: DHCPを使用してIPアドレスを設定します。<br>・rarp指定時　: RARPを使用してIPアドレスを設定します。 | memory |
| | IPアドレス<br>ip_address | IP環境で使用するIPアドレスの値を指定します。（ip_configがmemoryの時に有効となります）<br>指定は「xxx.xxx.xxx.xxx」の形式で行います。<br>IPを使用する機器に与えられる番号です。 IPの環境ではこのような番号をアドレスと呼びます。IPアドレスはお客様がお使いになっている環境によって違います。また、ホストコンピュータを含む他の機器と同じ番号をつけてはいけません。すなわち、他の機器が使用している番号をご存知の方（一般的にはネットワーク管理者）から新しいIPアドレスを取得してください。<br>※{0.0.0.0},{255.255.255.255},{127.0.0.1}などの「特別な意味を持つIPアドレス」を設定しますと、正常な通信が行えません。<br>★ip_address を設定したにもかかわらず正常に通信が行えない場合『LAN設定情報の印刷』を行い、ip_config , netmask , gateway の設定とあわせて確認してください。 IP address 欄に「0.0.0.0」と表示される場合は設定値の誤り、ip_configがmemory以外の設定で、サーバ上で設定していない場合や該当のサーバからの応答が無い、などが考えられます。また、設定値と異なる値が表示される場合は、ip_configがmemory以外の設定となっています。 | 0.0.0.0 |
| | ネットマスク<br>netmask | IP環境で使用するサブネットマスクの値を指定します。<br>指定は「xxx.xxx.xxx.xxx」の形式で行います。<br>受信したIPアドレス（印刷した方のアドレス）が外部のネットワークから送られたものか、内部のHUB等で接続された機器から送られたものかを判断する場合に使用します。 | 0.0.0.0 |

| 変数グループ | 変数名称／変数名 | 解　　説 | デフォルト |
|---|---|---|---|
| | | 0.0.0.0が設定されている場合は、決定したIPアドレスを元に自動設定します。<br>サブネットマスクはネットワーク管理者の方が管理されていますので、お問い合わせください。<br>BOOTP/DHCPを使用して、BOOTPサーバ／DHCPサーバより取得したサブネットマスク値を使用する場合は、0.0.0.0を指定してください。<br>※サブネットマスク値は、マスクのためのbit指定が上位bitより連続して「on」でなければならず、異なる設定行った場合はエラーとなり決定したIPアドレスを元に自動設定されます。<br>例：netmask=255.255.160.0 の場合エラー。<br>(11111111b,11111111b,10100000b,00000000bの為)。<br>★netmask を設定したにもかかわらず外部ネットワーク環境との通信が正常に行えない場合、『LAN設定情報の印刷』を行い ip_config , ip_address , gateway の設定とあわせて確認してください。 | |
| | ゲートウェイ<br>gateway | IP環境で使用するゲートウェイのIPアドレスの値を指定します。<br>指定は「xxx.xxx.xxx.xxx」の形式で行います。<br>IPは外部のネットワーク環境にアクセスができるように設計されています。インターネットはこの機能の有効な活用方法です。外部のネットワークに繋ぐ場合は接続に使用する機器が必要になります（ルーター等）。この機器のIPアドレスを設定します。このアドレスを指定することで外部のネットワークと接続が可能になります。<br>ゲートウェイはネットワーク管理者の方が管理されていますので、お問い合わせください。<br>BOOTP/DHCPを使用して、BOOTPサーバ／DHCPサーバより取得したゲートウェイアドレスを使用する場合は、0.0.0.0を指定してください。<br>※{0.0.0.0},{255.255.255.255},{127.0.0.1}などの「特別な意味を持つIPアドレス」を設定しますと、外部ネットワーク環境との正常な通信が行えません。<br>※決定したIPアドレスとゲートウェイアドレス値が異なるサブネットワークとなった場合、ゲートウェイアドレスは無効となり外部ネットワーク環境との正常な通信が行えません。<br>例：ip_address=130.10.90.186 , netmask=255.255.255.0 , gateway=130.10.1.1 の場合、ゲートウェイアドレスが異なるサブネットワークとなるため無効となります。<br>★gateway を設定したにもかかわらず外部ネットワーク環境との通信が正常に行えない場合『LAN設定情報の印刷』を行い、ip_config , ip_address , netmask の設定とあわせて確認してください。Gateway欄に「0.0.0.0」と表示される場合は設定値の誤り、ip_configがmemory以外の設定で、サーバ上で設定していない場合や該当のサーバからの応答が無い、などが考えられます。また、設定値と異なる値が表示される場合は、ip_configがmemory以外の設定となっています。 | 0.0.0.0 |

| 変数グループ | 変数名称／変数名 | 解　説 | デフォルト |
|---|---|---|---|
| | FTPパスワード<br>ftp_passwd | FTPにてLANボードへ接続した際の、パスワードの入力要求を指定します。<br>パスワードの入力要求が必要なFTPクライアントを使用する場合に設定してください。<br>・on指定時　：FTP接続時にパスワードを要求します。<br>・off指定時　：FTP接続時にパスワードを要求しません。<br>※FTP接続時に指定したユーザ名がLANボード設定管理者用（ユーザ名：***cpadmin***）の場合は、常にパスワードの入力要求を行い、入力されたパスワードの一致チェックを行います。admin_passwd に設定されている文字列を正しく入力してください。不一致の場合はログインできません。<br>※FTP接続時に指定したユーザ名がLANボード設定管理者用以外の場合は、入力されたパスワードの一致チェックを行いません。入力された文字列にかかわらずログインできます。 | off |
| | Keep-Alive時間<br>tcp_keep_alive | TCP・キープ・アライブ・パケットの送信間隔を指定します。（0～79秒）<br>TCP通信でホストコンピュータとの通信が接続されているか切れているかを確認する為のパケットを、キープ・アライブ・パケットと呼びます。このパケットを通信が途切れてからどの間隔で送信するかを指定します。　tcp_keep_alive を設定すると、ホストコンピュータの異常を検出しLANボード側からTCP接続を切断します。<br>「**0**」を設定すると、キープ·アライブ·パケットは送信されなくなります。但し、LANボードはホストコンピュータの異常を検出できなくなりTCP接続をLANボード側から切断できませんので、ホストコンピュータとの通信に異常が発生した場合は処理が止まったままとなります。 | 30 |
| | プリンタ制御<br>ソフトウェア<br>リセット機能<br>print_reset | プリンタ制御ソフトウェアリセット機能の指定を行います。<br>・enable指定時　：プリンタ制御ソフトウェアリセット機能を使用します。<br>・disable指定時　：プリンタ制御ソフトウェアリセット機能を使用しません。<br>ホストコンピュータにて印刷途中に「ドキュメントのキャンセル」を行った際、すでに印刷データのプリンタへの送信が開始されているとプリンタ内部に印刷データが残ってしまう場合があり、そのまま続けて印刷を行うと以降の印刷が正しく行えない場合があります。そのまま印刷を行わずに一度プリンタの電源を再投入してから印刷を行えば正く印刷されますが、本LANボードでは印刷途中に「ドキュメントのキャンセル」を行った場合などに、プリンタ電源の再投入の代わりにプリンタ制御ソフトウェアのリセットを行いソフトウェアを電源投入直後と同じ状態にするようにして（個別にプリンタへ登録したデータなどは削除されることがありますので、注意してください）、ホストコンピュータから続けて印刷を行っても以降の印刷を正しく行うことができます。 | enable |

| 変数グループ | 変数名称／変数名 | 解　　説 | デフォルト |
|---|---|---|---|
| | | また、LPRにて印刷途中にホストコンピュータやネットワーク回線に異常が発生した際などでは、キープ・アライブ・パケットの送信を行うことによりホストコンピュータの異常を検出して、LANボード側からTCP接続の切断を行いますが、この場合もプリンタ制御ソフトウェアのリセットを行い、他のコンピュータからの印刷を正しく行うことができます。<br>この機能はホストコンピュータにて、CP-LPRを使用した印刷、Micosoft Windows NT/2000/XPのLPRを使用したTCP/IP印刷をお使いの場合に動作します。　ただし、Windows 2000/XPでは「標準TCP/IPポートモニタの構成」にて「LPRバイトカウントを有効にする」を選択しないと動作しません。なお、CASIO スピーディアマネージャ for Network にて「ドキュメントのキャンセル」を行った場合は、プリンタ制御ソフトウェアのリセットを行わなくても正しい印刷が継続されますので、この機能を使用する必要はありません。 | |
| snmp | SNMPモード<br>snmp_mode | SNMPの動作モードを指定します。<br>LANボードは、IP環境においてSNMPを使用してプリンタの状態監視を行うことができます。<br>・enable指定時　：SNMPを使用します。<br>・disable指定時　：SNMPを使用しません。<br>「CASIO スピーディアマネージャ for Network」をご使用になる場合、必ず「enable」を指定してください。 | enable |
| | コミュニティ名<br>snmp_name | SNMPのコミュニティ名を指定します。<br>最大16Byteまで指定可能です。 | public |
| | Trapホスト<br>snmp_host | SNMPの Cold Start Trapパケットを送信するホストのIPアドレスを指定します。<br>指定は「xxx.xxx.xxx.xxx」の形式で行います。<br>LANボードはSNMPのポーリング（Get/Set Request PDU)へ正常応答した場合、応答先ホストコンピュータのIPアドレスを一定時間記憶し、プリンタの状態が変化した場合に記憶したホストコンピュータへ Trap パケットを送信します。Trapホストに設定されたホストコンピュータは、その1番目として記憶します。 | 0.0.0.0 |
| nw_param | NetWareモード<br>nw_mode | NetWareでLANボードを使用する場合の動作モードを設定します。<br>rprinter　リモートプリンタモードで動作します。<br>リモートプリンタモードは、ファイルサーバ機もしくは専用のプリントサーバ機上で動作するPSERVERを介して運用されるモードです。<br>※弊社としてはリモートプリンタモードでのご使用を推奨します。 | rprinter |

| 変数グループ | 変数名称／変数名 | 解　説 | デフォルト |
|---|---|---|---|
| | | pserver　プリントサーバモードで動作します。<br>プリントサーバモードは、LANボード上でPSERVERを動作させて運用するモードです。<br>※NetWare 4.1J 以降では、バインダリエミュレーションモードでのサポートとなります。<br>disable　使用しない。<br>IP環境のみでご使用の場合で、NetWareを使用しない設定にします。 | |
| | パケットタイプ<br>nw_packet | NetWareで使用するEthernetのパケットタイプを設定します。<br>auto　自動を選択します。<br>フレームタイプ(パケットタイプ)を起動時に、自動的に選択します。<br>フレームタイプを以下のように順次変更して、NetWareファイルサーバの検索を行い、最初に発見したフレームタイプを以降のNetWareサーバとの通信にて使用します。<br>・検索順序　IEEE802.2 ⟶ IEEE802.3 ⟶ Ethernet Ⅱ<br>NetWareファイルサーバが発見できなかった場合、NetWareは使用できません。IPX版設定ユーティリティ(LANCONF.EXE)による設定変更も行えません。<br>ieee802_2　IEEE802.2(LLC RAW ヘッダ付きの IEEE802.3) を選択します。<br>ieee802_3　IEEE802.3 を選択します。<br>Ethernet_ii　Ethernet Ⅱ を選択します。 | auto |
| | プリント<br>サーバ名<br>pserver | 接続するプリントサーバ名を設定します。　最大47Byteまで設定が可能です。英小文字で入力した場合、英大文字へ変換して設定します。<br>リモートプリンタモードを使用する場合は必ず設定してください。<br>未設定の場合、リモートプリンタモードでは使用できません。 | 未設定 |
| | タイムアウト<br>時間<br>timeout | リモートプリンタモードでのタイムアウト時間を設定します。　(1～255秒)<br>リモートプリンタモードの印刷では、NetWareプリントサーバから送信される印刷データが一定時間内に送信された場合、連続した印刷データとして扱い、他のプロトコルによる印刷より優先されます。　印刷を行うアプリケーションによっては一連の印刷データが複数の印刷JOB(印刷キューデータ)に分割される場合がありますが、これらを連続して印刷したい場合に値を大きくします。 | 10 |

| 変数グループ | 変数名称／変数名 | 解　　説 | デフォルト |
|---|---|---|---|
| | SPX タイムアウト アボート<br>nw_spx_abort | NetWareで使用するSPX監視停止タイムアウト時間を設定します。　(30～300秒)<br>リモートプリンタモードで応答が受け取れないとき、セッションを終了する前にSPXプロトコルが待機する時間です。<br>ネットワークが非常に遅い場合に値を大きくします。 | 30 |
| | SPX タイムアウト リッスン<br>nw_spx_listen | NetWareで使用するSPX監視検査タイムアウト時間を設定します。　(1～180秒)<br>リモートプリンタモードでパケットが受信できないとき，接続が有効かどうか確認するパケットを送信するまでSPXプロトコルが待機する時間です。<br>ネットワークが非常に遅い場合に値を大きくします。 | 6 |
| | SPX タイムアウト ベリファイ<br>nw_spx_verify | NetWareで使用するＳＰＸ確認待機タイムアウト時間を設定します。　(1～15秒)<br>リモートプリンタモードでSPXプロトコルが接続が有効であることを示すパケットを送信する間隔です。<br>値を小さくすると通信異常の検知が早くなりますが，ネットワークのトラフィックは多くなります。 | 3 |
| | ファイル サーバ名<br>fserver1<br>fserver2<br>fserver3<br>fserver4 | ログイン(接続)するファイルサーバの名前を設定します。　それぞれ最大47Bytまで設定が可能です。英小文字で入力した場合、英大文字へ変換して設定します。<br>プリントサーバモードでは最大４台のファイルサーバへログイン(接続)することができます。プリントサーバモードを使用する場合は、必ず１つ以上ファイルサーバ名を指定してください。<br>指定が無い場合プリントサーバモードでは使用できません。<br>同じファイルサーバ名を複数指定しないでください。 | 未設定 |
| | ポーリング間隔<br>polltime | プリントサーバモードでのポーリング間隔を設定します。　(1～255秒)<br>この値を短くすると、ファイルサーバに転送された印刷データが、LANボード(プリンタ)へ転送開始されるまでの時間が短くなりますが、頻繁にプリントキュー中の印刷データ(プリントジョブ)の有無を調べるため、ファイルサーバの動作に影響を与えるか、もしくはネットワークに負荷を与える可能性があります。 | 15 |
| | パスワード (NetWare)<br>nw_passwd | NetWareで使用するパスワードを設定します。　最大15Byteまで設定が可能です。英小文字で入力した場合、英大文字へ変換して設定します。<br>プリントサーバモードの場合、LANボードがプリントサーバとなりファイルサーバへログインするかたちとなりますが、この際に使用するパスワードを設定します。<br>PCONSOLE上の「プリントサーバ情報」にて「パスワード」を設定した場合、同じ文字列を設定してください。 | 未設定 |

| 変数グループ | 変数名称／変数名 | 解　説 | デフォルト |
|---|---|---|---|
| | NCPオプション タイムアウト<br>nw_ncp_timeout | NetWareで使用するNCPタイムアウト時間を設定します。　(1～255秒)<br>プリントサーバモードでのポーリングパケットの応答が受信できないとき、再送信を行うまでNCPが待機する時間です。<br>ネットワークが非常に遅い場合に大きくします。 | 3 |
| | NCPオプション リトライ カウント<br>nw_ncp_retry | NetWareで使用するNCPパケット再送信回数を設定します。　(1～255回)<br>ネットワーク上で多くのパケットが失われる場合は、この値を増やす必要があります。<br>この値を増やすとマシン名の登録など、一部のネットワーク機能の実施に要する時間が長くなります。 | 20 |
| port | バナー印刷<br>banner0<br>banner1<br>banner2<br>※1 | FTP/LPRによる印刷時のバナー印刷の指定を行います。<br>・on指定時　：FTP/LPRによる印刷時、バナーの印刷を行います。<br>・off指定時　：FTP/LPRによる印刷時、バナーの印刷を行いません。 | off |
| | ジョブ開始 文字列<br>bojstring0<br>bojstring1<br>bojstring2<br>※1 | FTP/LPRによる印刷時、印刷開始時に出力されるデータ列を指定します。<br>文字列を最大 32Byte 分、指定できます。<br>特殊文字を指定する時は以下のように指定してください。<br>・CR　(0dH)　:　¥r<br>・LF　(0aH)　:　¥n<br>・TAB　(09H)　:　¥t<br>・FF　(0cH)　:　¥f<br>・¥　(5cH)　:　¥¥<br>・8 進数指定　:　¥nnn　例：¥116　(ASCIIｷｬﾗｸﾀ「N」を指定)<br>・16進数指定　:　¥xnn　例：¥x4E　(ASCIIｷｬﾗｸﾀ「N」を指定) | 未設定 |
| | ジョブ終了 文字列<br>eojstring0<br>eojstring1<br>eojstring2<br>※1 | FTP/LPR による印刷時、印刷終了時に出力されるデータ列を指定します。<br>文字列を最大 32Byte 分、指定できます。<br>特殊文字を指定する時は以下のように指定してください。<br>・CR　(0dH)　:　¥r<br>・LF　(0aH)　:　¥n<br>・TAB　(09H)　:　¥t<br>・FF　(0cH)　:　¥f<br>・¥　(5cH)　:　¥¥ | 未設定 |

| 変数グループ | 変数名称／変数名 | 解　　説 | デフォルト |
|---|---|---|---|
| | | ・8 進数指定　：￥nnn　例：￥116　（ASCIIｷｬﾗｸﾀ「N」を指定）<br>・16進数指定　：￥xnn　例：￥x4E　（ASCIIｷｬﾗｸﾀ「N」を指定） | |
| | プリンタタイプ<br>printertype1<br>printertype2<br>※1 | FTP/LPRによる印刷時、印刷データ内のシフトJIS漢字コードまたはEUC-JIS漢字コードをJIS漢字コードへ変換する際のプリンタのタイプを指定します。<br>印刷データの変換機能（漢字フィルタ機能）では、ANK文字ピッチ10CPI指定，漢字：ANK文字ピッチ比率=2:1指定，6LPI指定，を印刷開始時に設定し、受信した印刷データ中のシフトJIS漢字コードまたはEUC-JIS漢字コードをJIS漢字コードへ変換、水平タブコードをスペースコードへ変換して出力しますので、指定したプリンタタイプとプリンタ本体のプリンタモードの設定が合致していないと、正しい印刷結果が得られません。<br>printertype1には、シフトJIS漢字コードをJIS漢字コードへ変換する際のプリンタタイプを指定します。<br>printertype2には、EUC-JIS漢字コードをJIS漢字コードへ変換する際のプリンタタイプを指定します。<br>・pr201指定時　：PC-PR201H系のプリンタ制御コードを含むJIS漢字コードへ変換します。プリンタ本体のプリンタモード(エミュレーション)を「201H」に設定してください。<br>・esc/p指定時　：ESC/P系のプリンタ制御コードを含むJIS漢字コードへ変換します。プリンタ本体のプリンタモード(エミュレーション)を「ESC/P」に設定してください。 | pr201 |
| | タブサイズ<br>tabsize1<br>tabsize2<br>※1 | FTP/LPRによる印刷時、受信した印刷データ中の水平タブコードをスペースコードへ変換して出力する際のタブストップ目標桁位置間隔を設定します。（0～132桁）<br>「**0**」を指定すると水平タブコードはスペースコードへ変換されず、そのまま印刷を行います。 | 8 |

※１：各変数の末尾の数字は印刷用のプリンタポートを示しています。

<table>
<tr><th>末尾の数字</th><th>機能</th><th colspan="2">印刷用プリンタポートの名称</th></tr>
<tr><td rowspan="2">0</td><td rowspan="2">印刷データの変換機能（漢字フィルタ機能）を使用せずに受信した印刷データをそのまま出力します。</td><td>lp0</td><td>通常はこちらをお使いください。<br>CP-NW200シリーズより新規サポートされました。</td></tr>
<tr><td>presto0</td><td>弊社旧製品との互換用です。<br>将来機能制限が発生する場合があります。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">1</td><td rowspan="2">印刷データの変換機能（漢字フィルタ機能）を使用して、受信した印刷データ中のシフトJIS漢字コードを設定変数printertype1へ設定されているプリンタタイプのJIS漢字コードへ変換､水平タブコードをスペースコードへ変換して出力します。</td><td>lp1</td><td>CP-NW200シリーズより新規サポートされました。</td></tr>
<tr><td>presto1</td><td>弊社旧製品との互換用です。<br>将来機能制限が発生する場合があります。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">2</td><td rowspan="2">印刷データの変換機能（漢字フィルタ機能）を使用して、受信した印刷データ中のEUC-JIS漢字コードを設定変数printertype2へ設定されているプリンタタイプのJIS漢字コードへ変換､水平タブコードをスペースコードへ変換して出力します。</td><td>lp2</td><td>CP-NW200シリーズより新規サポートされました。</td></tr>
<tr><td>presto2</td><td>弊社旧製品との互換用です。<br>将来機能制限が発生する場合があります。</td></tr>
</table>

カ シ オ 計 算 機 株 式 会 社
システムソリューション営業統轄部　ページプリンタ企画室

〒151-8543　東京都渋谷区本町１－６－２
電話　03-5334-4552

| | |
|---|---|
| 東京地区 | 電話　03-5334-4550 |
| 西日本地区 | 電話　06-6243-2100 |
| 中部地区 | 電話　052-324-2135 |
| カシオ情報機器　北海道地区 | 電話　011-221-7891 |
| カシオ情報機器　東北地区 | 電話　022-718-0650 |
| カシオ情報機器　中国地区 | 電話　082-239-1500 |
| カシオ情報機器　四国地区 | 電話　087-862-8822 |
| カシオ情報機器　九州地区 | 電話　092-475-3939 |
| テクニカル・インフォメーション・センター | 電話　03-5334-4557 |
| インターネット・ホームページ | http://www.casio.co.jp/ppr/ |

SPEEDIA **CP-NW200T**

**Ethernet Board マニュアル**

2005年6月21日　第2.1版発行

カ シ オ 計 算 機 株 式 会 社
カシオ電子工業株式会社

＊本装置は、日本国内において使用することを目的に製造されています。諸外国では電源仕様などが異なるため使用できません。
また、安全法規制（電波規制や材料規制など）は国によって異なります。本装置および関連消耗品などをこれらの規制に違反して諸外国に持ち込むと罰則が科せられることがあります。